建築と社会

社団法人　日本建築協会
昭和48年 6 月25日発行
毎月 1 回25日発行
昭和24年 3 月19日第 3 種郵便物認可

1973
第54輯第6号

6

特集：老人コミュニティ



new!



デザイン・配線工法を一新、価格は据置き!!

——クマリフトならではの量産体制が、それを可能にしました——

■三方枠と膳板が、優美で錆や腐蝕のないアルミ形材製品に

クマリフト(小型昇降機)の積下ろし口の枠及び膳板にアルミ成形材(枠見込100㎜：膳板巾160・180・210㎜の３種)を規格品として制定し、全機種に採用しました。扉はメラミン樹脂焼付仕上げのボンデ鋼板製です。
ご希望により、特殊寸法の鋼板・ステンレスのものも製作します。

■工場生産されるシンプルな配線工事

工場生産による独特の短時間に巧拙のない確実な配線工事を得られるプラグイン配線方式を採用しました。

■他に別価格でカゴ到着と同時に扉が開く自動戸開き装置も用意

カゴの到着がひと目でわかり、手数が省けるのできわめて能率的です。（用済み後は手で閉めてください。実用新案出願中）

■用途に応じた豊富な機種を用意しました

書類小物用、料理用、小荷物用、般舶用その他防水・防爆型など特殊工場用など。

■L－ 5…… 10kg積	■M－300……300kg積
■J－ 30…… 30kg積	■M－500……500kg積
■M－ 50…… 50kg積	■S－150……150kg積
■M－100……100kg積	■S－300……300kg積
■M－200……200kg積	■M－ H…… 80kg積 (高速型)

その他人荷用エレベーター、荷物用エレベーター病院用エレベーター、自動車用エレベーターもご注文に応じて製造いたします。

*

クマリフト株式会社

●本　　社　大阪市東淀川区東淡路町２丁目43番地
TEL：06（322）5125代表
●東京事務所　東京都台東区東上野6-1 イワツキビル
TEL：06（844）3030

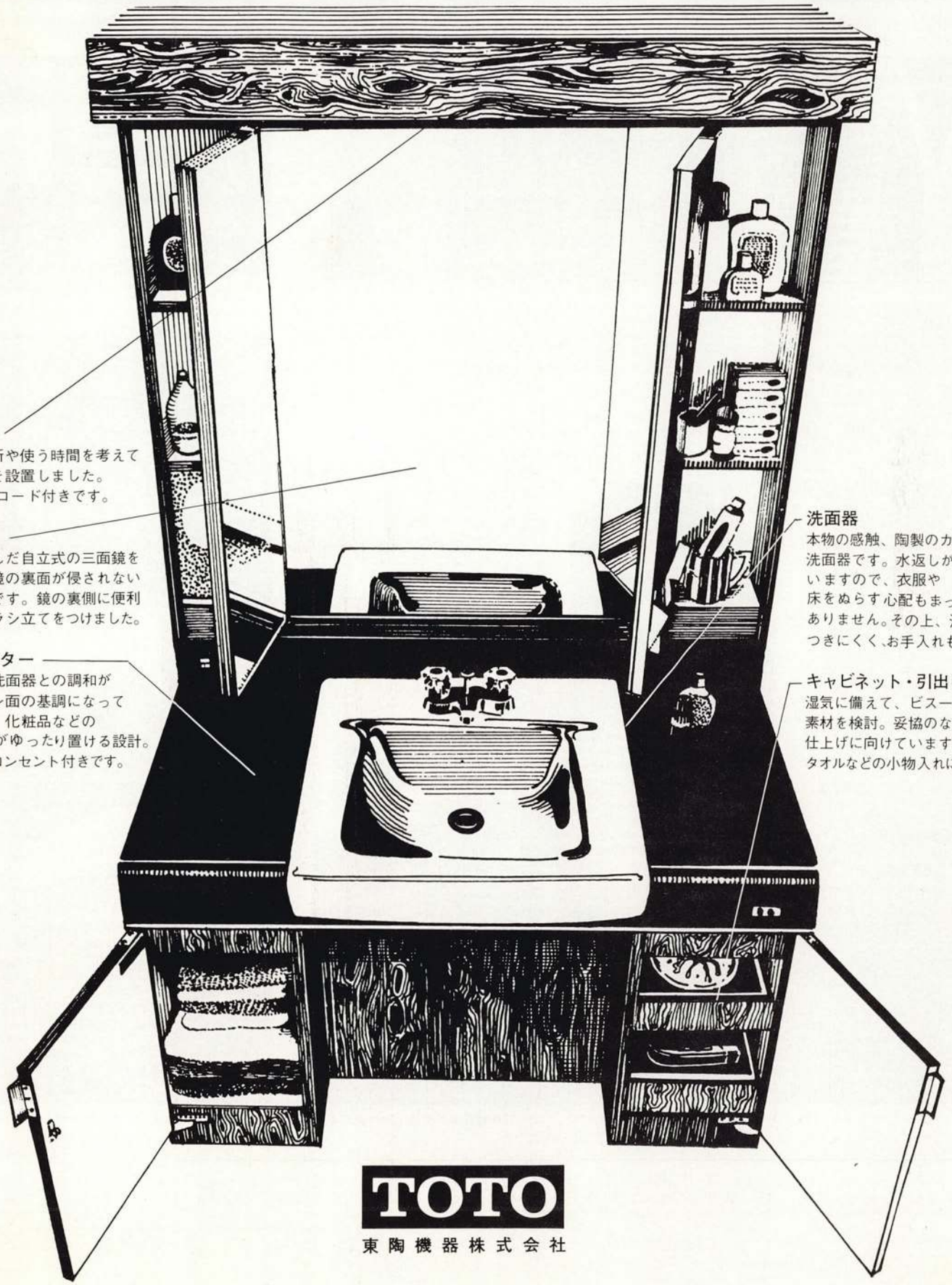
札幌・仙台・新潟・長野・横浜・静岡・名古屋
京都・大阪・堺・神戸・岡山・広島・高松
出雲・福岡・長崎・鹿児島・那覇

クマリフト

■カタログご希望の方はハガキで大阪本社宛ご請求下さい

人気の秘密を分析すれば…

TOTO洗面化粧台。



蛍光灯
置き場所や使う時間を考えて
蛍光灯を設置しました。
1.5mのコード付きです。

三面鏡
磨き込んだ自立式の三面鏡を
採用。鏡の裏面が侵されない
防湿性です。鏡の裏側に便利
な歯ブラシ立てをつけました。

カウンター
美しい洗面器との調和が
デザイン面の基調になって
います。化粧品などの
日用品がゆったり置ける設計。
便利なコンセント付きです。

洗面器
本物の感触、陶製のカラー
洗面器です。水返しがついて
いますので、衣服や
床をぬらす心配もまったく
ありません。その上、汚れが
つきにくく、お手入れも簡単。

キャビネット・引出し
湿気に備えて、ビス一本まで
素材を検討。妥協のない眼を
仕上げに向けています。
タオルなどの小物入れに最適。

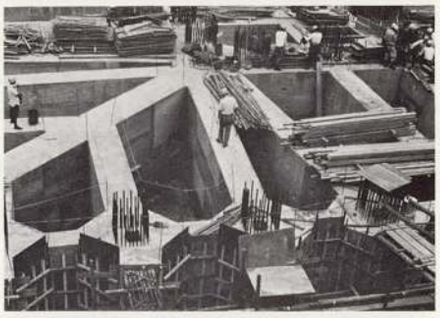
TOTO
東陶機器株式会社



①基礎工事・昭和46年４月



②基礎工事・昭和46年５月

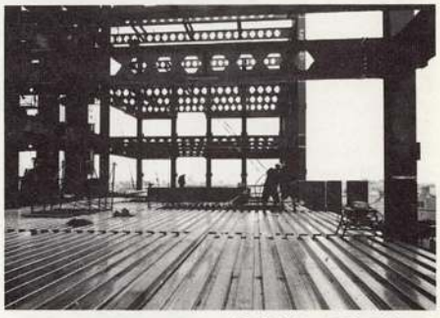


③基礎工事・昭和46年７月



大阪国際ビルディング

設計施工　竹中工務店



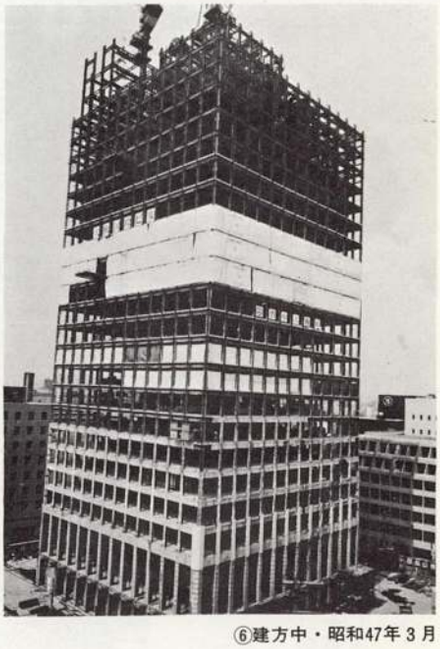
④建方中・昭和47年１月



⑤建方中・昭和47年２月



⑦建設中の遠景・昭和47年５月



⑥建方中・昭和47年３月

訂正とおわび　本誌５月号『特集：大阪国際ビルディング』45ページに掲載しました②と③の写真と説明文が、大阪国際ビルと無関係のものでしたので、おわびして上記のとおり、写真を入れかえて再収録いたします。なお、⑤の写真は建方中のものに変更いたしました。

同特集号48ページ、"大阪国際ビルディング工事関係業者"欄のうち、株式会社 三木塗装店の電話番号 06－699－6555(代表)は、06－699－6565(代表)のまちがいでしたので、お詫びして訂正いたします。

◀通常総会開催通知

昭和48年度の第1回通常総会を下記のとおり開催いたします。ご多忙のところまことに恐縮とは存じますが，何卒お繰り合わせご出席下さいますようお願い申し上げます。

社団法人　日本建築協会
会長　塚本猛次

記

と　き　昭和48年6月28日（木）午後5時30分～
ところ　近畿建築会館4階集会室（東区北浜3―37）
ぎだい　1. 昭和47年度事業報告承認の件
2. 〃　〃　決算報告承認の件
3. 昭和48年度収支予算承認の件

昭和48年度第3回若い会員の集い

◀神戸の洋館建築をみる会

――旧居留地・栄町通りを中心として

明治・大正時代を知らないわれわれにとっても，洋館建築は，異国情緒とともに往時の活気に溢れた生活を今に感じさせるものがあります。しかしながら，最近の急激な市街地再開発により，残存する建物も数少なくなってきました。このような折，貴重な遺産となった洋館建築を，今一度振り返って，この目で確かめてみようではありませんか。

今回は明治建築の権威，坂本勝比古氏のご案内により催すことにいたしました。多数ご参加をお待ちいたします。

日　時　7月7日（土）12.20（集合）→18.30（解散）
集合場所　大阪，北区，中之島，中央公会堂西裏
観光バス1台・目標会旗
定　員　40名
会　費　800円（バス代の1部・飲物代外，別に補助あり）
当日受付でいただきます。（ただし当日欠席されても会費はいただきます。）
見学場所　・旧神戸居留地（15番館（現在KKノザワ）海岸ビル，大阪商船ビルその他）
・栄町通り（中国銀行，安田信託銀行，第1勧業銀行，大林組，三菱銀行神戸西支店など）
・旧武藤山治邸（現在鐘紡舞子寮）
ゲスト　神戸市教育委員会社会教育部
主幹　工学博士　坂本勝比古氏
行　程　12.30 中之島出発→13.30 神戸市役所花時計前・坂本講師乗車
13.45→15.00 旧居留地見学（徒歩見学）
15.00 出発……栄町通り（車中見学）…16.00 鐘紡舞子寮着
16.00→17.00 旧武藤山治邸見学→休憩・歓談
17.00 出発→18.30 大阪駅北口着・解散
申　込　往復はがきに限ります。はがき1枚に1名限りとし，「神戸の洋館建築をみる会」と明記の上，氏名・勤務先名・所在地・役職・連絡電話番号・返信用宛名・郵便番号を記入の上6月28日（木）までに事業課へ。ただし定員を超過したときは抽せんにて決定し，参加証をお送りいたします。
なお神戸から参加希望の方ははがきに必ずその旨ご記入願います。

◀着々開発すすむ大阪南港の見学会

新時代に先がける大都市港湾として，大都市圏の新しい物流拠点として，またゆたかな環境づくりをめざして着々開発のすすんでいる大阪南港を大阪市港湾局のご厚意により船で見学することにいたしました。
何とぞ奮ってご参加下さい。

日　時　7月20日（金）14.00（集合）→16.30（解散）
集合場所　大阪市港湾局1階展示室
（大阪市港区築港2丁目8―24
電話番号　06―572―5121）
〔参考〕地下鉄，中央線「大阪港」駅下車，中央突堤に向って徒歩約5分左側
見学時間　14.00→14.30 港湾局にて大阪南港の概況説明
14.30→16.30 中央突堤より 港湾局ご提供 の船に乗り，南港1周の後，現地にて解散
定　員　30名
申　込　往復はがきに限ります。はがきは1枚に1名限りとし，「大阪南港見学会」と明記の上氏名・勤務先名・所在地・役職・連絡電話番号・返信宛名・郵便番号を記入の上7月7日（土）までに事業課へ。
ただし定員を超過したときは抽せんにて決定し，参加証をお送りします。

◀会員の受賞

このたび下記会員の方々が，建設関係並びに教育関係功労者として表彰されました。ここに誌してその栄誉をお慶び申し上げます。

春の叙勲

勲三等瑞宝章　森本積善氏（森本組会長）
勲四等瑞宝章　篠原太郎氏（なにわ建築設計事務所代表取締役）
勲五等双光旭日章　柴田真一郎氏（柴田土地建物代表取締役）
〃　〃　高橋政吉氏（明和管工業代表取締役）
勲五等瑞宝章　藤本庄之助氏（工盛社代表取締役）

国家褒章（通産省関係）

藍綬褒章　金光五郎氏（万年スレート社長）

大阪府知事表彰

岩崎茂雄氏（恒和化学工業代表取締役）
須賀栄一氏（須賀工業専務取締役）
高橋渡氏（三高製作所代表取締役）
萬喜清三郎氏（パンポー工業代表取締役）

◀ 昭和48年度理事の会務分掌

昭和48年4月25日開催の第1回定例理事会において，理事各位の会務分掌が下記のとおり決まりました。

（敬称略◎印主幹）

人数 / 部門別	総務(14名)	会計(7名)	編集(12名)
技術部門	市川　宏 小林　清 ◎佐野正一 寺田徳重 宮脇和正	大沢徳吾郎 ◎山田義行	井上　滉 五十嵐定義 北垣智造 小西　岬 高野考二郎 谷口尚武 ◎彦谷邦一 山田幸一
総合部門	浅沼猪之吉 鴻池藤一 竹中錬一 松村雄二 宮武伊三郎	大林芳郎 西田義郎	白井周二
電気部門	今元康彦	小林四郎	菅谷健児
管工部門	高須洪一郎	隅田正美	尾亀清四郎
建材部門	井上浄夫	室谷山水	渡辺　恵
支部	佐々木米太郎		

◀ 昭和48年度日本建築協会常設委員会委員

昭和48年4月25日開催の定例理事会において，下記のとおり各委員を委嘱いたしました。（敬称略・50音順　◎印委員長　○印副委員長　△印幹事）

（職場名は略称を用いました。）

■事業委員会

見学・講演・映画・展示・懇親会・若い会員の集いなどの事業企画および実施

赤木圀文（小河事務所）
荒川治徳（清水建設）
伊東伸二（大成建設）
飯田彦次（大建設計）
今井　平（市交通局）
岩崎義彦（竹中工務店）
岩瀬英之（竹中工務店）
△岩永秀夫（鴻池組）
△上松定行（大建設計）
打浪政信（新興建材）
内野憲次（日本板硝子）
遠藤良介（東畑事務所）
小田克子
○大橋一雄（関西電力）
岡田宏郎（浅沼組）
岡本弘之（安井事務所）
奥尾富一（大阪市）
忍田精三（近畿電気工事）
△木地晴彦（竹中工務店）
北岡靖一（野村建設）
◎北垣智造（大阪市）
○窪田　祐（大林組）
○小泉　豊（錢高組）
佐々木純一（日建設計）
佐藤　泰（市公園局）
新開信之（大林組）
△鈴木安太郎（大成建設）
隅田正美（第一工業）
高木富夫（坂倉研究所）
塚本正司（住宅公団）
○堤　兼雄（大林組）
栂井千澄（市消防局）
△中村恭三（大阪芸大）
△西村良平（阪急電鉄）
○花房文一郎（竹中工務店）
原　桂一郎（大阪市）
平田作太郎（平田タイル）
広瀬正治（清水建設）
福家　敬（大阪府）
藤縄正俊（大林組）
古田　博（住宅公団）
甫出裕紀（大阪府）
堀田宗男（鴻池組）
本田　盛（東畑事務所）
松久保安弘（藤木工務店）
○三品哲夫（大阪市）
三谷真喜子（都市科学研）
道田泰治郎（修成専門校）
△宮後　浩（宮後事務所）
森　堅（府供給公社）
森下元之（市公園局）
○柳　真也（村野森事務所）
山口素興（安井事務所）
山下絹枝（東畑事務所）
吉田公人（近畿地建）
渡辺智昭（鹿島建設）

■教育委員会

建築教育についての調査・研究ならびに講座などの企画および実施

△上田　稔（大阪市建築局）
△上野賢三（都島工業高校）
植田　武（今宮工業高校）
片岡益美（西松建設関西支店）
△佐々木　保（東畑建築事務所）
斉藤善次（須賀工業）
○斉藤　暢（創研設計事務所）
崎山宗威（大阪工業高等専門校）
篠原太郎（なにわ建築事務所）
△杉村正三郎（阪急電気工事）
関　守（関建築事務所）
田賀　勉（田賀建築設計事務所）
◎谷口尚武（大林組）
中野吉晟（西野田工業高校）
西原正輝（西原建築事務所）
△藤野長士（新日本技術コンサルタント）
△松岡照夫（大成建設大阪支店）
松岡　力（飛島建設大阪支店）
三木敏男（奥村組）
○宮武三郎（日建設計）
八十島健二（竹中工務店）
水谷　勇（松村組）
南　次郎（浅沼組）

山口道博（戸田建設大阪支店）
○力武利夫（清水建設大阪支店）

■出版委員会

建築に関する図書の企画・編集・刊行

青柳　司（日建設計）
池田有隣（京都工芸繊維大学）
木村喬夫（大建設計）
◎小林　清（新住宅社）
坂本勝比古（神戸市）
清水寿栄次（関電産業）
玉田　健（竹中工務店）
星　広文（星建築事務所）
水谷　勇（松村組）
横井元昭（大林組）

■建築データシート委員会

建築データシートの企画・編集・刊行

◎井上　滉（大建設計）
尾島幸男（竹中工務店）
△岡田圭司（大阪電気暖房）
川上　武（須賀工業）
木村久夫（大阪市）
木村博巳（近畿郵政局）
香西喜八郎（東畑建築事務所）
△酒井蔚聿（大建設計）
迫村隆毅（日建設計）
島　一夫（シグマ建築設計(事)）
△正法院陽三（日本建築総合試験所）
土谷昭夫（大林組）
中河克則（鴻池組）
中村哲士（安井建築設計事務所）
羽入　洋（清水建設）
長谷川昇昭（近畿地建）
樋口　登（市住宅供給公社）
○△真塚達夫（東畑建築事務所）
結城恭昌（大阪府）
△吉村篤一（坂倉建築研究所）

■法規委員会

建築に関する法規の研究・普及並びに建議

◎市川　宏（東畑建築事務所）
上田隆夫（市総合計画局）
小川幸雄（豊中市）
大津敏晴（プレハブ建築協会）
越智隆晴（神京設計事務所）
恩田一則（市消防局）
門永義則（竹中工務店）
北山美代治（堺　市）
楠　昭夫（村野森事務所）
小林得志（小林得志事務所）
駒　敬三（駒建築事務所）
後藤光一（大阪設計事務所）
近藤達夫（市総合計画局）
信濃小路　正（大阪府）
清水和彌（清水和彌事務所）
田淵穣一（大林組）
竹口信夫（大阪府建築士会）
永安照男（日建設計）
西川幸之輔（大阪市）
原　桂一郎（大阪市）
原田利教（東大阪市）
福田朝生（双星社竹腰事務所）
牧田顕治（大阪府）
松谷蒼一郎（大阪府）
森　悟（吹田市）
森川喜代之助（森川一級建築士事務所）
武曽一郎（清水建設）
○山本純孝（安井建築事務所）
山本　勝（大阪府）
渡辺甚吉（池田宮彦事務所）

■住宅委員会

住宅に関する研究並びにこれが改善についての一般啓蒙，よろず相談住宅展の開設

浅井潤一（ユーエー事務所）
○生田喜一郎（大阪市）
石川　清（日生不動産）
岩本尚三（市都市再開発局）
戎　良男（戎工務店）
大塚重雄（市住宅供給公社）
大西吉雄（日本板硝子）
○奥山清治郎（都島工高）
◎小西　岬（田中・小西建築(事)）
坂倉利男（大阪府）
末政清子（姫路短大）
高木幹祐（日鉄エコン）
高田重清（小堀住研）
○高野考二郎（住宅公団）
千葉　明（永大産業）
塚本孝継（大林組）
○恒成　恒（大阪府）
中市喜八郎（京阪電鉄）
長山弘子（府農林センター）
楢崎正也（大阪大学）
藤田邦昭（都市問題研）
細見昌三（クボタハウス）
森瀬幸一（田中・小西建築(事)）
山下聡清（近鉄住宅）
湯浅武夫（湯浅事務所）
○吉岡重和（府泉北）
吉田進彦（住宅金融公庫）

■建材委員会

建材のコンサルタント＊印顧問

石浦英郎（市都市再開発局）
北島　全（大建設計）
桜井　忍（鹿島建設）
鈴木安太郎（大成建設）
相馬恒雄（松村組）
中川　匠（中川匠建築設計事務所）
原　尚弘（クラレ）
藤川　慧（日本建築総合試験所）
星野二郎（岳建築設計事務所）
＊堀内三郎（京都大学）
○牧田顕治（大阪府）
毛利　誠（大林組）
○元木貞次（東洋紡エンジニア）
◎山田幸一（関西大学）
吉村行雄（竹中工務店）
和田得也（藤木工務店）

■編集委員会

会誌「建築と社会」の企画・編集（＊印編集理事，◇は事業委員兼任）

青木信介（竹中工務店）
浅見　元（府企業局）
＊井上　滉（大建設計）
＊五十嵐定義（大阪大学）
石田繁夫（須賀工業）
池田敏夫（近畿地建）
上田信也（日建設計）
上野登続（府住宅供給）
江藤暢英（竹中工務店）
小川克彦（大建設計）
大蔵　勝（大蔵環境設計）
大野義照（大阪大学）
＊尾亀清四郎（三晃空調）
加藤照男（大阪市）
海道清信（京都大学大学院）
河目浩吉（大阪府）
川本　勝（大林組）
＊北垣智造（大阪市）
日下正基（大阪大学）
口羽竜二（竹中工務店）
＊小西　岬（田中・小西事務所）
佐伯　晃（大林組）
＊白井周二（清水建設）
＊菅谷健児（大阪電気暖房）
＊高野考二郎（住宅公団）
竹山清明（兵庫県）
谷　淳之介（東畑事務所）
＊谷口尚武（大林組）
辻　文三（神戸大学）
西野　孝（積水ハウス）
肌勢良雄（清水建設）
浜田学昭（大阪市立大学）
＊◎彦谷邦一（彦谷事務所）
増淵昌利（神戸市）
松林　功（大阪府都市開発KK）
宮坂一也（大成建設）
村田光平（住宅公団）
八木俊樹（安井事務所）
矢野邦昭（鹿島建設）
＊山田幸一（関西大学）
＊渡辺　忠（東洋シャッター）
◇窪田　祐（大林組）
◇大橋一雄（関西電力）
◇三品哲夫（大阪市）
◇小泉　豊（錢高組）
◇西村良平（阪急電鉄）

「建築データシートに関するアンケート」

集計とお答え

先般の「建築データシートに関するアンケート」に対しまして，早速，貴重なご意見，ご感想をお寄せいただき，誠にありがとうございました。多数頂戴いたしましたご意見の内には比較的共通した問題点もいくつか見られましたので，これらを総括して取りあげ，今後の委員会の姿勢をお示ししたいと思います。

今後とも「建築データシート」の一層の充実を図るべく努力を続けて参る所存ですので，何卒大いにこのシートを利用していただくよう委員一同，心よりお願い申し上げます。

昭和48年6月

建築データシート委員会

集　計

アンケート解答数　117枚

○データシートの利用頻度はどの程度ですか？

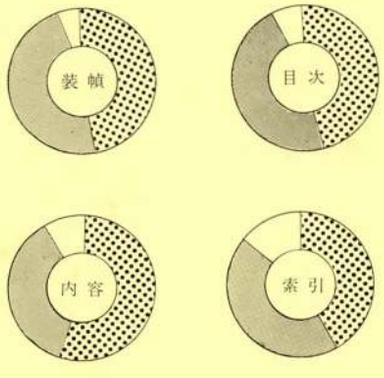
- よく利用する……30%
- 時々利用する……64%
- ほとんど利用しない……6%

○主にどんな事を知るために利用しますか？

（数字は件数を示す）

- 製品（工法）名……75
- 会社名……42
- 所在地・電話番号……33
- 性能……69
- 製品規格……67
- ディテール……48
- 資材(工法)の選択・比較…65
- 価格……29

○編集についてのご感想



■装幀について

全体の装幀については，まずまずの評価をいただきましたが，圧倒的にご不満のあったのは，ファイルのシステム化でありまして，途中でのシートの差しかえ，抜き出しに不便があるうえ，シートの穴あけが不揃いであるというご指摘です。前者につきましては，ファイルの堅牢さを第一に考えましたので，あのような形になってしまいましたが，今後はシートの穴あけに細心の注意を払い，不揃いをなくすことに努力致したいと考えております。その他，多色刷にしてはというご意見もありましたが，この問題，データによりましてはカラーの方が良いものもありますが，宣伝色が濃くなり本来データの提供を本流としてきておりますので現在のところカラー化する迄に至っておりません。

■目次・索引について

目次・索引は大いに利用されていて，いろいろなご意見が出されました。その中で常に最新の目次・索引をという声はしごくもっともなことと思います。委員会におきましても，今後の出版シートをどのような方法で目次・索引に加えていくべきか常に頭を悩ませている問題です。近々新しい総合目次をお届けするつもりですが，現在，その改訂間隔をできるだけ短くしていく方法と，別冊にする方法などを中心に検討を進めております。

■内容について

最も多くご指摘のありました点は1シートにまとめているために，データの内容が乏しいということですが，従来より1データ・1シートをあくまで原則にしながらも，データによりましては，2シート以上にわたらせている 場合もありました。今後もこの方針に 変りはありませんが，編集に当りまして，メーカーよりばらばらに出て来た資料をいかに簡明に，しかも様式の統一したシートにまとめるかが，いつも委員の頭を痛めているところです。従いまして出来上りましたものに対して，カタログ的性格しかないというご批判ももっともながら，これを手がかりにもっと詳細をお知りになりたい方は，直接メーカーに問い合わせて調べていただきたいというのが編集側の希望でもあります。ご承知のごとく現代は情報の過多時代でもあり，またその新陳代謝の激しさは驚くばかりであります。こうした時代の中で，「建築データシート」が常に皆様の中で生きた資料として存在していくための道は唯一つ，その自らの変身でしかありません。すなわち古くなった資料は次々と新しいものに改訂され，差し変えられていかねばならないわけです。これがこの「建築データシート」の大きな特徴であり，他の出版物との違いでもあるわけです。当初の目標でありました600シート掲載という目標もすでに達成しました現在，委員会の方針が改訂に重点を置くようになりましたのも，実はこういった内容の 充実を期すという 意味に 他なりません。また，監修者であられる坂静雄先生の非常なご努力と，ご労苦のお蔭をもってその内容が充実されてきていることも忘れられません。

ただ，ここでお断りしておかねばならないことは，この改訂にはスポンサーの協力が必要条件であるという事実であります。すなわち，①データの変更の把握，②新データの資料収集，③出版費用等の条件が改訂につきまとい，これが皆様のご期待に充分応えられない大きな原因にもなっております。

その他，設備関係のデータ，ディテールの追加，防災設備のデータ，等々の増補のご意見も頂戴致しました。いずれも今後の編集項目に挙がっておりますので，徐々に皆様のお手元にお届けできるものと確信しております。今しばらくご猶予願いたく思います。

○その他

北は仙台から南は長崎方面まで，全国各地から寄せられましたハガキの中に，この「建築データシート」が関西偏重すぎるというお叱りもありました。これらの方々には申しわけないことでありますが，この事業が雑誌「建築と社会」の附録という性格をもたせている手前，どうしてもそういった感じを与えることは否定できません。ただデータそのものは全国どこでも共通に使用していただけるものばかりでありますので，問題はないと思いますが，今後は更に地方の連絡先を出来る限り多数掲載して皆様の利便を図りたいと考えております。

《壁》は、どこまですすんだか……。

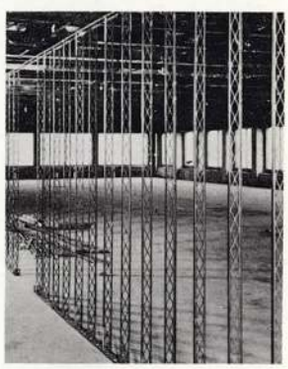
**たとえば、このレンガづくりの建物。どっしりと落ち着いた重厚さも
さることながら、どことなくホッとする暖か味を感じさせます。
丹念に積みあげていった人たちの、心がこもっているからかもしれません。**


旧北海道庁舎

では、このやり方でも現在のような高層建築が考えられたでしょうか…。素材にしても、工法にしてもそこには、目を見はるばかりの進歩のあとが……。

間仕切壁ひとつをとりあげてみても、技術革新のあとは

歴然としています。なかでも、いま、ちょっとした脚光を浴びている軽鉄間仕切壁工法ともなれば、なおのこと。高層ビルに要求される、軽量性・不燃性・耐震性・遮音性耐火性・経済性・施工性・管理性…などのきびしい条件もことごとく克服したシステム工法だからです。霞が関ビルを皮切りに、名だたる高層ビルにも次つぎに採用されているこの工法。名づけてエコニースタッドパーティションシステム。マンテンのアイディア工法です。



素材の製法から工法まで、51件の実用新案と35件の意匠登録に裏づけられた、それぞれ個性的な工法が４タイプ。間柱は特許製法の軽量ＳＬ鋼。張り上げ材は専用遮音ボード。仕上げ面はプラスター塗り、モルタル塗りの湿式と、ペンキまたはクロス仕上げの乾式が２タイプ。どれも、壁面中空間利用で配管配線も自在なら、機能でも際立った存在。湿式のＰタイプでさえ、鉄筋コンクリートの$\frac{1}{6}$の軽さ、階高の$\frac{1}{150}$の層間変位テストでも仕上面にも一切影響なし。乾式をとりあげると63kg/cm²の軽さ、50dB(500Hz)の遮音値、0.996kcal/m²h℃の断熱性能のものから、23kg/cm²-37dB-1.59kcal/m²h℃のものまで。まずは、最先端の間仕切壁といえるのではないでしょうか。いずれも、製造から責任施工まで。ぜひ、ご研究ください。

かずかずの有名高層ビルに採用されている――新時代の軽鉄間仕切壁工法

エコニースタッド パーティションシステム

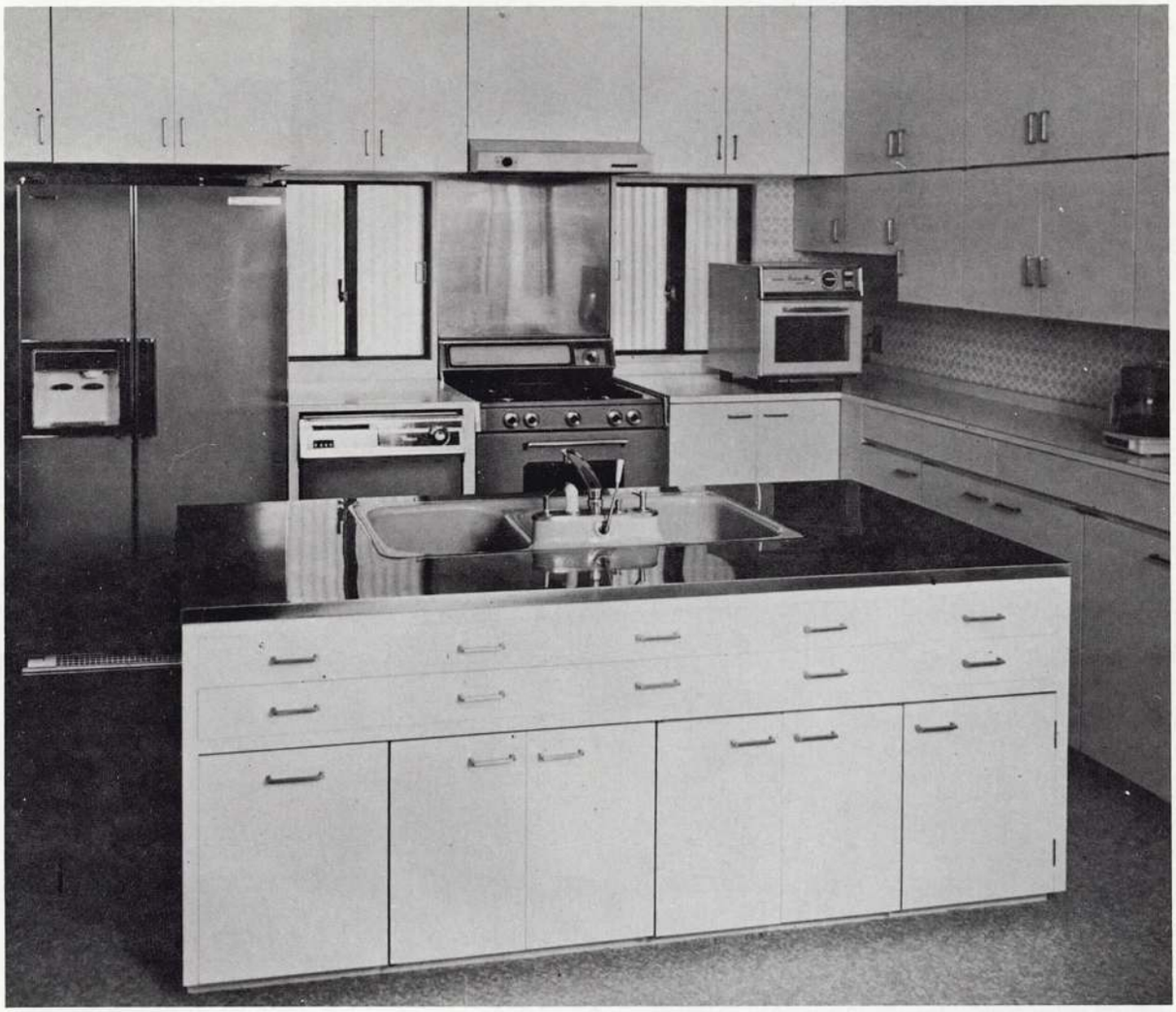
＊カタログを差しあげます。本社・広報課ＫＳ係までハガキでご請求ください。

明日の生活環境づくりに
アイディアでとりくむ――

マンテン

株式会社マンテン――本社 〒542 大阪市南区日本橋筋3-2 ☎(06)632-1151代　東京支店 〒136 東京都江東区大島5-10-11 ☎(03)682-3241代
名古屋出張所 〒454 名古屋市中川区百船町1-3-4 ☎(052)353-3177代　福岡出張所 〒812 福岡市博多区博多駅東1-12-26(岩瀬ビル) ☎(092)43-4356代　札幌出張所 〒065 札幌市東区北八条東19-22 ☎(011)741-8439

才色兼備



お台所は奥さまのお城——
『機能性』と『美しさ』を誇る
松山のキッチンインテリアが
楽しい空間をクリエイトします



家具一筋70年

松山

大阪堀江/心斎橋/東京



■本店／大阪市西区四ツ橋筋堀江立花通角
☎大阪(06)531－6451(代表)

日本建築協会法規委員会

法令コーナー

質疑などの投稿をお待ちしております。

69

大阪府下の新用途地域制の概要

1. 用途地域制の概要

昭和46年当初より進めてきた新用途地域（案）の作成は各市町村の地元説明会を経て、昭和47年11月から昭和48年２月にかけて大阪府原案として順次決定された。

案の作成にあたっては大阪府の基本方針をもととして案の作成の方向づけがなされ、作業を進めてきたが、大阪府原案を定めるにあたって、とくに問題とされた点はつぎのとおりである。

① 大阪府域全体の市街化区域内における、住宅地、商業地、住宅地等の将来の土地利用区分の明確化をはかること

② 大阪市を中心とする住工混合地区の地域区分の再検討

③ 容積率の指定と関連した商業系地域の再検討

④ 大阪府全域にわたる容積率の適正な指定

⑤ 住居系地域の専用地域を最大限拡大することと工業専用地域の指定の拡大

⑥ 幹線道路沿道の地域指定の方向

⑦ 高度地区、特別用途地区などその他の地域地区の活用

これらを検討のうえ最終的に決定された大阪府原案を現行用途地域と比較するとつぎのような特徴がある。

① 工業系地域の減少と工業専用地域の拡大

現行用途地域で約24,500haあった工業系地域は大阪市を中心とする内陸部の既存工業地帯を最近の土地利用の動向に合わせて約 2,500ha減少し、約22,000haとし、また工業専用地域は臨海部および内陸部の工業団地を中心として約 1,250ha拡大し 3,250haとなっている。工業専用地域以外の工業系地域については今後、特別用途地区の活用により、異種機能の排除をはかっていく方針をとっている。

② 住居系地域の拡大と住居専用地域の大幅な増加

工業系地域の減少にともなって住居系の地域は約 1,500ha拡大し約58,000ha、用途地域指定面積の67.8%となった。そのうち第１種および第２種住居専用地域の占める割合は現行用途地域の住居専用地区の占める割合22.1%に対し57.7%と約 2.6倍の増加となっている。とくに、北大阪地域の豊中、箕面市、高槻市、東大阪地域の枚方市、交野市などの市域については住居系地域の80%近くが住居専用地域である。なお、住居専用地域を中心とした住居系地域については、大阪市を中心とする既成市街地を除き全面的に高度地区を併せて決定し、住宅地環境の保全をはかることが考えられている。

③ 商業地域の縮少と近隣商業地域の新たな指定

新用途地域では商業系地域は商業地域と近隣商業地域とに分かれたため、商業系地域については全面的に再検討が行なわれた。この結果、商業地域は約 720ha減少、近隣商業地域は新たに1,630haの指定がされ、商業系地域全体としては約 910haの増加となっている。

新用途地域とその他の地域地区

新用途地域の決定にあわせて高度地区、防火地域および準防火地域、特別用途地区等の地域地区をあわせて決定、変更することとなっている。とくに最高限度を定める高度地区は大阪府下ではじめて指定されることとなる。防火地域および準防火地域は、現在19市において指定されているが、新用途地域で商業地域および近隣商業地域の指定される区域については、原則としてそれぞれ防水地域、準防火地域を指定することとしているため、ほぼ大阪府下全市町で防火地域および準防火地域が決定または変更されることになる。特別用途地区については，現在特別業務地区を予定している市町は６市であり、それぞれ準工業地域または商業地域が基本用途地域となっている。特別工業地区は現在、東大阪市、堺市、和泉市を予定しているが、東大阪市、和泉市は変更（ただし市の条例が定められていない）、堺市は決定であり、基本用途地域はそれぞれ住居地域、準工業地域となっている。

（本稿は、48. 4.16法規委員会において大阪府土木部計画課　山本係長のご説明をもとにして作成したものである。）

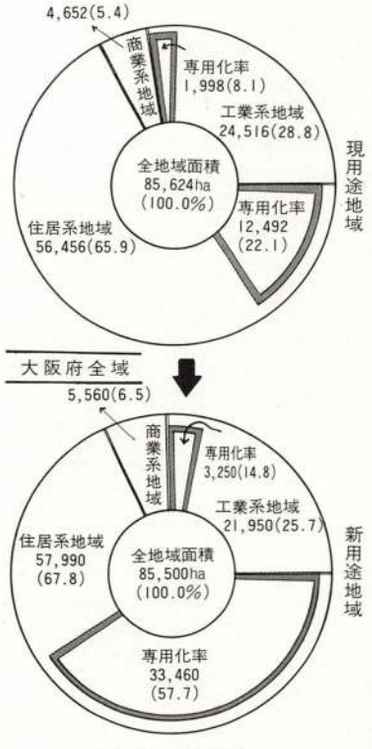
（大阪市総合計画局都市計画部
都市計画課　上田隆夫）

新用途地域面積の概要

上段：ha
下段：%

	大阪市	北大阪地域	東大阪地域	南大阪地域(I)	南大阪地域(II)	大阪府計
第一種住居専用地域	— ( )	2,767 (17.3)	1,777 (9.2)	1,489 (19.7)	2,527 (11.2)	8,560 (10.0)
第二種住居専用地域	2,310 (11.7)	7,078 (44.4)	6,606 (34.2)	2,685 (35.5)	6,217 (27.4)	24,896 (29.1)
住居地域	7,030 (35.5)	2,859 (17.2)	5,124 (26.4)	2,516 (33.2)	6,996 (30.9)	24,525 (28.7)
近隣商業地域	290 (1.5)	310 (1.9)	467 (2.4)	111 (1.5)	452 (2.0)	1,630 (1.9)
商業地域	3,010 (15.2)	263 (1.5)	358 (1.8)	21 (0.3)	301 (1.3)	3,953 (4.6)
準工業地域	3,870 (19.5)	2,123 (13.2)	3,747 (19.3)	589 (7.8)	3,605 (15.9)	13,934 (16.3)
工業地域	2,500 (12.6)	678 (4.5)	979 (5.0)	32 (0.4)	563 (2.5)	4,752 (5.6)
工業専用地域	800 (4.0)	— ( )	333 (1.7)	119 (1.6)	2,001 (8.8)	3,253 (3.8)
計	19,810 (100.0)	16,078 (100.0)	19,391 (100.0)	7,562 (100.0)	22,662 (100.0)	85,503 (100.0)

北大阪地域　豊中市、池田市、箕面市、東能勢村、吹田市、茨木市、高槻市、摂津市、島本町
東大阪地域　枚方市、寝屋川市、守口市、門真市、大東市、交野市、四条畷市、東大阪市、八尾市、柏原市
南大阪(Ⅰ)地域　松原市、羽曳野市、藤井寺市、富田林市、河内長野市、狭山町、美原町、太子町、河南町
南大阪(Ⅱ)地域　堺市、高石市、和泉市、泉大津市、忠岡町、岸和田市、貝塚市、熊取町、泉佐野市、田尻町、泉南市、阪南町、岬町　　城　豊中市、池田市、

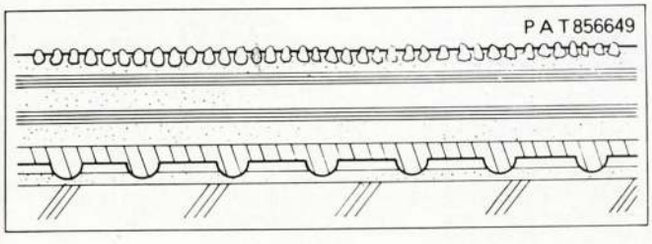


用途地域の新旧対照



フクレ防止宣言!!

防水の難問を解決した
特許ストライプ工法 **ピロウエルド**



1.露出防水のフクレを完全に防止します。
2.下地挙動を緩和し、優れた耐亀裂性を発揮します。
3.従来の絶縁工法にない接着力で、風による剝離を防止します。

日本アスファルト防水工業協同組合
●東京都足立区千住東2丁目21番28号　ＴＥＬ東京(882)2424(代表)
●大阪市東淀川区瑞光通り４丁目30の２　ＴＥＬ大阪(329)7737(代表)

マルエス S 日新
日新工業株式会社
本社営業所●東京都足立区千住東2丁目21番28号　ＴＥＬ東京(882)2424(代表)
大阪支店●大阪市東淀川区瑞光通り4丁目30の2　ＴＥＬ大阪(329)7737～7740
出張所●名古屋(741)4257～8●広島(21)1010・1061●福岡(74)3461～3
●札幌(51)5659・6885●山形　(23)0437～9　工場●東京●埼玉●山形

読者の頁

イギリスの大学－海外写真－を終えて

グループISSB71　松尾仁美

〈Qui va lento va sano, qui va sano va lontano〉（ゆっくり行く者は安全に行き、安全に行くものは遠くまで行く）。その本場の国イタリアではほとんど耳をかされていないが、このことわざはイギリスのモットーともいえるであろう。――

「イギリス人の生活」（クセジュ文庫）で、著者トニ・マイエール氏はイギリスの悠長で注意深い交通ぶりをこう皮肉っている。パリではホテルの玄関から中央の並木の舗道にたどり着くのでさえ、まるで弾丸の束のように襲ってくる車のために命からがらだったことを思い出すと、フランス人のマイエール氏の感想もむべなるかなであるが、ただ単に交通のみならず、このことわざがイギリス人の生活態度やお国柄をよくいいあてているように思える。

イギリスでは19世紀の労働者コロニーから田園都市へそしてニュータウンへと繋らなる一連の膨大な歴史をもつ住宅計画があり、最近は都心の再開発や郊外の団地計画も加えて、ハウジングは都市計画の大きな柱をなしている。さらに近年ヨーク・バースといった歴史的都市のコンサヴェイション問題や、個々の旧い建物を改造して新しく使っていくリハビリティションにも力を注いでいる。一方、遅れていた教育制度の改革に伴う大学その他の教育施設の建築もまた盛んである。私達は1971年の夏ロンドンで開かれたISS（International Summer Session）に参加した機会に、3週間のヨーロッパ見学旅行の中で約半分をイギリスに滞在した。その間、ロンドンを起点にオックスフォード、リバプール、グラスゴー、エジンバラ、ヨーク、ケンブリッジと時計廻りにイギリスをほぼ一周する過程で、着実に時間をかけて試行しているイギリスのすばらしい経験をかいま見ることができた。

ここで6回にわたり紹介した「イギリスの大学」シリーズを終えるに際して、さきのことわざを思い浮べつつイギリスの大学について概観してみたい。

■イギリスの大学

実のところ、漸進的変化をしながらも古い伝統に基き特権階級のものであったという点で、イギリスの大学が他の欧米諸国に後れをとっていたといわれている。「12世紀初期に見られた寺院建築の大運動にも似たものであり、多分、それと同じほど情熱的なものである」（ＡＲ誌1964年7月）ニューユニヴァーシティーの運動が始まったのは、1950年代の後半であった。

イギリスの大学はその成立の経緯と時期からいって大雑把に3つに大別できる。

第1は12、3世紀に宗教的背景のもとに設立された私立の名門オックスフォード、ケンブリッジ大学であり、一定特権的エリートコースであった。現在は学部制に編成されているとはいえ、英国国教会や個人の基金をもとにした独自性のあるカレッジ制と、学生はチューター達と生活を共にする学寮制が伝統的にとられている。世の中で最も変りにくいのは宗教と大学だというからして、その両者を兼ねそなえるオックスブリッジの権威と伝統は推して知るべしであるが、近年は能力に応じて門戸が開かれているし男女共学の話題も聞かれるのは時代の波であろうか。僧院のような古いカレッジとスターリングその他の設計による戦後の手堅く前衛的な建築が共存しているさまは、イギリスならではの風景である。

第2は産業革命後、地方の産業の要請によって19～20世紀に漸次形を整えていった市民大学（近代大学）と呼ばれるもので、地方の財源援助のもとに地方的起源をもっている。宗教からの自由、特権をもたない階層の子弟の教育、科学技術の推進を基盤にした、通学制の大学である。大学はその所在する都市や地域と緊密な関係性をもっている。この建築の特色から、初期の旧市民大学をレッドブリックと通称し、第二次大戦後大学に昇格したような新市民大学をホワイトタイルと呼んでいるらしい。レスター大学はさだめしホワイトタイルということになるのだろうが、スターリングの理工学部の建物はご存知のようにれっきとした赤レンガである。マンチェスター大学のような都市内の赤レンガ大学は目下再開発の動向下にある。

学生数3万を数える英国最大のいわば連合大学ともいえるロンドン大学や、成立基盤の異なるスコットランドの大学も含めて、それまで20余の大学しかイギリスにはなかった。同世代人口の約4割と2割を容するアメリカや日本に比べれば、イギリスでは大学生がまだ一部の層を代表していたに過ぎない。戦後の技術革新の潮流は、高等教育卒業生の絶対数の不足の解決と科学技術とりわけ工学の重視という課題から、大衆へ大学教育を開放するニューユニヴァシティーの建設へと駆りたてた。1950年代後半に構想され、60年代に現実のものとして建設されてきた第3の大学がニューユニヴァシティーであり、一挙に大学の数は倍増して46を数えるに至っている。これを称してプレートグラス（板ガラス）大学というのだが、私はもう1つ「エンヴァイアロンメント」という言葉がつけ加わるのではないかと思っている。ヨーク大学はその1つであり、中世の城壁やゲイトの残る美しいカセドラルの街ヨークの郊外にあって、豊かな自然と人工の環境を展開しているのだ。

■ニューユニヴァシティー運動

夏休み中の日曜日であったためか、私達がヨーク大学を訪れた時出くわしたのは1人の日本人とつれのアジア人だけであった。アクセス道路の両側にまたがる広々とした人気のないキャンパスには、湖を取込んで実にたくみなプランニングが展開されていた。しかしその時の羨望の念に何かしら不満とも不安ともいえる感情が混っていたのを憶えている。その感覚ははなはだすっきりしないものとして今日まで持越してきた。――この桃源境の様な環境で現代の若者が数年間過して何を獲得していくのだろうか。――

ニューユニヴァシティーの建設はさきにあげた国家的な2つの課題と、地方での大学設立の強い要望が一致して成ったものであった。事実新設された場所は、調べてみると、1世紀やそれ以上昔から幾度か大学設置の運動が起って実らなかったところが多い。設置された地域では、地元で望ましい広大な敷地を確保し、大学認可委員会と接触を持ち、各大学ごとに教授や地元代表者からなる大学設置委員会と大学計画委員会を組織して、新しい大学の基本的な方針を検討した。こうしてまず第1段階はサセックス、ヨーク、イーストアングリア等7つの大学が認可された。残りのものはロビンズ郷のかの著名な「高等教育に関する報告」書が出された1963年以後となる。建設のための資金は国費があてられることになったが、どのような大学を作るのか（大学の基本理念；大学憲章、研究教育のシステムをどうするのか；カレッジ制・学部制・研究科目制、規模や発展の速度、何をどの様に教えるのか；科目やカリキュラム・教授方法）といった一切については各大学の自由にまかされた。各大学では長期にわたって討議検討し、独自の解答を獲得していった。それゆえその結果は多様であるが、共通していえることは、既存の2つのタイプの制度に対する革新をめざしながらも、なお初等教育から貫かれている個人指導を重視していること、教授以外のスタッフや学生の意見を決定機関に反映させる制度を保障すると同時に、地域における教育文化生活の中心となるべく努力していることであろう。とくにニューユニヴァシティーが重視した学生の住居の建設のために、各地で一般に援助を求める募金運動が起り、その過程を通じて地域における大学建設の気運と期待を補強していったのである。

もしニューユニヴァシティーが、科学技術の進歩という国家的要請と多様な層にわたる大衆化した新しい種類の学生と地域の教育文化の向上とに開かれたものとして用意されたとしたら、このような一切を含めた「環境」に最も鋭敏に影響を受けるのも事実であろう。私的なものから地域のもの、そして国家的レベルへと上昇してきたイギリスの大学の歴史の中でニューユニヴァシティー運動はまだ初まったばかりだといえるのかもしれない。

ところで、最後に 建築家達が大学の管理者や教師達と共働して、学問の理念や教育研究・社会生活のあるべき姿を物理的側面で実現させることに寄与したことを付言しておく必要があろう。ミッシェル・ブラウン氏はＡＲ誌（'70・4）で、〝大学教育は20世紀のキー・プロフェッションである〟というある僭越な広告を引用して、建築家達が10年前〝キー・ビルディング〟として大学建築に名誉をかけて取組み、〝アカデミックレヴォリューション〟と呼ばれるものの成功をなした、と述べている。

訂正　本誌2月号掲載分〝ヤングタウン〟32頁文中、「雇用促進事業団住宅」の延床面積を、下記の通り訂正します。

1号棟　2,353.04m²（誤）　7,353.04m²（正）

2号棟　2,398.94m²（誤）　7,398.94m²（正）

フリントコート®

マスチックフローリング

耐久性のすぐれた防湿床材



飯田町紙基地センター
設計監理：国鉄東京建築工事局　施工：清水建設・熊谷組・鉄建建設共同企業体
使用場所：床　仕様番号：F－9®

特　長

1　耐久性：耐久性にすぐれている。
2　耐摩性：摩耗の度合が低く、ホコリなど生じない。
3　すべり抵抗性：すべり抵抗性にすぐれている。
4　復元性：弾性があり、万一亀裂ができても使用している間に復元する。
5　粘着性：多少湿っていても、コンクリート、金属、木など、どんな面にもよく粘着する。
6　不燃性：引火のおそれがなく、ガス工場、爆薬工場の床に使用されている。
7　無毒無臭：完全無毒で各種食品工場、貯蔵庫に多く使用されている。

フリントコートについてのお問合せは下記へ

FLINTKOTE®

株式会社シエル石油大阪発売所
フリントコート施工販売部

大　阪　〒532 大阪市東淀川区西中島2丁目76 ☎(06) 303－7131
東　京　〒104 東京都中央区宝町2丁目4番地(第2ぬり彦ビル3階) ☎(03) 562－4646
名古屋　〒461 名古屋市東区東門前町3の47(日本橋ビル4階) ☎(052)931－8537
広　島　〒730 広島市東白島町15番6号(西林ビル3階) ☎(0822)21－1224
福　岡　〒810 福岡市中央区舞鶴1－1－5(舞鶴ビル3階) ☎(092) 77－1961

建築と社会 ニュース

ニュース原稿をお送りください。

日照プランニング・システムを開発

大阪府建築士会建築情報センターと日本電子計算の共同事業

最近、環境問題に対する社会的関心は、とみに高まりをみせ、建築界でも日照、通風、騒音など多くの問題をかかえている。特に高層建築ブームに対し、周辺住民との日照権紛争は増加する一方で、最近では、建築計画設計や確認申請の段階での日照チェックとして「日影図」の作成、提出を求められるケースが増えつつある。こうしたことから、建築事務所等では、計画、設計に際しての業務量は増え、精神的な負担も重くなってきている。(社)大阪府建築士会建築情報センターでは、これらの事象に対処するため、日本電子計算㈱と共同して、「日照プランニングシステム」を開発した。

これはビル等の建物の所在地、建物の数、建物の形状、指定月日、測定時刻等のデータを電子計算機に与える事により指定月日の各時刻の太陽の位置、影の方向、長さ、座標を計算し、その結果から指定された縮尺で、各時刻の影の状態を表す「日影図」が高速プロッタで自動作図される。また、その建物付近の一日の日照時間が一目でわかるよう、何時間日照かを一時間きざみの等高線形式で表わす「等日影時間図」をも作図する。さらに、その建物の影が影響を及ぼす他の建物の任意の階の窓という様な任意点の1日の日照状態を十分単位で計算する――等の画期的なシステム。

主な特徴としては次の点があげられる。

①企画、設計段階でのチェック用として完璧
②周辺の住民や施主に対する説明資料。
③諸官庁への届出資料にそのまま用いられる。
④敷地の傾斜を考慮できるので、斜面上の建物も解析できる。
⑤建物の所在地は、世界中どの地点でも可能
⑥指定により、日影図の他に等日影図、及び任意点の日照時間の計算もできる。
⑦専用記入シートで簡単にデータが作成できる。
⑧作図には精度の高い(0.05ミリ)高速プロッターを使用しているので、正確な図面が迅速に得られる。

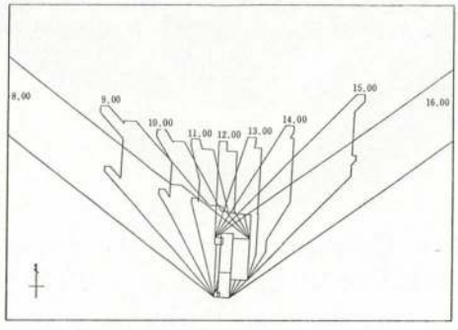
図面作成は、建築情報センターと日本電子計算が窓口となるが、データをシートに記入して提出すれば、中一日でできあがる。価格は、設定座標点数によって多少異るが、一棟二十座標までで一万二千円、それ以上は1点増すごとに五百円増、普通の図面なら一万五千円程度。なお建築情報センター及び大阪府建築士会事務所部会の会員には割引きされる。

〔インプットデータ〕
A基本データ
1)名称(敷地名)、所在地(都市名)、
2)敷地の傾斜角度と方向
3)緯度、経度(太陽時算定)
4)指定月日(又は冬至、春秋分)
5)測定時刻
B建物のデータ
1)位置(座標X、Y、Z)
2)面の構成データ
C図面データ
1)図面の大きさ(A_2、A_3)
2)建物の縮尺
3)道路等座標(X、Y)
D等日影時間図データ
1)作図する時間
E日照時間を計算する任意点座標

〔アウトプットデータ〕
Aプリントアウト
1)指定した条件(インプットデータ)
2)大陽時(標準時との時差)
3)影の方向
4)影の座標と長さ
5)任意点の日照時間と時間帯
Bプロッターによる図面
1)日影図(指定した日数枚)
指定時間の影の型を表す図面
2)等日影時間図(指定した日数枚)
何時間日照かを等日影線として表す図面

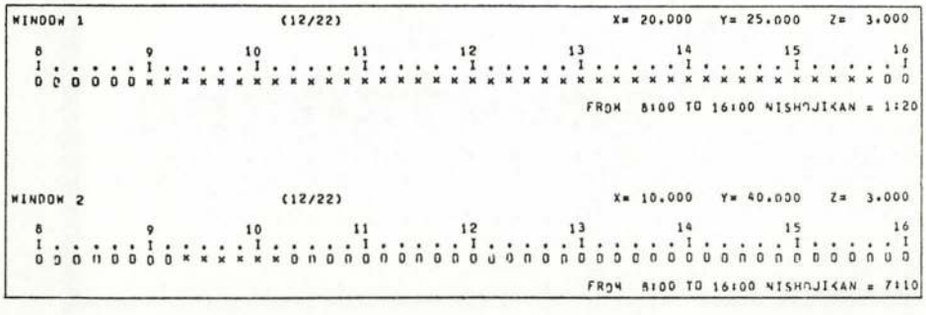
会員募集
(社)大阪府建築士会　建築情報センター
〒541　東区博労町2－41中博ビル
TEL　大阪06(262)－1861(代表)

情報センターはこんな活動をしています。
■資料の収集・整理・蓄積・加工・提供などの情報に関する基本活動
重点収集資料●官公庁・諸団体による刊行物
●その他市販されない調査や報告資料
■資料閲覧及び相談
■CONTENTSサービス(目次目録集の発行)
やがてこんなサービスも始めます。
■カタログ資料サービス－建材・設備等カタログ収集、分類、閲覧、「カタログ集」の発行
■作品情報サービス－建築作品の概要と掲載誌名等を問合せに応じてリストとして送付する。
■設計図面の交流
■コンピュータープログラム登録制
■その他、事務所資料の収集、閲覧など



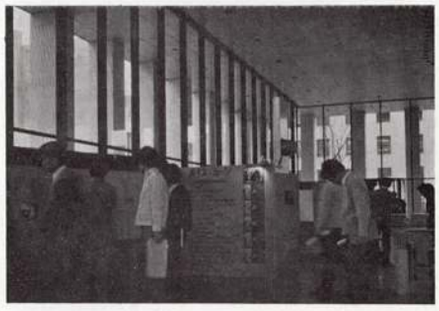
日影図➡

⬇任意点の日照時間



ルイス・カーン　デザインスケッチ展

大阪国際ビルディング2階で4月19日から3日間、建築的思考の主流をなすルイス・カーンのデザインスケッチ展が催された。「黄金のトレーシング・ペーパー」に描かれたユニテリア教会、ソーク生物研究所、キャンベル美術館などや風景スケッチが展示された。



心斎橋プラザにインテリア・ソオラ開店

イームズ、マルセル・ブロイヤー、ミース・ファンデル・ローエなど国際的な建築家の手になる家具も含めて、一流デザイナーの作品を一堂に集めたインテリア・ソオラが、地下鉄心斎橋駅北口の心斎橋プラザビル3階にお目見えした。この店は、日建設計と住友商事による合弁会社で、インテリアに関する一切の業務をおこなっている。



小堀住研が展示場開設

創業20周年を記念して小堀住研(社長小堀林衛氏)が、モデル・ルームから住宅資材、家具、インテリアまで住宅に関する製品と資料を集めた総合展示場「コボリスマイリング西宮」を西宮市甲風園1－5に、このほど完成した。

屋上に注文住宅およびユニットハウスが設置してあるほか、6階建の各階には2階に住宅相談室、3階と4階はモデル・ルーム、5階にインテリア製品・家具、6階に各種建築資材や住宅用機器などが展示されている。



すぐれた居住性を創造する

軽量気泡コンクリート

シポレックス

SIPOREX



大阪国際ビルディング
設計施工　㈱竹中工務店
使用部位　マジキリ

軽量

比重0.5

コンクリート¼の重量

断熱

コンクリートの10倍の断熱性

耐火

法定耐火材料

◆シポレックスは工場、住宅から超高層ビルまであらゆる建物の屋根・床・壁・間仕切・耐火被覆に使用されますが次の建物には特に最適です。

1　工期短縮を要するすべての建物
2　空調を要する工場・倉庫事務所住宅等
3　鉄骨大張間の工場・体育館等
4　軽量化を要する高層建築物・軟弱地盤の建物
5　鉄骨耐火構造の建物

シポレックス株式会社

本社・東京支店　東京都千代田区神田司町２－６（平沼ビル）
電話　東京（256）代表３４５１
大阪支店　大阪市西区立売堀北通１－90（第三富士ビル）
電話　大阪（538）代表０５２１
名古屋支店　名古屋市中村区広小路西通３－２（大商ビル）
電話　名古屋（581）代表７４２１

□ 写真と概要をどしどしお送りください。
凡例：a.所在地　b. 敷地面積　c. 建築面積　d. 延面積　e. 構造規模　f. 工期



874. 西淀川老人福祉センター

設計：大阪市建築局営繕部
施工：高松組
a. 大阪市西淀川区佃町２丁目43
b. 535.16m²
c. 343.39m²
d. 496.97m²
e. RC造、２F
f. 昭和46年11月～昭和47年４月



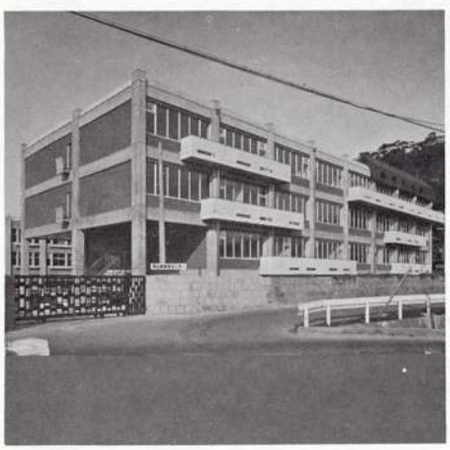
875. 東住吉老人福祉センター、図書館

設計：大阪市建築局営繕部
施工：吉原建設
a. 大阪市東住吉区平野鞍作町38
b. 1,292.00m²
c. 591.42m²
d. 1,087.52m²
e. RC造、２F
f. 昭和47年11月～昭和48年４月



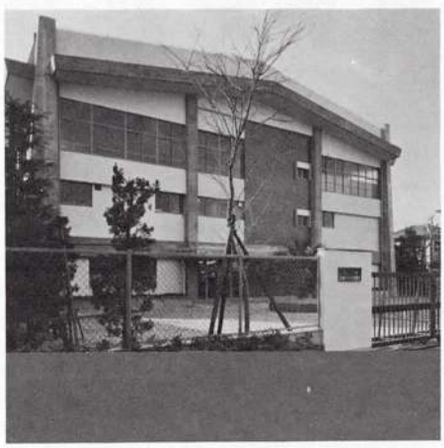
876. 静岡大学農学部校舎

設計：静岡大学施設部
施工：㈱奥村組名古屋支店
a. 静岡市大公８３６
c. 1,712.71m²
d. 10,525.89m²
e. RC造
f. 昭和46年10月～昭和48年３月



877. 岡山県教育研修センター

設計：㈱パシィフィック設計事務所
施工：株式会社銭高組
a. 岡山市古京町２丁目２の１４
b. 4,822m²
c. 1,598m²
d. 3,470m²
e. RC造４F高さ17m
f. 昭和47年５月～昭和48年２月



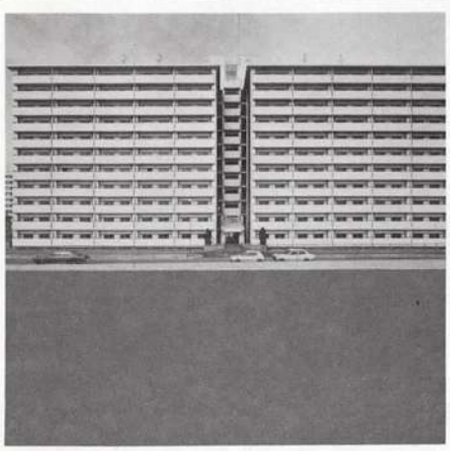
878. 日新電機㈱京都工場体育館

設計：㈱間組
施工：㈱間組大阪支店
a. 京都市右京区梅津高畝町
c. 1,137m²
d. 2,361m²
e. RC、３F
f. 昭和47年６月～昭和47年11月



879. 大阪府生野警察署

設計：大阪府営繕工事課
坂倉建築研究所
施工：株式会社淺沼組
a. 大阪市生野区勝山通８－４０
c. 907m²
d. 3,413m²
e. RC造(一部鉄骨)地下１階
地上４階
f. 昭和47年１月～昭和48年１月



880. 此花厚生年金高層共同住宅

設計：㈱吉田建築事務所
施工：㈱鴻池組
a. 大阪市此花区高見町１丁目83
b. 6,600m²
c. 1,191.642m²
d. 15,262.719m²
e. RC11階、塔屋２階、３DK
220戸
f. 昭和47年１月～昭和48年２月



881. 八木ビルディング

設計：株式会社　竹中工務店
施工：株式会社　竹中工務店
a. 大阪市東区本町４丁目27番地
b. 1,690.82m²
c. 1,243.35m²
d. 13,680.73m²
e. SRC、B２、F９、P２
f. 昭和46年３月～昭和47年10月



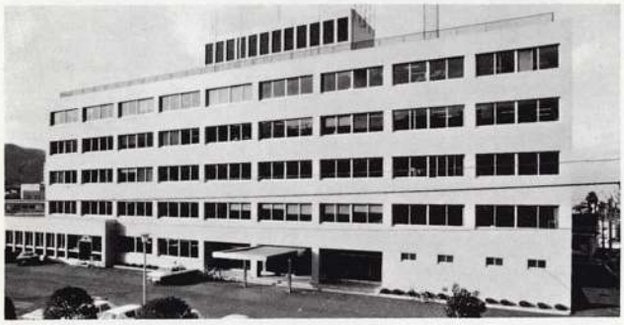
882. 日電興産名古屋ビル

設計：㈱奥村組
施工：㈱奥村組名古屋支店
a. 名古屋市中区老松町3丁目7番地3
b. 675.21m²
c. 574.172m²
d. 5,145.095m²
e. PC杭φ500 SRC造、地下
１階、地上８階
f. 昭和47年３月～昭和48年２月

防水層の保護と軽量、断熱に

東邦のパーライトコンクリート PC－D工法

（歩行用及び防水下地用）



屋上アスファルト防水層の保護、断熱、軽量に東邦パーライトコンクリート
ＰＣ－Ｄ工法採用の大津法務合同庁舎
設計　近畿地方建設局　　施工　ＫＫ伊藤組、ＫＫ笹川組

作業が一工程省け工期の短縮と
コストが安くなる合理化工法

- 防水層の押えに使用し仕上モルタルの要らない金ゴテ一パツ仕上工法
- デッキプレートの軽量化や露出防水下地、または貼物下地にナラシモルタルの要らない金ゴテ一パツ仕上工法

畳下地の省力化と塩ビ系タイル下地の防湿、防温、軽量化、断熱（結露防止）に

東邦のパーライトモルタル PM－C工法



各階のタタミ下地に東邦パーライトモルタルＰＭ－Ｃ工法採用の
大宮高層分譲住宅
設計　大阪市住宅供給公社　　施工　ＫＫ間組、ＫＫ熊谷組

- タタミ下地の床組（大工仕事）が全く要らないので**工期短縮とコストが安くなる**
- 床組しないので建物の**ボリュームの節約ができる**
- 無機質 100％絶対耐火それに多孔性材料のため吸温、遮音に優れている
- **独立気泡**の東邦パーライトと**防水液を使用した完全防水パーライトモルタル**であるため、湿気を全く透さない

比重・断熱共木材並１：３
（比重0.85kg／ℓ、熱伝導率0.14kcal／mhc）

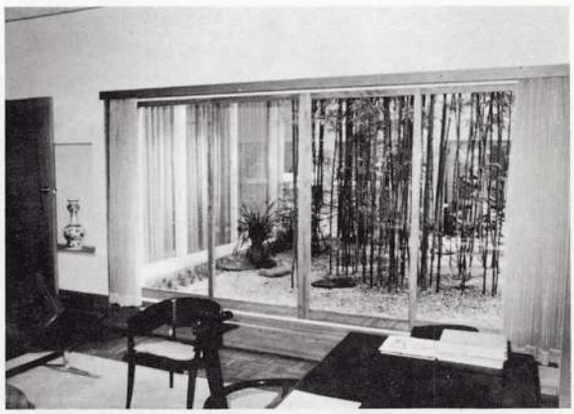
遂に出た…ベニヤ仮枠コンクリート下地の**かべ**、天井の一パツ重厚吹付仕上工法

建設省防火認定材料基材同等第0004号

ネオパールスキン®

化粧、吸音、防湿、断熱（結露防止）と多目的用に

- ベニヤ仮枠コンクリート下地（天井及びかべ）に直接吹付して剥離の心配がない
- **かべ面は金ゴテ押え**すれば聚洛壁タイプの表面強度のあるソフトでデラックスなムードである（ネオパールスキンの特徴）
- 一工程で仕上るので**工期の短縮とコストが安くなる**
- 下地はボード類、鉄板類、石綿板、モルタルなど何んでもよい
- 標準色20色と特別色もできる



かべ面にネオパールスキン７ＦＫ（吹付後金ゴテ押え）採用の
村野、森建築事務所
設計　村野・森建築事務所　　施工　鹿島建設ＫＫ

東邦パーライト株式会社

大阪市東区森之宮西の町５９４　ＴＥＬ 代表 06－941－9243～7
<営業所>　東京03－974－３２２５～７　広島0822－44－６３６０～１　岡山0862－72－２０６９
高松0878－33－１８０２　　金沢0762－44－３３４７

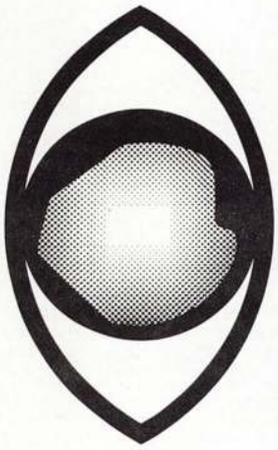
建築の眼

安田　宏
新日本技術コンサルタント企画営業部長

城谷　豊
福井大学教授

木原正雄
前住宅公団大阪支所建築部長

上領潤一郎
新日本空調大阪支店営業部長



1月号より6月号まで上記4氏で担当

□建築のいのち

すでに5回にわたって、建築の定義、意匠に対する考え方、構造とは何か、建築設備への注文、建築写真のあり方といったことをおもいつくままに書かせてもらった。貴重な誌面を汚して申しわけないと思っている。建築を志して大学の門をたたき、あこがれの大先生に教えを乞い、希望をもって実社会にとび込んではみたものの、設計監理や建築行政を若干手がけているだけで、しょせん建築のマネゴトをしているにすぎない。建築に対する愛情がつのればつのるほど、建築のむつかしさ、建築の奥の深さはますますわからなくなるばかりである。

いつまでも新しさを失わないものが本当の作品だといわれるが、よい建築といえるものは何なのか、どうしたら注文主に感謝され自分も納得のいく建築をつくることができるのか。天寿を全うせずに亡びていく建築、どうしたら建築を上手につかい保存することができるのだろうか……。建築に対する不安と悩みは一層つのるばかりである。

建築を計画しつくることはむつかしい。と同時に建築に願いを託し建築のいのちを守ることはそれ以上にむつかしい。

建築について、より多くのことを知るために、建築のおとなりの土木工学や都市問題、はては人間科学や行動科学といった建築以外の立場から建築を観察することも考えてみてみたい。　（Y）

□分化と総合と

建築学会が数年がかりで編集し、昨年秋に丸善から発刊の運びとなった『近代日本建築学発達史』という2千余頁の大冊を、おりにふれ拾い読みしては楽しんでいるが、用語にうるさくなったり回顧モノを楽しむようになったりするのは、年をとった証拠だそうである。それはともかく、建築学の発展の足跡がその各部門ごとに整理され、研究者などという、えてして専門バカに陥りがちな人種にとっては、他部門の状況を、しかも発展の流れとして概観できる点で、きわめて有益かつ興味深いのである。

私の勤める大学で1年次前期の講義（15回、各100分）に「建築・建設概論」というのがある。これは、各教官が交代で自分の専攻分野の概要を話すことによって、全体として、建築学ないし建設工学のイメージが得られるように組んだものであるが、学生の側からは、1人の教官が各分野間の連関も含めて系統的に講義してほしいという要求が出る。応じられない相談ではないにしろ、同じ建築学の内部でさえ他分野について100分間話すこと、または100分で話すことはかなり面倒なことである。

学問は分化を通じて発展してきたが、共同研究による組織的な総合とともに、各自の内部でもそれなりの総合の努力が要求されている。その努力のいかんが「見識」の差というものを生むのであろう。　（S）

□春に想う

近頃の男の子供の間では、軍艦のプラモデルや小銃やピストル、はては軍装の模造品に、興味が起っているようだ。その勇ましさや、何か恰好良さを感じるのであろうか。これらとは関係ないのかも知れないが、成長した若者の一部には「殺伐」さを地でゆく風潮もひそんでいる。戦争の愚かさ悲壮さは充分承知していながら男性というものは「戦い」というものに、何かしら無意識に魅せられる性質を有しているのかも知れない。プラモデルや模造品の蒐集はいいとして、人の生命を軽視する心は憎い。そのような人間に育つのは世の中に「生き物」に対して無神経な生活が多いからではなかろうか。屠殺場につれて行かれる牛や豚を見て憐憫(れんびん)の情も起らず、猫や犬を可愛がる生活が少ないから、生物の命というものに対して唯物的神経しか動かないのであろう。「花を見ている時、花もこちらを見ている」人と人とのつながりにも、この心をもってすれば、も少し良い世の中になるのではないかと思う。　（K）

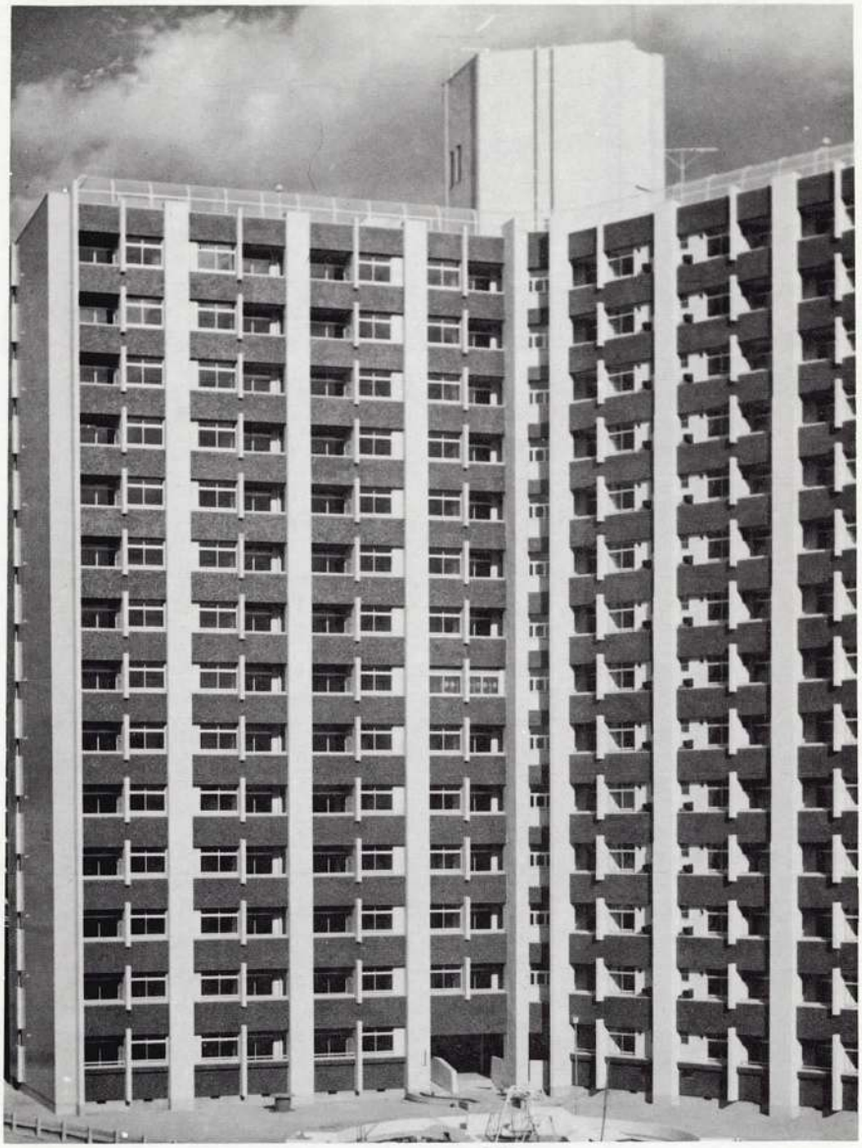
□家相と設備

物事が画一的になり、プレハブ化されてきた現在、家相など気にする人はごくまれになった。自分の家すら間違うような団地や建売住宅など、何百何千と同じ家相が建ち並んでいるのであるから気にする方が異常な神経の持主ということになろう。

家相が中国から伝わった思想である事はいうまでもないが、鬼門・裏鬼門など方位による吉凶説は、我が国の緯度・風土よりくる自然環境と建築様式から生じた実証的経験に照し合せれば、あながち合理性がないとはいえない。井戸・かまど・便所・土蔵等の方位の吉凶は、自然環境に逆らえない昔の住生活においては、通風・採光・照度・温度・湿度等の衛生環境を、いささかでも良好に保持するための生活の知恵だったともいえよう。いいかえれば原始的な環境衛生学だったのである。

しかしながら、建築様式も木造からコンクリート・鉄骨鉄筋等の耐久材料に変り、自由なプランニングが可能になり、くわえて設備全般にわたる近代化で、自由に環境づくりができるようになった今日では、前時代的な家相の意味はまったくなくなったといって良かろう。ところが、設備の充実に従い、建築における設備費の増大は、経済的な意味で設備効率の良いプランニングを要求する時代になりつつある。例えば空調設備における熱負荷を最少限にするには、建物自体をどのようなプランで、どの方位に向けるのが良いか、また排煙対策についてはどのようなプランがよいか等々、問題点は違うがやはり環境衛生面から、定型的な新しい家相が要求される時代がきているのは皮肉なことである。　（K）

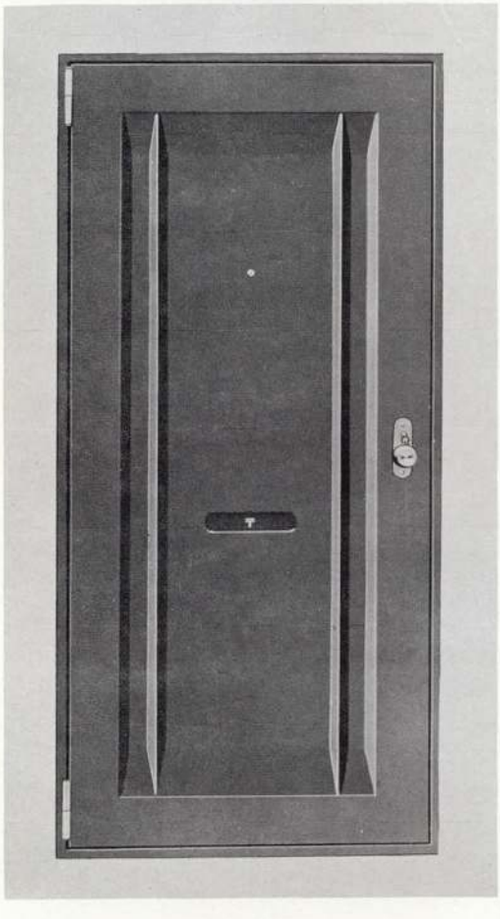
住宅



きんき

プレスドア

防火ドアー



住宅用として開発

きんきアルミサッシ

〔KJ指定メーカー〕

製造元 **近畿車輛株式会社**

本社建材工場　大阪府布施市橋本1番地の1　電話大阪(782)1231代表
所沢建材工場　埼玉県所沢市大字所沢1415番地　電話所沢(22)5101代表

販売元 **近畿工業株式会社**

本　　社　大阪市北区梅ヶ枝町108番地　新梅ヶ枝町ビル　電話大阪(363)3371代表
東京支店　東京都千代田区神田松永町19　東京近鉄ビル　電話東京(255)8271代表
名古屋支店　名古屋市中村区広井町2－22　川島ビル　電話名古屋(571)9111
神戸営業所　神戸市生田区海岸通1－5－1　新東方ビル　電話神戸(391)0905
広島営業所　広島市鉄砲町10番10号　寿屋ビル　電話広島(21)6585
福岡営業所　福岡市博多駅中央街8の36　博多ビル　電話福岡(41)9361

御一報次第カタログ拝送します。

ARCHITECTURE AND SOCIETY VOL.54 1973

KENTIKU TO SYAKAI

建築と社会

JOURNAL OF THE ARCHITECTURAL ASSOCIATION OF JAPAN

6

老人コミュニティ

SPECIAL FEATURES ON THE EGE) COMMUNITY

会　告　通常総会開催通知。会員の受賞。昭和48年度第3回若い会員の集い神戸の洋館建築をみる会―旧居留地・栄町通りを中心として―。着々開発すすむ大阪南港を見る会。昭和48年度理事の会務分掌。昭和48年度日本建築協会常設委員会委員。……3

データシート　「建築データシートに関するアンケート」集計とお答え……6

法令コーナー69.　大阪府下の新用途地域制の概要……上田　隆夫…9

読者の頁　イギリスの大学―海外写真―を終えて／グループＩＳＳＢ71……松尾　仁美…11

建築と社会ニュース　日照プランニング・システムを開発。ルイスカーンデザインスケッチ展。心斎橋プラザにインテリヤ・ソオラ開店。小堀住研が展示場開設…13

スケッチブック　最近竣工した新建築9点（№874～882）……15

建築の眼　建築のいのち／安田　宏　　分化と総合と／城谷　豊
春に想う／木原　正雄　　家相と設備／上領潤一郎……17

海外写真　イギリスの大学 6　ケンブリッジ大学（その2）…写真・田中　宏明…21
文・松尾　仁美

特集＝老人コミュニティ特集

作品作風　大阪府立養護老人ホーム槻ノ木荘（盲老人ホーム）……22
設計監理：大阪府建築部・泉設計事務所
施　工：大昭工業

大阪市立日之出荘……24
設計監理：大阪市営繕部・建築デザイン一級建築士事務所
施　工：西本組

大阪府立軽費老人ホーム豊寿荘……26
設　計：大阪府建築部
施　工：飛島建設

リッチライフ有馬……28
設計監理：泉沢建築設計事務所
施　工：竹中工務店

大阪府立養護老人ホーム松風荘……30
設　計：大阪府建築部
施　工：小坂井組

老人コミュニティ論……木下　茂徳…34

欧米の老人コミュニティと日本の方向……保田　博通…37

住宅公団におけるペアー住宅……社本　孝夫…42

ニュータウンにおける老人福祉施設の問題―泉北の場合……川上　昌男…45

都市における老人ホームについて……角野　知義…48

日本建築総合試験所だより 10.　第1～第4残響室。ニュース。……50

技術の頁 127.　構造部門　構造設計とデータ……小池　利男…51

月報　日本建築協会月間の動き（昭和48年4月分）……55

表紙デザイン・島村　昇

編集人　松井　昭光
印刷　昭和48年6月20日
発行　昭和48年6月25日
発行人　福中　定三郎
発行所　（社）日本建築協会
大阪市東区北浜3－37
電　大阪 231－9648
振替口座　大阪 39975
印刷者　網野　栄
印刷所　㈱研文社
大阪市北区堂山町66
電　大阪 361－0351
売価　1部　400円・送料共

昭和48年度編集委員会（順不同）

編集委員長　山田幸一　渡辺忠
彦谷邦一

編集理事　井上滉　五十嵐定義　尾亀清四郎　北垣智造　小西評　白井周二　菅谷健児　高野考二郎　谷口尚武

事業委員より　窪田祐雄　大橋一雄　三品哲夫　小泉豊　西村良平

編集委員　日下正基　浜田学昭　辻文三　海道清信　大野照繁　石田繁夫　小川克彦　上田信也　谷淳之介　大蔵勝　八木俊樹　西野孝雄　肌勢良雄　矢野坂邦昭　宮木一也　青木信介　口羽竜二　江藤鴨英　川本勝　佐伯晃　松林功　池田敏夫　村田光平　竹山清明　増淵昌利　加藤照男　河目悌吉　上野浩続　浅見登元

■7月号特集予告―住宅―建築家の自邸―
■8月号特集予告―新用途地域制と環境

どの様な形の屋根にも最高の断熱性を与えます



淀川パークハウス　　施主：三菱地所　設計施工：竹中工務店

TOKO ルーフ・インサレーヤー

断熱性 主材が膨脹パーライトですから断熱性が極めて高く、建物内部の結露がなくなり、居住性が向上します。(施工密度700kg/m³、温度68℃における測定値では、熱伝導率は0.0245kcal/m,hr.℃) なお、ルーフ・インサレーヤーは希望する断熱量に応じてどの様な厚みにも目地なしに施工できます。

軽　量 標準施工密度における比重は0.3～0.7と軽量であり、かつ断熱層下地のならしモルタルが不要ですから屋根重量が小さくなります。

施工性 現場で主材と結合剤を配合し，モルタル状に施工する製品ですから、どの様な形状の屋根にも、また下地の凹凸にも関係なく施工出来ます。

米国ジョンス・マンヴィル社技術提携

TOKO 東興アスファルト工業株式会社

本社・工場　〒210 神奈川県川崎市藤崎３の６５　☎０４４（２８）４５３４(代)
本社営業部　〒105 東京都港区新橋５丁目８番９号(東興ビル)　☎03(432)2151(代)直通(436)4531～２
大阪営業所　〒550 大阪市西区靱本町１の109（第１富士ビル）　☎０６（５４１）７５８３～４
各地営業所　札幌・仙台・富山・名古屋・広島・福岡

営業種目　J－M式完全防水工事◆TOKO完全防水工事◆TOKOルーフインサレーヤー◆TOKO耐酸工事〈設計施工〉
TOKOベンチレーション・ルーフィング工法◆コーキング工事◆床タイル貼工事◆他内装工事一般



海外写真

イギリスの大学 6
ケンブリッジ大学 その 2
グループISSB 71
写真　田中宏明(故)
文　　松尾仁美



街なかの広場では市がたつ。テントを張って果物や野菜が並び、インド人がサリーを売っていたりする。中世以来の歴史の名残りをとどめた大学都市ケンブリッジのひとつの顔である。

20世紀、とりわけ第2次大戦後遭遇した大学の拡張問題は、新しいスタイルの建築をも生み出した。歴史的にいってその時代の第一のランドマークは、チャーチル卿を記念して設立されたチャーチルカレッジ（1962－67）である。街の西北端ののどかな環境にあり、学生の住居ブロックをなす茶色の煉瓦壁に囲まれた中庭の、芝生の青が目にしみる。

Churchill College の設計：リチャード・シェパード、ロブソン＆パートナーズ





大阪府立養護老人ホーム槻ノ木荘(盲老人ホーム)

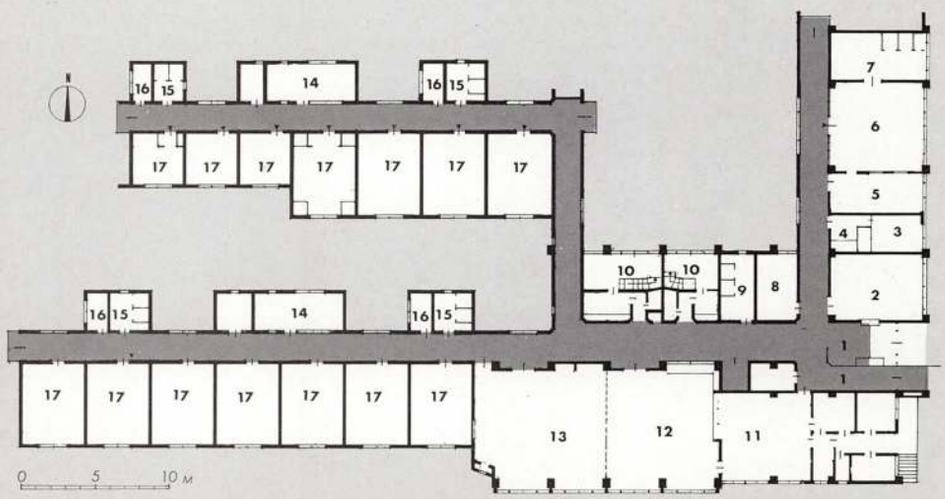
高槻市塚原１丁目

設　計　大阪府建築部営繕工事課
監　理　株式会社　泉設計事務所

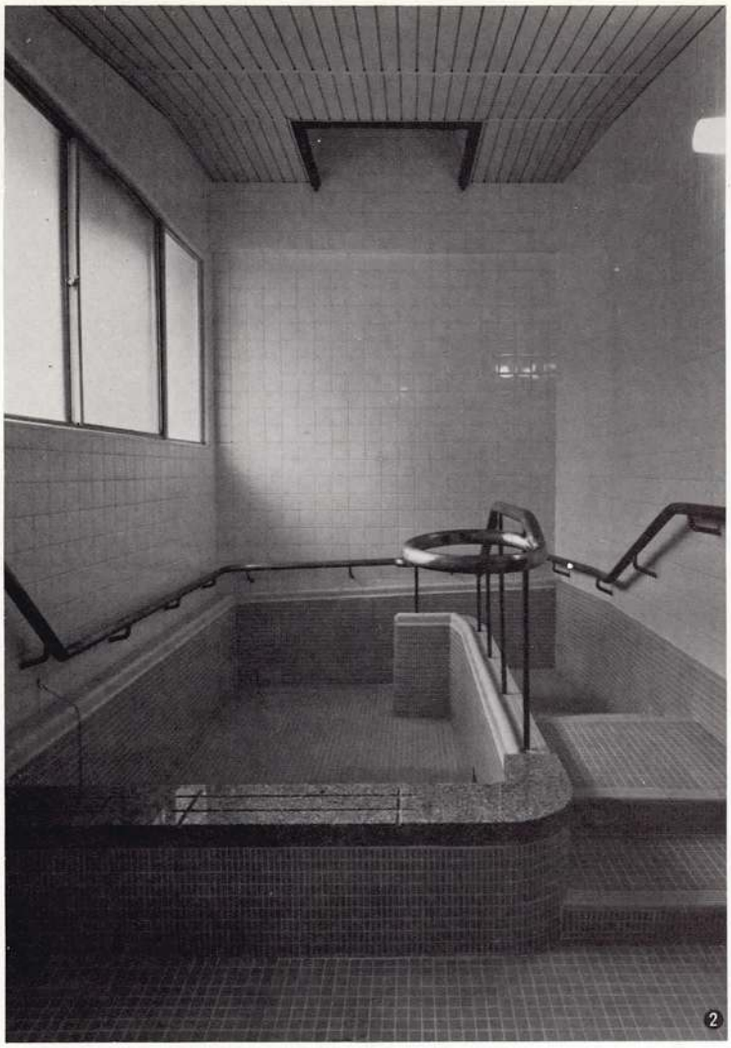
敷地面積　3,758m²
延床面積　1,264m²
構　造　鉄筋コンクリート造(一部ＣＢ造)平家建
収容定員　50名(４人室11　夫婦室３)
工　期　昭和46年２月～昭和46年11月

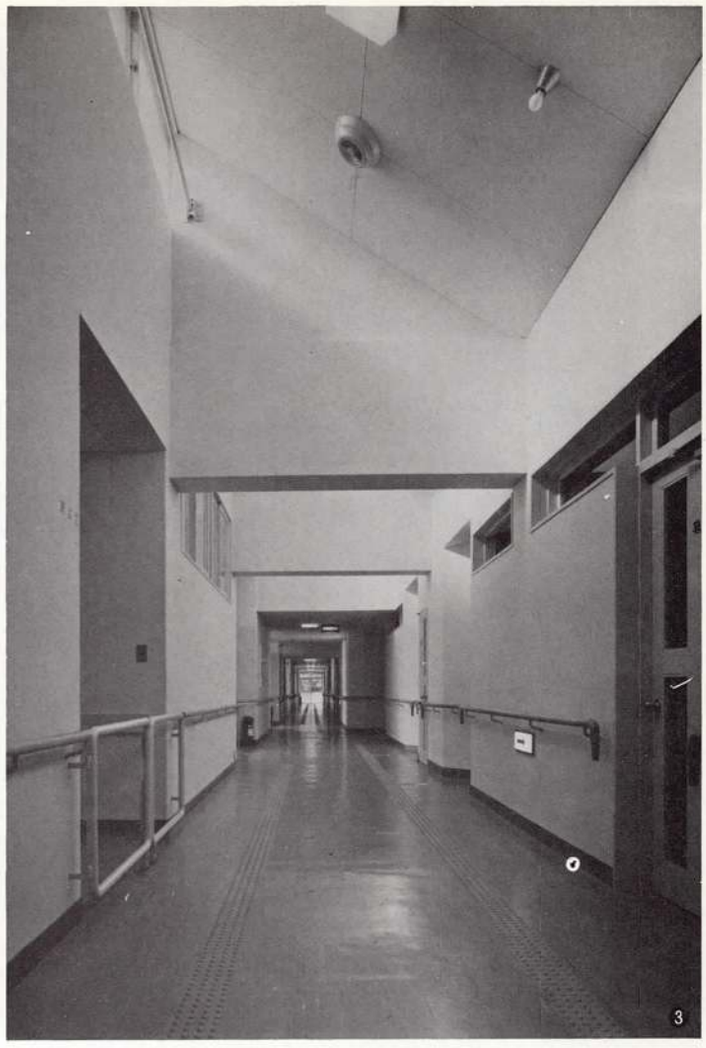
1．玄　関
2．事務室
3．宿直室
4．湯沸室
5．医務室
6．静養室
7．静養室便所
8．面会室
9．職員便所
10．浴　室
11．厨　房
12．食事室
13．集会室
14．寮母室
15．便　所
16．洗面所
17．居　室

廊下のアミ線：点字タイルの線巾150



平面図





❶外観
❷浴室
❸廊下
❹居室
❺娯楽室兼食堂

施工　大昭工業
電気　伊藤電気
給排水　五建工業

老人福祉問題にも世間の関心が向き始めた昨今であるが、盲老人施設は特に施設面で立遅れており全国で数例しかない。従って盲老人ホーム「槻ノ木荘」の設計に当っては全く手探りの状態から出発したわけで、必ずしも満足なできとはいいがたい。盲老人施設の設計方針として特に次のような点に注意した。

1．老人施設に最も大切なものは、陽当りと静かな環境と、居室の前の気持のよい庭である。当施設は南下りの傾斜地に位置し理想的な条件となった。

2．平家建とし、単純でわかりやすいプランをこころがけた。

3．廊下の床に点字タイルによる誘導表示、壁には手摺を設け、それぞれ室入口標識をつけた。階段はすべてスロープで処理し、出入口はすべて引戸とした。

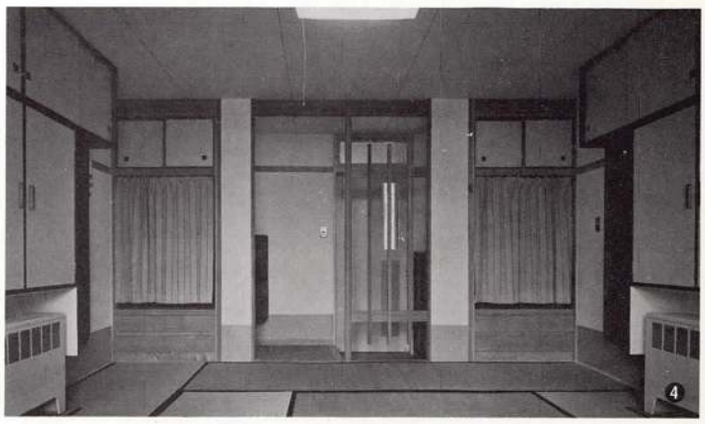
4．居室は四人部屋なので、押入更衣ロッカー等を部屋の四隅へ分散配置し、老人の個人スペースを考慮した。

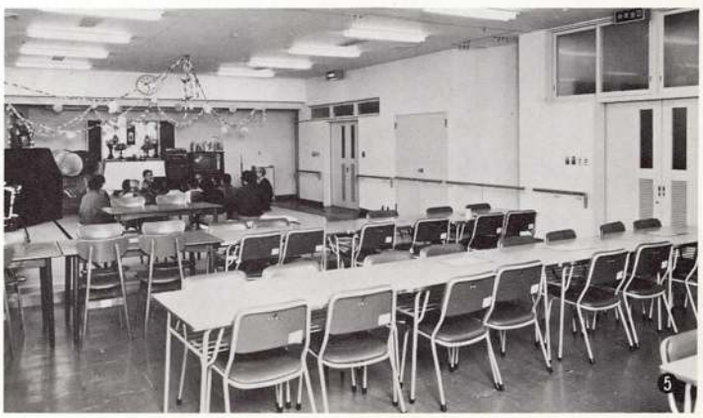
5．便所、浴室、脱衣室、浴槽内にまで手摺を設け、大小便の足元標識をつけた。

6．老人は案外活動的で、指導によっては各種のグループ活動が盛んにおこなわれる。娯楽室、集会室は十分確保したかったが、これは予算の都合で縮小した。

7．全館暖房、給湯、館内放送、ナースコール（各室と便所、浴室等）等の設備を設けた。また、照明はできるだけ明るくした。

8．建物周囲に避難路を兼ねた遊歩道をめぐらし両側に手摺を設けた。また、植樹は種々の香木を使った。なお、現在は50名定員であるが、北側に30名分増築可能であり、計画では増築後に完成した姿となる。（小野栄士）





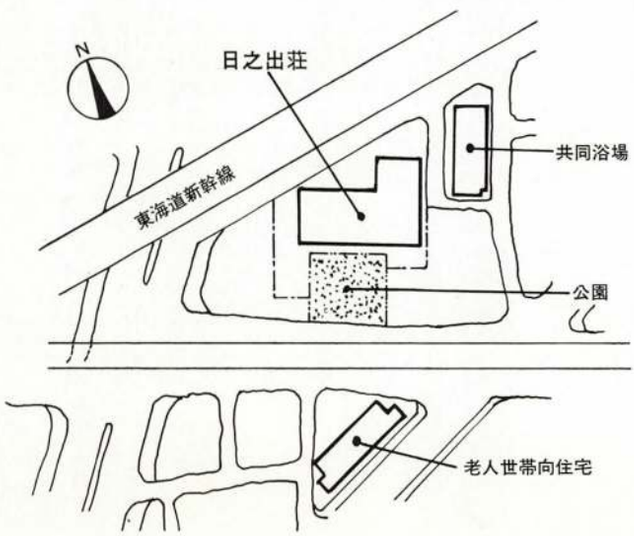


大阪市立日之出荘

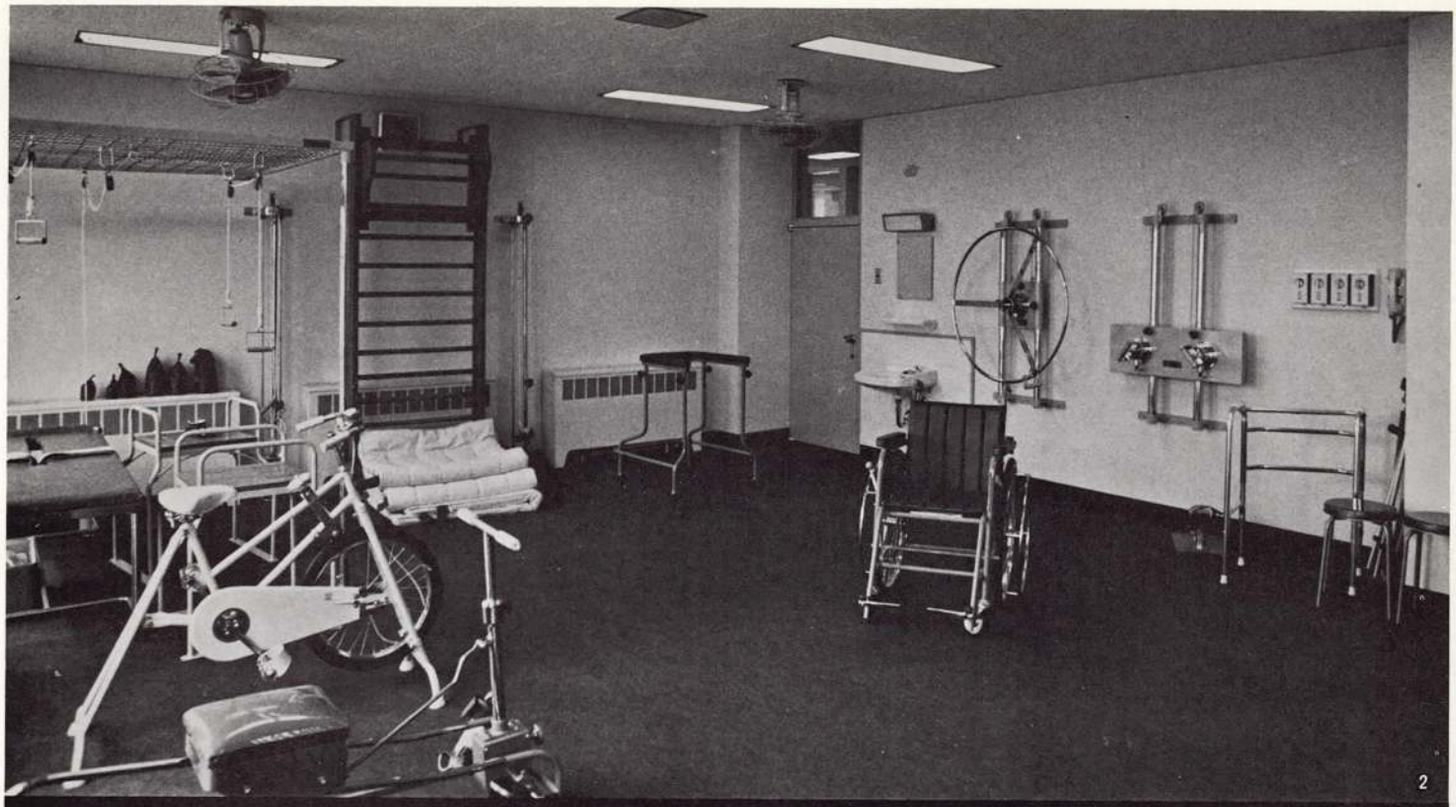
大阪市東淀川区西淡路町1丁目84番地

設計監理　大阪市建築局営繕部
　　建築デザイン一級建築士事務所
工　　期　昭和47年2月～昭和47年11月

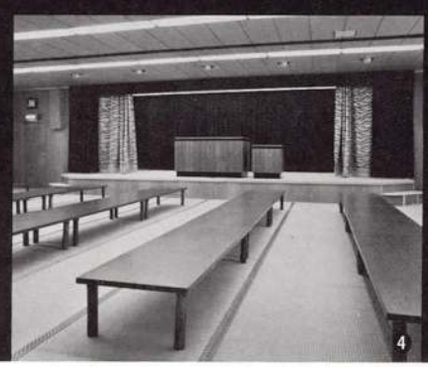
敷地面積　1,091.86m²
建築面積　619.14m²
延床面積　2,188.89m²
構造概要　鉄筋コンクリート造5階塔屋2階
設備概要　老人福祉センター部分　冷暖房
　　老人世話ホーム部分　暖房

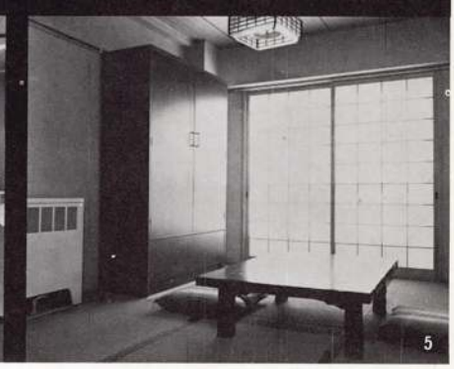


この施設は、老人福祉センターと老人世話ホームとをあわせもった老人福祉施設であります。
老人福祉センターは、ご承知のように老人相互の交流の場であり、地域に解放され、したがって地域社会に密接な関連をもった施設であります。
また、老人世話ホームは、軽費老人ホームのうち、健康な単身老人を対象にしたもので、自活をたてまえとして住宅性を強めた施設で、世話人付きの老人単身者集合住宅ともいえるもので、ここでは35室あります。
この建物の敷地は別図に示したとおりですが、東隣りには共同浴場があり、南側は公園であり、これらをとりくんで計画されたものであります。また、その南側には、阪急京都線(予定)をはさんでおりますが、老人向集合住宅があり、地域社会に密着した一つの施設群として配置計画されたものといえましょう。
平面計画は、上記の2施設の性格上、使用区分を明確にするとともに、両者の関連を図るように考えました。基本的には、5階建の世話ホーム部分と2階建の福祉センター部分とをからみ合せた恰好になっております。
世話ホームの基準階は、エレベーターホールを中心に寮室を配し、両端に洗濯室と倉庫(私物)を配しており、各寮室は6畳と台所、便所で構成されており、単身者住宅として完結させております。
外廻りは、道路沿いの外構を石積みとし植込をまわし、玄関前には噴水池をあしらい休息場を設け、敷地南西部は日本庭園を造成中であります。また、まえにのべた南側の公園も老人施設にふさわしく整備されるという話をきいております。
（平塚哲朗）







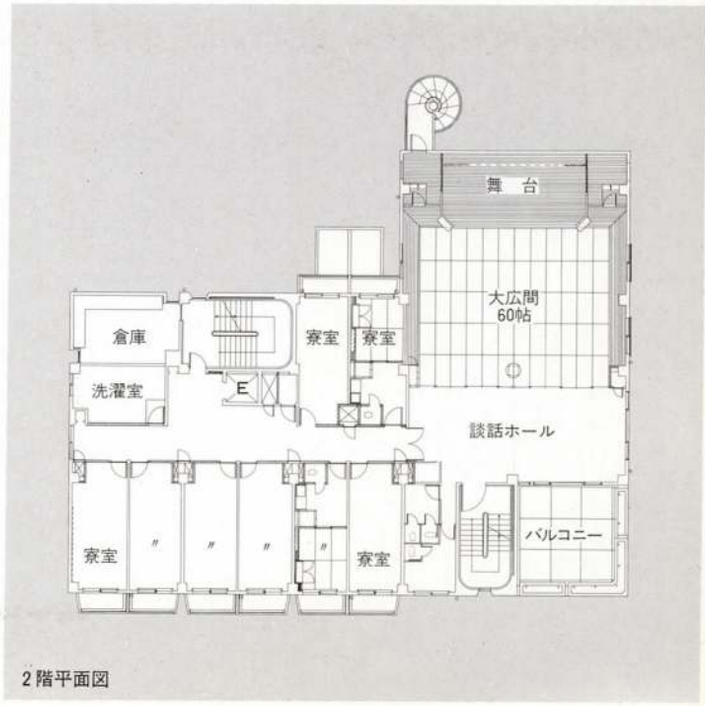


❶外観
❷リハビリテーション
❸ロビー
❹広間
❺居室

施工　西本組
電気　六興電気
給排水・冷暖房　共栄工業



1階平面図



2階平面図



大阪府立軽費老人ホーム豊寿荘

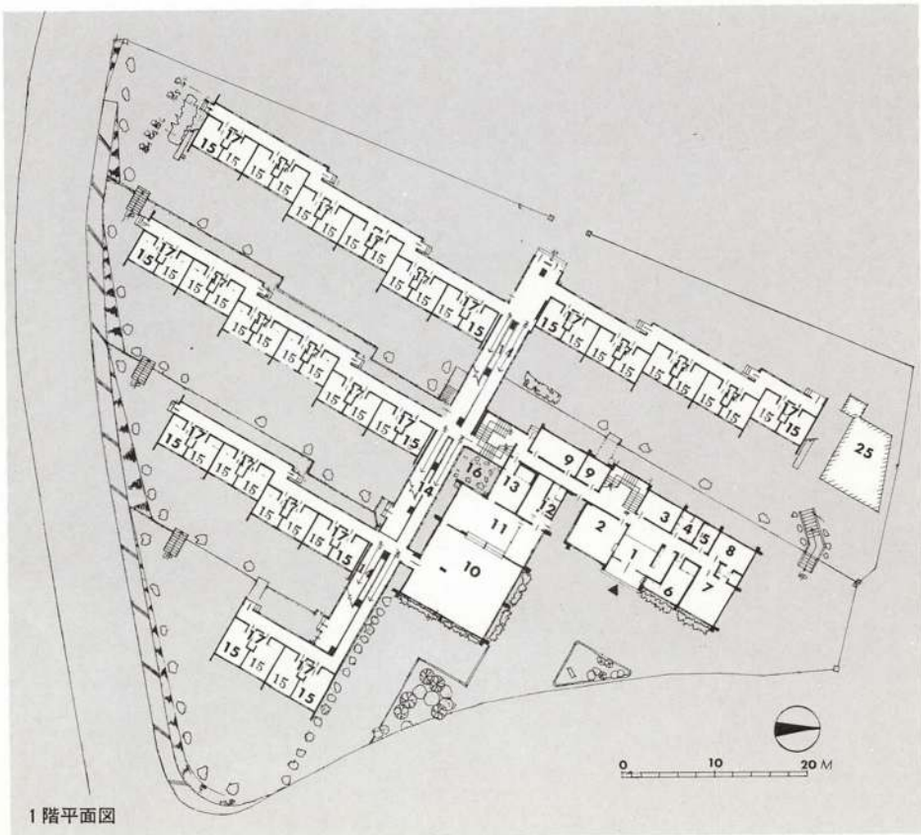
豊中市新千里西町２丁目７番地の２号

建築設計	大阪府建築部営繕工事課
構造設計	平田建築構造研究所
設備設計	中村設備設計事務所
監　　理	大阪府建築部営繕工事課
敷地面積	5,035m²
建築面積	1,425m²
延床面積	2,913m²
構　　造	鉄筋コンクリート造２階建・一部鉄骨造
付帯事項	居室4.5畳(１人部屋)84室 居室6.0畳(２人部屋)８室 全館暖房設備
工　　期	昭和44年10月～昭和45年６月

千里ニュータウンをわずかに見おろす傾斜地に建つこの施設は、背景に緑地地帯をひかえた静かな環境である。立地条件が傾斜地であることから、老人のためにスロープを動線の中心として、左右に居住部分、共用部分、管理部分を配置している。居住部分と共用部分の連絡はすべてスロープで結び、管理部分と居住部分及び共用部分との連絡は、動線距離を短かくするため階段で結ぶ計画をたてた。

また傾斜地を段切造成することにより、１階に居住する老人達はもとより、２階に居住する老人達も身近に庭へ出られるよう避難スロープを兼用して計画した。居室においては完全な個室制実施への足がかりとして、２室で共用の便所及び流しスペースを確保した。４月になれば桜の花が咲きほこるこの施設が、老人達の手でくふうされ、より住みよい憩いの家になることを期待します。

（山田武彦）



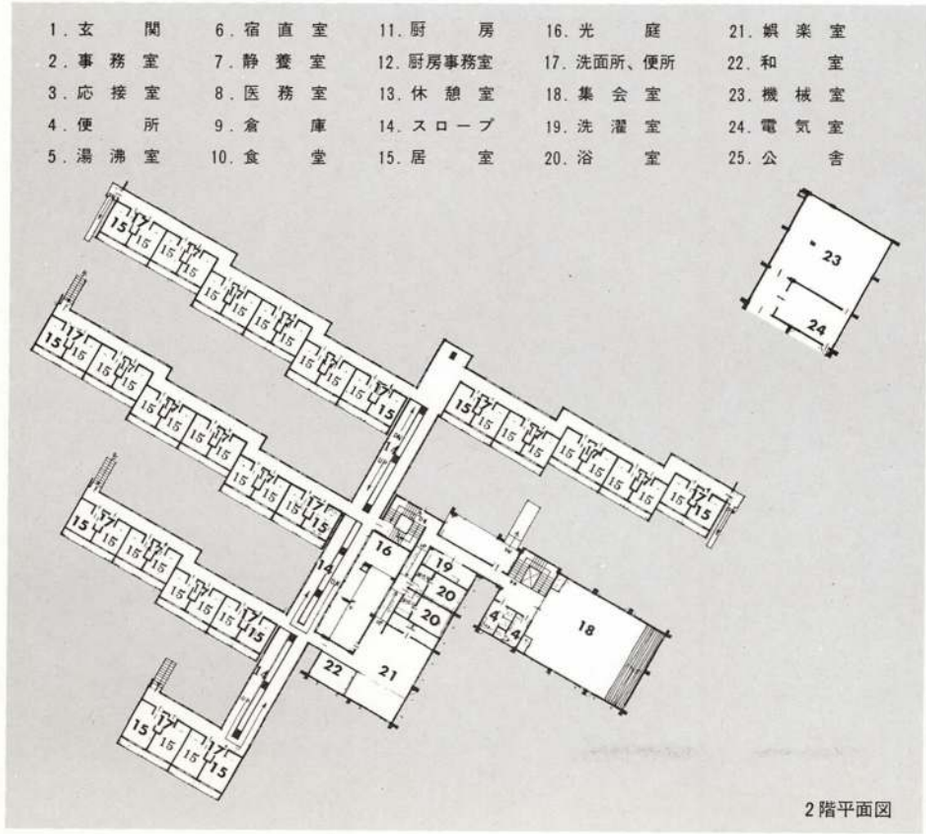
１階平面図



❶外観　管理共用棟
❷外観　居棟、スロープ棟
❸娯楽室
❹スロープ棟内部

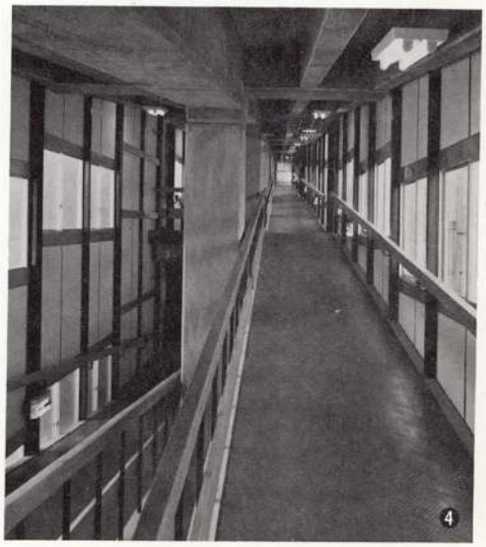
施工　飛島建設
電気　旭隆電気
給排水・衛生・暖房　山田工業

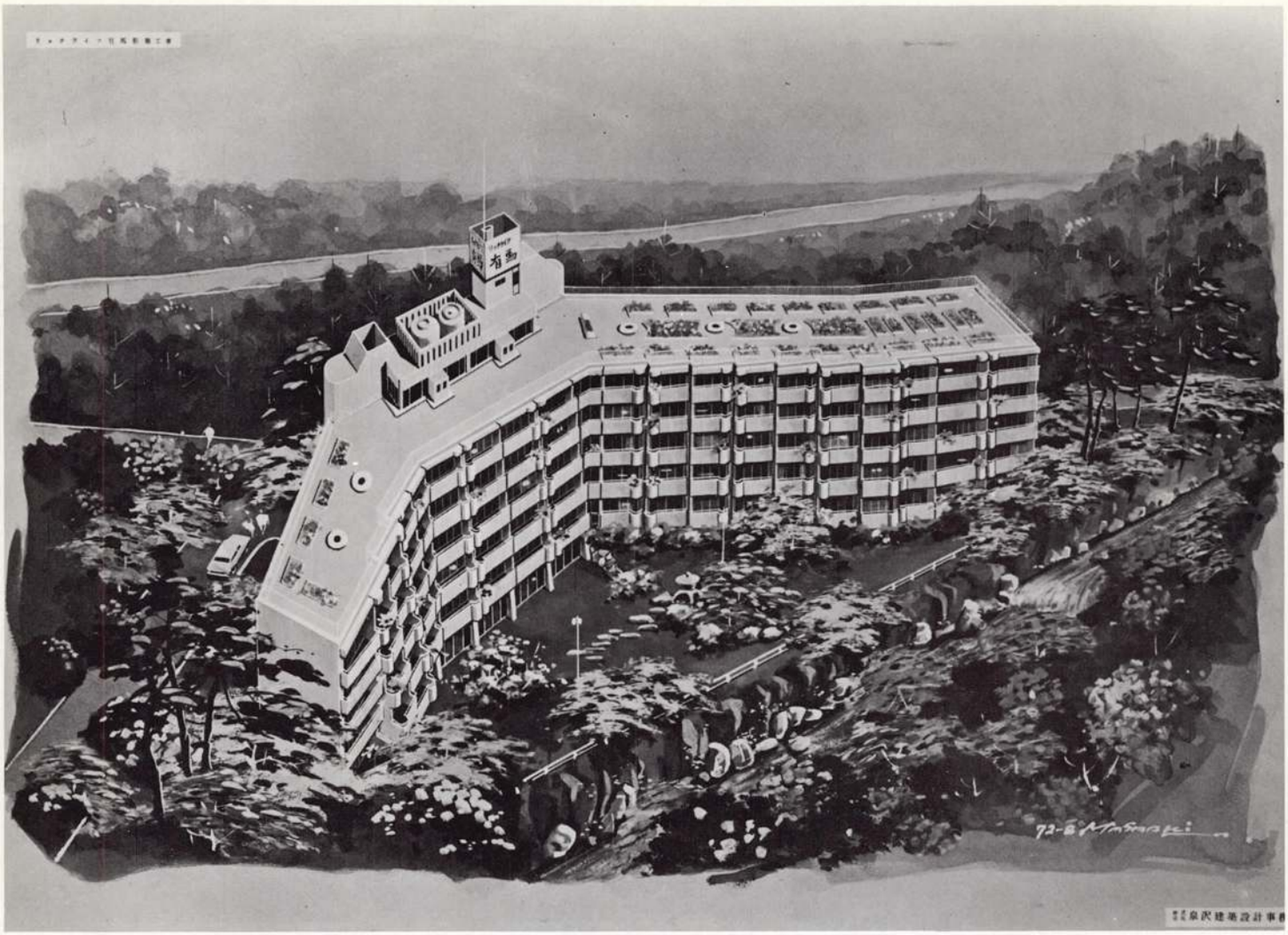
1. 玄関　2. 事務室　3. 応接室　4. 便所　5. 湯沸室
6. 宿直室　7. 静養室　8. 医務室　9. 倉庫　10. 食堂
11. 厨房　12. 厨房事務室　13. 休憩室　14. スロープ　15. 居室
16. 光庭　17. 洗面所、便所　18. 集会室　19. 洗濯室　20. 浴室
21. 娯楽室　22. 和室　23. 機械室　24. 電気室　25. 公舎



2階平面図

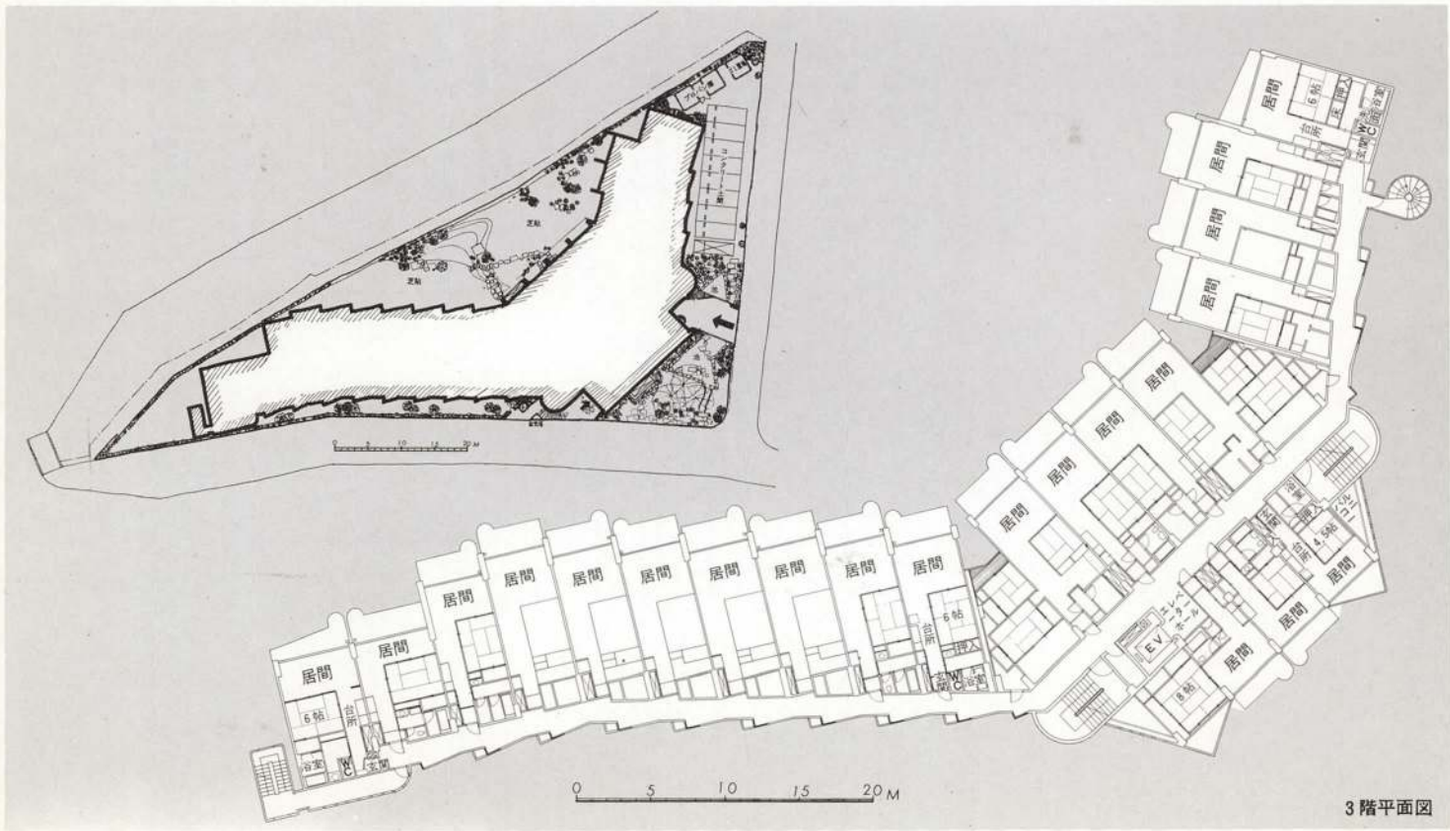




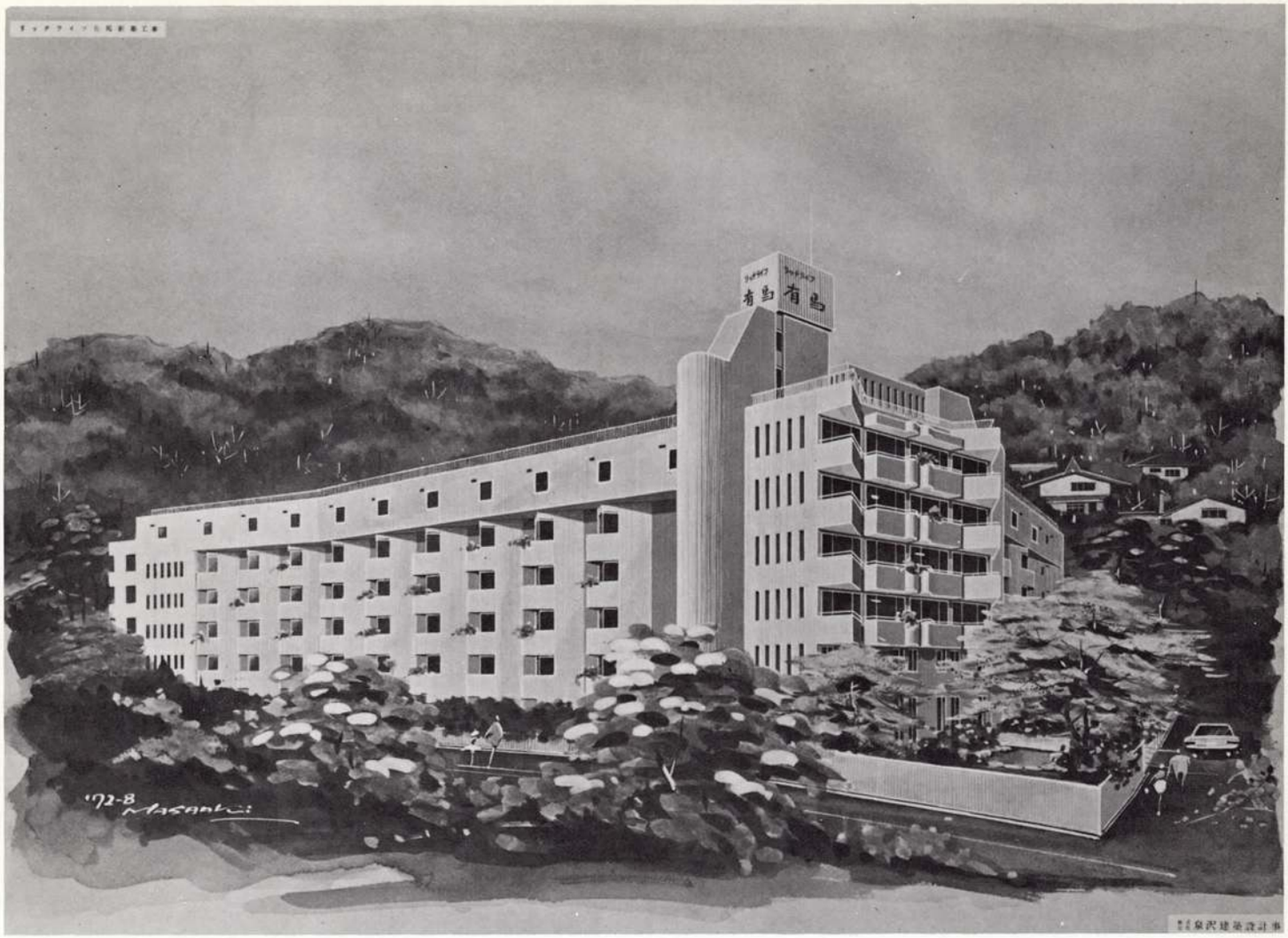


リッチライフ有馬

神戸市兵庫区有馬町字滝畑1701



3階平面図



事 業 主　京阪観光開発
設計監理　泉沢建築設計事務所
施　　工　竹中工務店

敷地面積　3,011.57m²(910.99坪)　(公簿面積)
建築面積　1,605.72m²(485.73坪)
建築延面積　7,513.35m²(2,272.82坪)
専有面積　4,793.87m²(1,450.18坪)
共用面積　2,719.48m²(822.64坪)
構　　造　鉄筋コンクリート造
階　　数　地上6階、地下1階、塔屋2階
総 戸 数　102戸
地　　目　宅地
工　　期　着工 昭和47年9月19日　竣工 昭和48年9月30日
飲 用 水　神戸市営水道
電　　気　関西電力㈱
ガ　　ス　集中方式によるプロパンガス

今回の設計にあたり、まず老人問題に対する研究と入居者の状況、とくに精神的な分野を充分研究し、きめ細かな配慮が必要であった。

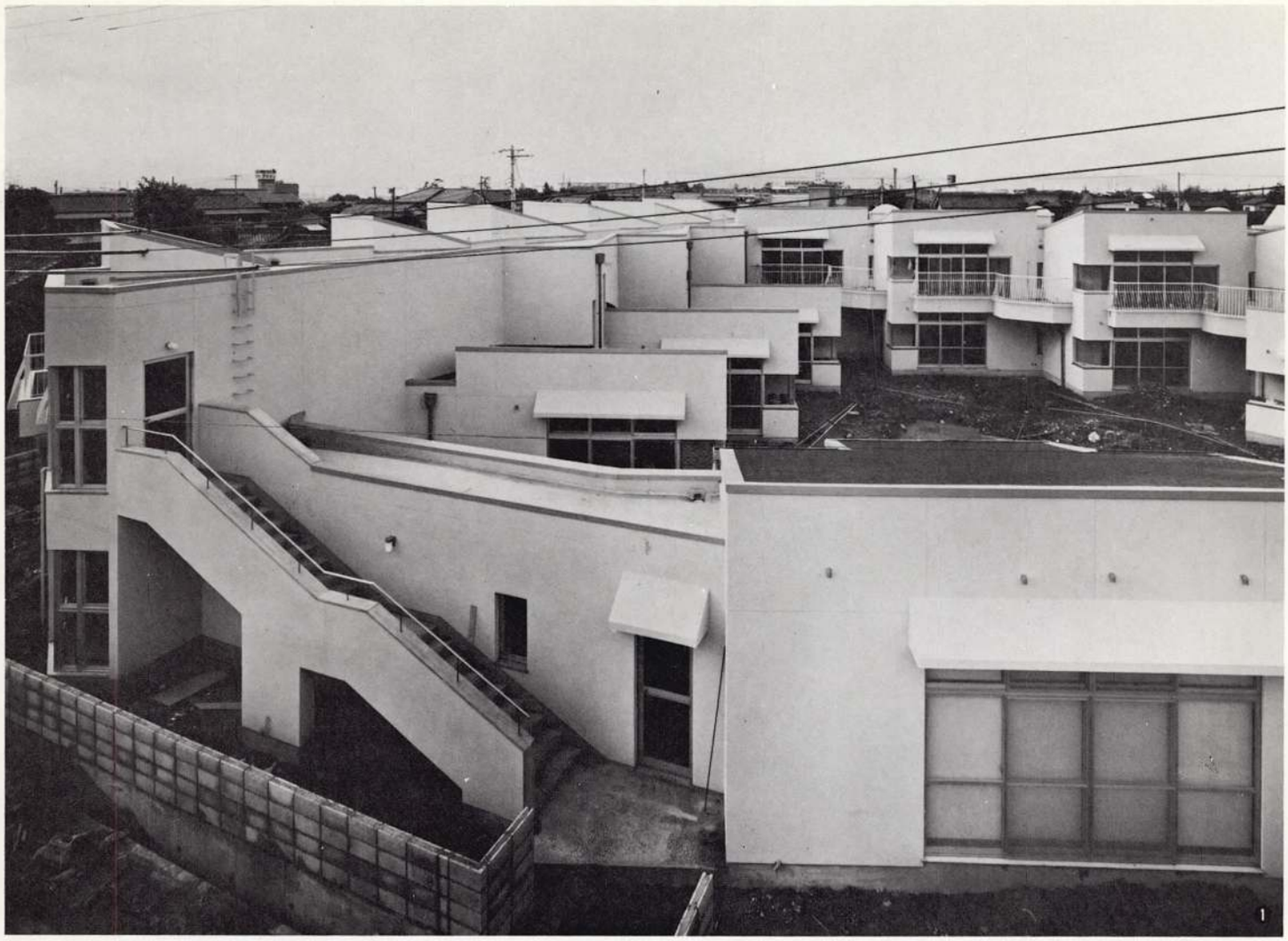
日本における老齢人口の推移は年々増加し、60才以上の老齢人口は昭和44年度には10.5%であったが、さらに昭和60年には、国民の14.4%が老人になると予想されている。このような時に、リッチライフ有馬は、時代に即応した老人福祉に寄与できる施設であると思う。

たとえば立地を考える時、普通の発想だと、空気が澄んだ山奥で自然条件にも恵まれた所と思う。しかし、それは健康人の願望であり、意外に老人はそうは思わず、息子や孫と一諸に暮らしたいというのが本心である。

また、せめて現実社会との接点だけは保ちたい願望もあり、市街地に近くいざという時駆けつけられるという安心感のもてる距離であることも重要である。有馬という立地は以上のことを全て満足できる条件にあり、都市公害から逃避した最も近い場所であると思う。

今までわが国では、老人に対する考え方のレベルの低い現状にあり、老人向施設＝老人ホームとなり、それが人生の悲しい終着駅という悲愴感がつきまとっていた。このようなことから一歩進める事がむずかしく、経済成長のレベルアップにともない所得も高く、ゴールデンエイジへの可能性を求めたのが今回の施設である。自分が隔離されているという気持を持たせず、むしろ注目、関心を集めているというムードを作り、明るくのびのびとした、豊かでゴージャスな雰囲気を出し、ゴールデンエイジの再出発としてとらえるべきだと思う。施設内には顧問医をおき安心感を与える。食事はカルテにより指導し管理栄養士を置く。カウンセラー室の設置により悩みの相談を受ける。各種サークル活動をおこなう。趣味の会の運営にともない、社会への参加ルートの開発等をもり込む。

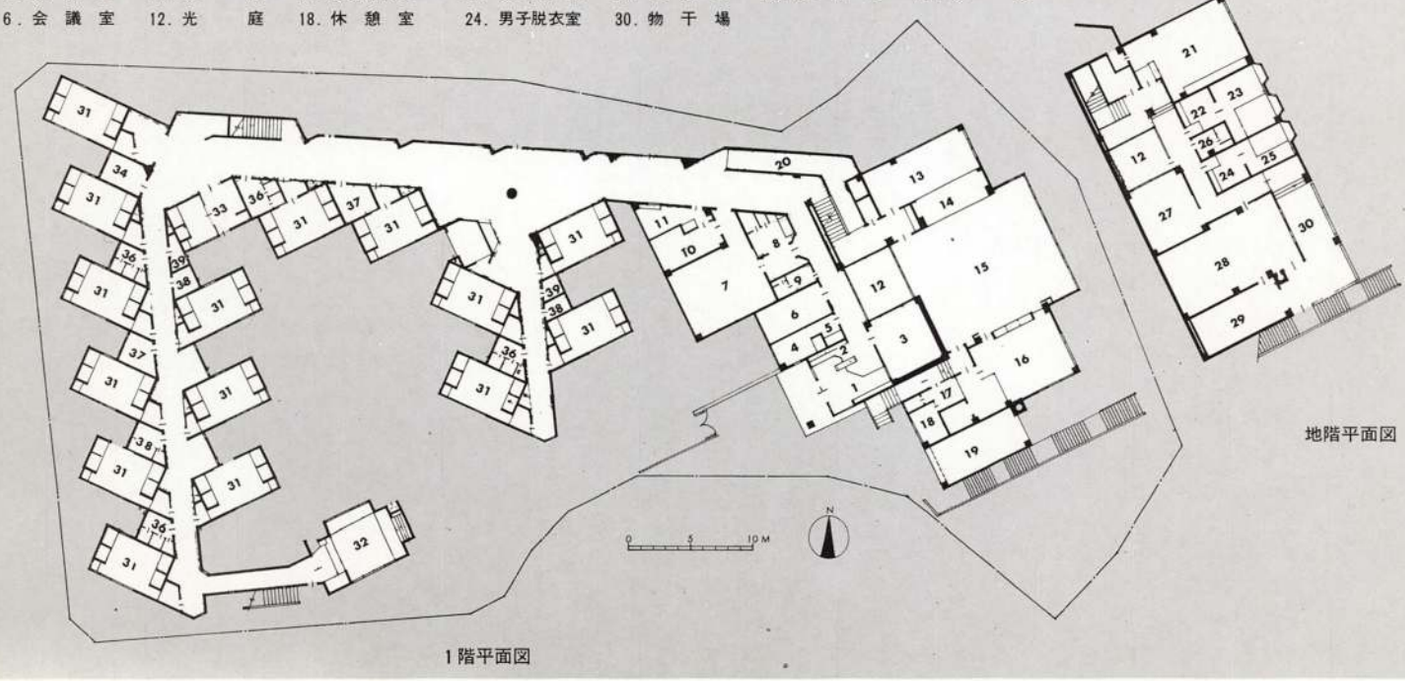
建物については、トイレ・浴室内に安全手摺り緊急ブザーを設け、とくに火災についての配慮としてガスもれ警報器の設置、健康上から保温便座等を設け、部屋の寸法・レイアウトについても留意した。　(泉沢哲史)



大阪府立養護老人ホーム松風荘

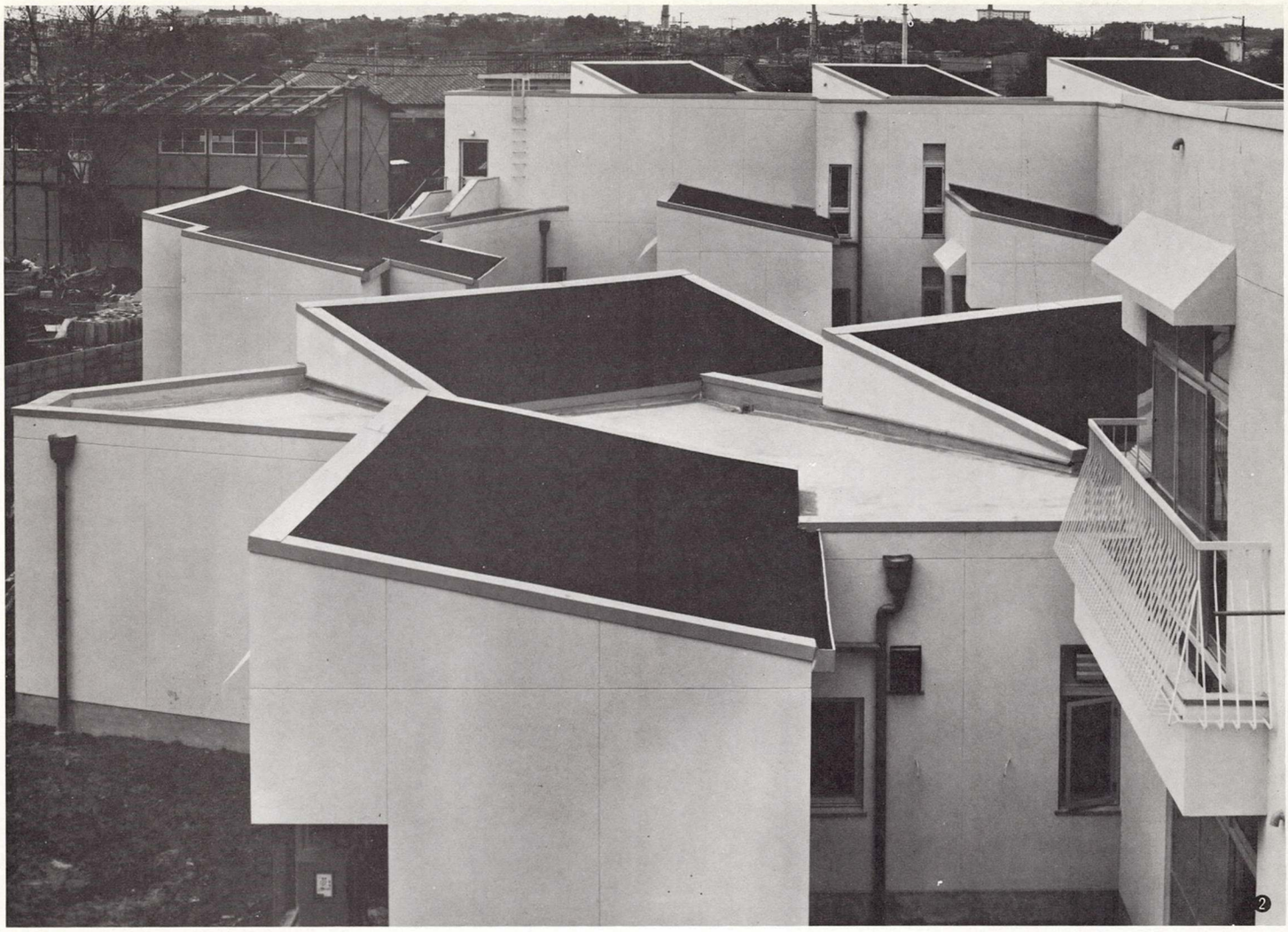
枚方市星丘3丁目551

1. 玄関　2. 下足室　3. 事務室　4. 宿直室　5. 湯沸室　6. 会議室　7. 静養室　8. 静養室便所　9. 職員便所　10. 医務室　11. 薬局　12. 光庭　13. 娯楽室　14. ステージ　15. 食堂兼集会室　16. 厨房　17. 厨房事務室　18. 休憩室　19. 車庫　20. スロープ　21. 作業室　22. 女子脱衣室　23. 女子浴室　24. 男子脱衣室　25. 男子浴室　26. 便所　27. 洗たく室　28. 機械室　29. 電気室　30. 物干場　31. 居室　32. 豊安室　33. 寮母室　34. 図書室　35. 理髪室　36. 便所　37. 倉庫　38. 洗たく室　39. 湯沸室　40. 吹抜



1階平面図

地階平面図

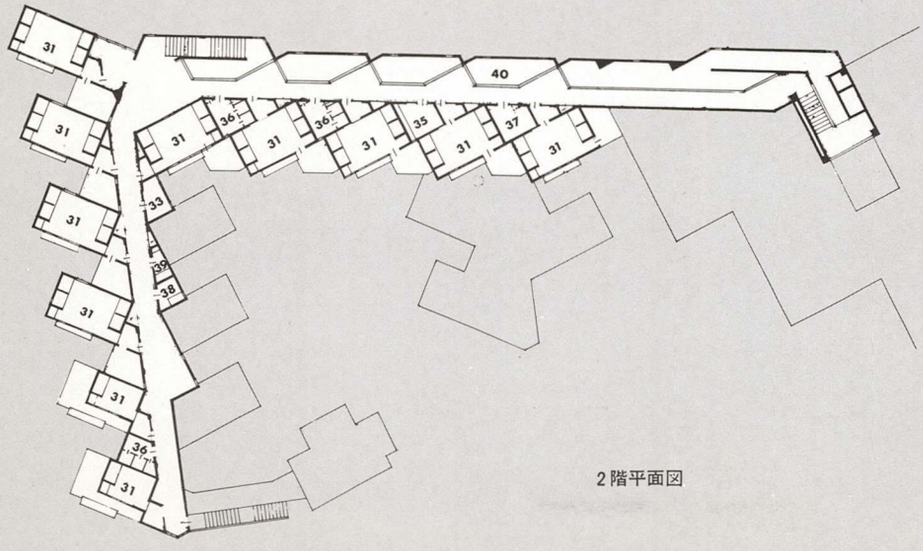


❶外観
❷外観

施工　小坂井組
電気　川原電機
給排水・衛生・暖房　山田工業

建築設計　大阪府建築部営繕工事課
構造設計　平田建築構造研究所
設備設計　大阪府建築部営繕工事課
監　　理　大阪府建築部営繕工事課
　　赤松管野建築設計事務所

工　　期　昭和47年５月～昭和48年５月
敷地面積　3,244.59m²
建築面積　1,527.91m²
延床面積　1,768.00m²
構　　造　鉄筋コンクリート造２階建
　　管理棟　ラーメン構造
　　居室棟　壁式構造



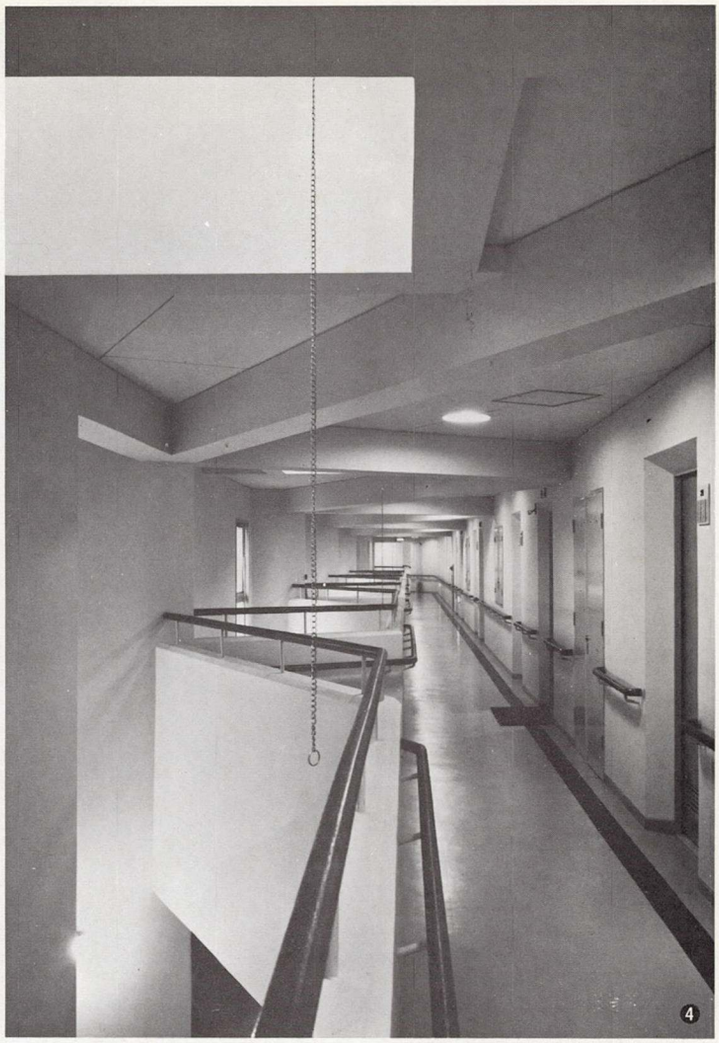
2階平面図

この建物は、京阪電鉄交野線星丘駅から徒歩約10分の所にある。敷地は東西に長い台地で、東の眺望がきく。

建物は、管理棟と居室棟とを明確に分離している。居室棟の居室（４人室24室、夫婦室２室）は、従来の老人ホームによくみかける並列配置をさけ、内外部とも変化が多く、明暗の多い空間が得られるような向きを持っている。管理棟から連なるメイン廊下は、３m以上の巾と吹抜けを持ち、今までの老人ホームには見られなかった、大きく気持のいい大廊下空間が得られた。廊下の各所にアルコーブを設け、談話コーナーとなづけている。居室から出た老人達が、他の居室の人々と気楽に話しあえる交歓の場として利用されるであろう。居室棟での新しい試みとして、霊安室を思いきって真正面に位置させた。この室は仏壇を置き、老人達の心の憩いの場として利用されるとともに、娯楽室としても利用される。老人達の生活の中で最も楽しい場のひとつとなるであろう。従来の霊安室の暗いイメージを明るいイメージに転換させた。

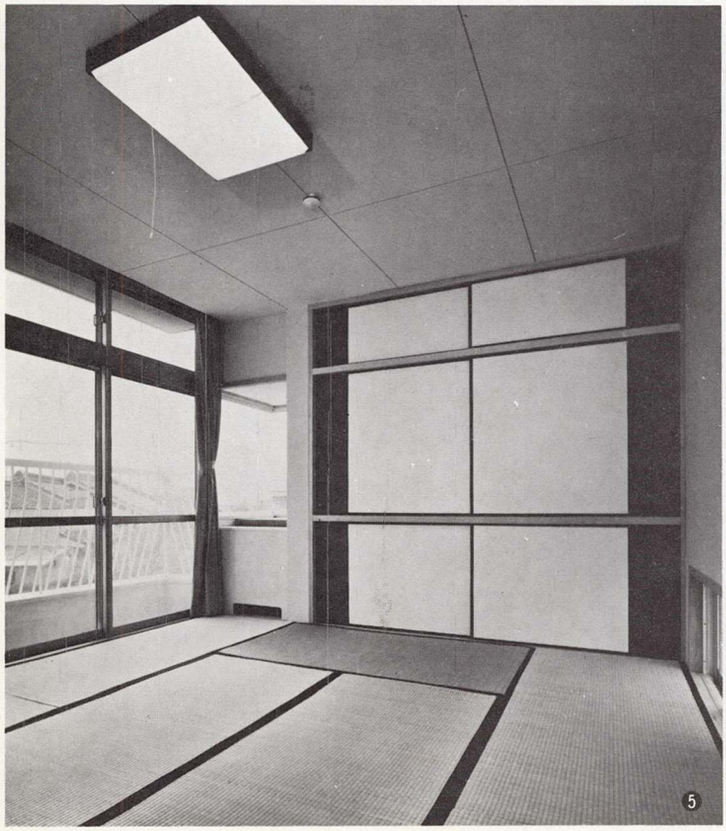
管理棟ではステージを両側の室からそれぞれことなった目的に利用できるよう計画している。（芝山義康）





大阪府立養護老人ホーム松風荘

❸1階廊下・吹抜
❹2階廊下・吹抜
❺居室
❻外観
❼食堂兼集会室







特集・老人コミュニティ

老人コミュニティ論／木下茂徳
欧米の老人コミュニティと日本の方向／保田博通
住宅公団におけるペアー住宅／社本孝夫
ニュータウンにおける老人福祉施設の問題―泉北の場合／川上昌男
都市における老人ホームについて／角野知義

伝え聞くところによると，「恍惚の人」（有吉佐和子著）は現在約200万部売れているそうで，これを単純に換算すると50人に1人がこの本を読んでいるということになります。これは確かに有吉氏の文才に負うところが大きいのですが，これだけ読まれるには，やはりそれだけの素地があるからだと思われます。どんなにあがいても，老人となれば心身がいうことをきかなくなるのは明白な事実であり，現在の若者もいつかは老人になるわけだし，老いも若きも，わが身の切実な問題としてこれを読まざるを得なかったものと思われます。

この「恍惚の人」が出版されて以後，爆発的に多くの人々が老人問題に注目するようになり、お陰様で今年は福祉元年だともいわれ出し，いろんな方面で老人対策が講じられるようになりました。老人の住まい関係だけを拾ってみても，親子が別居しながらスープのさめない距離に住める**ペア住宅**の新設、所得は少ないが自活できる老人用（若夫婦との同居も含む）の**老人向特定目的公営住宅**の建設促進，大体は自活できるが少し誰かからの介助が必要な老人用の**世話ホーム**の新設，および病院や老人ホームからの退院者が自宅で自活するまでの途中で、アフターケアーが受けられる **Half Way House** の試作などがあります。

一般に老人問題は暗く，じめじめしたものが多いのですが，このように明るい話題も豊富になってきたし、さらにまた、もっと明るい老後の社会を築いていくためには、どのようにすればよいのかを考える糸口として，本号では**老人コミュニティ**をテーマに特集することにしました。できればこれも200万部突破したいものです。

本特集編集幹事　荒木兵一郎（関西大学助教授）

老人コミュニティ論

木下茂徳

一口に老人コミュニティといっても，その内容は多様である。それぞれの国において老人のコミュニティが発生したのには，それぞれの理由と発生基盤があったわけである。各国の長期の生活慣習，社会経済の発展段階，それにともなう社会保障制度，社会機構，社会福祉対策等によりそれぞれの段階で必然的にできてきたのであって，古くからある老人コミュニティでも，その内容は時代とともにかなり変化してきている。

ヨーロッパの代表的老人コミュニティとしてコペンハーゲンにある「老人の町」は，創設以来100年に近い。これは老人の町といっても一つの大きな敷地のなかにつくられた老人ホームの集合体といった内容で，その昔，救貧院として創設されたものである。しかし現在では救貧院より脱皮して，近代的な老人施設に変りつつあり，定員も減りつつある。これは，昔の大部屋方式より個室または2人部屋に改造されたためである。

ストックホルム市の代表的老人の村として，Sabbatsberg などが有名であるが，いずれもヨーロッパでは老人の村とか老人の町とかいっても，その性格の本質は収容施設である。

アメリカの場合は「老人コミュニティ」的なものができてきたのは，戦後であり，古いものとしては，1945年，Detroitの長老派教会によって逐次創設された Presbyterian Village of Detroit がある。これは老人村といっても，33エーカーの敷地に，大部分平屋建ての美しいの ナーシング・ホームを建て，それを軸にして，老人居住棟が8棟と，各クラブ，集会，食堂などがあって，個室と2人室であり，各棟が別棟であるが，廊下によって連絡されており，かなり集約化されている。

文献の中で老人コミュニティ的な言葉がでてきたのは，1957年版の社会事業界の参考書Social Work Book にはじめて Retirement Village についての紹介がなされた。そして，1965年のEncyclopedia of Social Work では，老人の住居に関して，Retirement Village といわずに Retirement Town と呼んでいる。そして主としてFlorida州および，California州など気候のよい所に多くできはじめ，その後，Arizona 州などの空気の乾燥した老人達の健康に良い場所に沢山建設されてきた。

その創設主体は，宗教団体，労働団体，友愛組合，民間企業会社などである。

これらの傾向は，1956年に住宅法の改正によって，老人のための住宅を建てる場合，長期低利の融資を受けられるようになったということと，社会保障の諸給付が確立したので，その機運が高まった。

すなわち，アメリカにおける社会保障の体系は，1935年の連邦社会保障(Social Security Act)によって成立した。この法律は，当初困窮した老齢者の援助について規定したものであった。1939年の改正によって労働者の遺族に対する建設給付を新たに規定し，1956年に廃疾給付の制度が加えられSocial Security Act は，老齢，遺族，廃疾（Old-age, Survivors and Disability）の3種の給付をもった年金として完備した。アメリカでは，日本のような社会保障による健康保険は存在しなかったが，1965年にはじめてメディケア（Medicare）と呼ばれる65才以上の老齢者のための医療費保障の制度が付け加えられた。

社会保障が与えられる基本的給付として，退職者給付，（老齢者給付），家族給付，遺族給付，廃疾給付，死亡給付，医療費給付があり，これらの基本的給付のなかで，老人コミュニティはじめ，老人アパートなどの経営の一つの基盤となったものは，退職者給付と医療給付であると思われる。65才以上の人の⅘は退職者給付で医療給付を受けているからである。

老人のコミュニティに対する概念で一定のものはないが，一応アメリカの「老人コミュニティ」に対し

て，(1)老人達によって構成されているコミュニティであること，(2)各自が原則として独立した生活をしているか，または半独立の生活を営んでいること，(3)計画的につくられたコミュニティであること，(4)収容施設でないこと，(5)そこに働いている人達が主として老人で，かつ収入を稼ぐために職についていない状態にある老人達であること，(6)病気などの際に看護されるホームがあること，などをあげている。

全米に老人コミュニティは約1,500カ所あり，そのうち60%は宗教的団体などである。非営利法人の経営するものでも若干の利潤があるといわれている。あとの40%は営利を目的とする会社の老人のコミュニティであり，その数は40,000人〜50,000人と推定される。

民営の老人村としてはCalifornia州にあるRossmoor Lesiure World，同じ経営のMaryland州にあるRossmoor Maryland, Arizona州，Phenix郊外のSun Cityなどが有名である。宗教団体の老人村としては，Miami市郊外のEast Ridge Luthern Retirement Villageなどがあり，労働組合が経営している老人の町として，Newyork州にあるConcourse Village，Florida州にあるNalcrestなどがある。自動車につけて引きまわすTrailerによって老人の町をつくっているMobile-home Communityもあり，代表的なのはFlorida州のGuernsey Cityなどである。

老人の町もその規模内容によって，共同施設も一定でないが，大体，管理事務所，銀行，郵便局，消防署，図書館，劇場，集会場，病院，診療所，教会，会議室，美容室，理容室，ショッピングセンター，レストラン，酒場，各種のホビー室，各種の教室，アトリエ，工作室，水泳プール，ローンボーリング場，シャフルボード，ビリヤード，ゴルフ場，魚釣り，養魚，園芸施設などがコミュニティのなかに配置されている例が多い。

老人コミュニティに対する是非論もいろいろある。そのなかの一つに，1969年イタリアのサンレモで開かれたヨーロッパ老人福祉連盟の第6回総会で，イタリアの老年学者マルセル・ベルツ教授は，「老人の町」構想を批判した。すなわち，「老人の町」の老人は創設の当初は元気な老人ばかりであろうが，やがてその元気な老人も年老いて弱ってくるのを避けることはできない。そのときすることといえば，友人，知己の葬式に参列することだけで，「老人の町」はこの世のなかで最も哀れな，最もさびれたミゼラブルなものとなる。今後はつくらないようにしなければと強調した。彼の考えは，身体的にも経済的にも弱者である老人を大規模に集団化するとき，スラム化の危険がある。老人の大規模集団は，社会から孤立しやすいなどを理由にしており，ヨーロッパでは大きな老人住宅の団地や，「老人の町」は否定してる。しかし，このような傾向に対し，アメリカでは，「老人コミュニティ」として，「老人の町」や「老人の村」，「退職者村」などの建設が盛んである。

アメリカのIrving Rosowの説によると，心身の健康度を等しくする同輩者だけで構成した老人の同質的なコミュニティが退職者の町（Retirement Community）としてもっとも快適である。退職後の老年期の住まい方として，同じ年齢の者だけで構成された老人向きの居住地は，若い人と接触することからくる老いの悲哀を感ずることもなく，元気で，そして老年にふさわしい余暇を十分に楽しむことができるから，今後の老年者向きの住宅対策は，退職者の町づくりの方にもっていくべきだとしている。

Dr. W. Donahueは，通常の老人は一般地域社会のなかで自分の家で独立した生活をしつづけたがるという共通性がある。したがって自分の体が衰えて自分のことをひとりで処置できなくなるまで，大きな共同生活の住まいの形式には入りたがらないといわれている。しかしこれらの考え方は誇張され過ぎており，老人はむしろ，共同生活をしたがっているのではないだろうかと述べている。彼女の調査によると，計画的に建設された老人の村で友愛と社会的接触をもつために老後を過ごしたいと願っている人が多いと報告している。一人ぼっちになったあとも，自分の家で比較的淋しい状態のもとで暮したがっていると信ずることは困難である。一人暮しの老人は，それ以外に住み方がないからそうしているか，また社会が彼らにそうさせるように定めてかかっているため，一人で生活することを余儀なくされているのではないかともいわれている。R. W. Kleemeierは，現在自分の住みなれた家で独立した生活をしつづけたいと願っている老人たちは，過去の養老院，救貧院の暗いイメージの残りがあって，そこに入れば，意気投合した仲間と気のおけない集団生活ができないという過去の事実といいつたえがわざわいして，老人達がひとりになっても老人の施設に入りたくないと思わせているのでないかと述べている。

健康な人間社会というのは，男もいれば女もおり，子供もいれば老人もおり，元気な者もいれば病人もいる。それが人間の社会であり，老人だけを除けものにして，一つの社会をつくるということは健全でない。しかし，現在の社会が老人の生活にすべて幸せであるようにできあがっていないことも事実である。したがって，ある種の老人にとっては，健康管理上の不安もなく，同時代的意識をもった仲間と毎日を楽しくすごすことができ，あらゆる老人のニードを満足させるように計画的につくられた「老人のコミュニティ」のなかで生活することは，毎日毎日の生きがいからいっても望ましい場合もある。

前述したイタリーの学者のいっている意見は，ヨーロッパにみる古き時代の暗いイメージの「老人の町」などを考えているのであり，アメリカなどに建設されている老人の町は，規模も大きく，もっと躍動的で，からりとしており，そこには子供や孫もしばしば訪れ，ともにくつろぎ，ともにプールにとび込むなど，楽しんでいる姿からは，じめじめした様子は少しもみられない。

ひるがえって日本の場合はどうであろうか。日本でも老人の町，老人の村，老人のためのニュータウン，老人の楽園などの名称で老人コミュニティの言葉が聞かれるようになったのは比較的新しい。日本でもこれと同じ内容のものが全然なかったわけではなく，老人ホームの敷地内に小規模な独立家屋を散在させ，小さな村的雰囲気をやや出しているのも1～2カ所あるが，本格的ではなかった。

昭和44年5月12日厚生大臣から「老人問題に関する綜合的施策について」諮問を受けた中央福祉審議会がそれを老人福祉専門分科会において審議をし，その答申を昭和45年11月25日に厚生大臣に提出した。その答申のなかの第3章第4節において，老人ニュータウンの建設の必要性を打出すにおよんで，各都道府県のみならず，民間ベースでの建設機運も高まってきた。その内容については，審議会答申のなかでは，老人ニュータウンの建設に関し，「最近の都市における人口の過密化，各種公害の増大等により，老人の居住にふさわしい場が喪失しつつあるが，調査によれば，老後の生活を空気のよい閑静な土地，しかも老人に適した生活環境で過去の仕事，趣味を十分に生かした生活を強く望んでいる実情にあるので，老人の心身の状態に見合った生活環境施設，たとえば，老人に適した道路，交通機関，公園，医療機関，住宅，各種老人福祉施設および老人クラブハウス，作業場，農園などを綜合的に整備した『まち』―老人ニュータウン―の建設を検討すべきである。なお，建設にあたっては，地域社会，とくに家族，若い層との交流が可能となるような立地条件を考慮するとともに，各種の配慮を加える必要があろう。」と述べている。

さらにアメリカで10年ごとに開かれるWhite House Conferrence on Agingがアメリカにおける老人対策の展開に重要な役割を果したことにあやかって，昭和45年9月に開かれた第1回豊かな老後のための国民会議のなかでも，老人の多様なニードを考慮して，選択的なすまいのあり方を考える場合のひとつとして，老人の町づくりが急務であることが報告された。これらはいずれも，定住型の老人コミュニティを考えている。これらの考え方をさらに発展させたものに，昨年厚生省年金局で計画された，本年より3カ所に着工される「大規模年金保養基地」がある。これは，年金の受給権者を対象にして，老人の生き甲斐，家族や一般の人々の有効，健全な余暇利用，老人と家族，そして一般の人々との融合を目的としており，綜合的，かつ多様な福祉対策の一環として，老人の綜合的，多様な生き甲斐対策などの拠点としようとしている。その内容は単なる定住型でなく，利用者は，短期利用（週単位以下の利用），中期利用（月またはシーズン単位の利用）あるいは長期利用（定住を含む1年以上の利用）となっており，施設内容もかなりバライティに豊んでいる。

民間でも大都市近郊や，温泉地，温暖地などに大規模な老人コミュニティが計画されつつある。単に老人コミュニティだけでなく，ニュータウンのなかや，レジャーランドのなかにとりくまれたもの，有料老人ホームの発展した形として建設されるものなどある。これはやはり温暖の土地で比較的交通条件のよい所が選ばれるのは，老人自身のニードや家族との交流を考えた場合，当然であろう。

日本でもいよいよ本格的な「老人のコミュニティ」建設が各地ではじまろうとしているが，単なる思いつきや，流行に終らせることなく，豊かな福祉社会建設のなかのひとつの核として，敷地の選択から建設計画，運営，管理まで，老人のニードを適確に把握し，着手されるのを望むや切なるものがある。

（きのした　しげのり　日本大学理工学部教授）

欧米の老人コミュニティと日本の方向

保田博通

はじめに

最近，とみに世間の関心をひきはじめたものに老人問題がある。政府も福祉社会実現のための大きな懸案事項として老人問題に取り組む姿勢を示しはじめた。このようなとき，この問題の一つの柱である老人施設について，欧米先進国の最近の動きを，駆け足ではあるが，かいまみる機会を得た。その実情をここで報告するとともに，わが国の今後の方向を模索してみよう。

1. 欧米における老人コミュニティの動向

アメリカおよび，西ヨーロッパの老人施設の動きを，ごく最近のものに限ってみると，大きくわけて二つの流れがある。

その一つは，主として西ヨーロッパ諸国においてみられるものであるが，老人施設を，一つの独立した区域もしくはアパートメントなどに集めないで，老人を一般社会のなかで生活させようという動きである。そしてもう一つの方向は，アメリカでみられるものであり，大規模な老人だけのコミュニティを作り，そこで老人達に自由な生活を楽しませようという動きである。

このような二つの全く対立している考え方は，それぞれの国情や，老人施設に対する歴史・経験といったものによってもたらされている。

すなわち，ヨーロッパの老人施設の歴史をふり返ると，その発端は，養ってくれる家族もなく，そして働く能力も失った老人を収容する救貧院（Almshouse）であった。したがって最初は，老人施設に対する考え方は，収容施設という考え方であった。しかし，近年，ヨーロッパ各国の福祉思想の発達，社会保障制度の充実につれて，たとえば，老令年金受給者が，住宅手当をうけることができるようになったことなどとあいまって，老人の住居に対する従来のあつかい方への反省がはじまった。すなわち，収容する施設から，生活の場へとその考え方が変わってきたのである。そしてその生活の場としての考え方のなかに，最近では，老人だけを別の場所にまとめて生活させることへの疑問が起り，むしろ一般人にまじって社会のなかで，生活させるべきであるという思想が強くなってきたのである。

この点につき，老人問題の専門家である厚生省老人福祉専門官森幹郎氏が，その著「日本人の老後」で，明快に理由を述べておられるので，以下引用させていただく。

それによると，第一に，身体的にも経済的にも弱者である老人を大規模に集団化するとき，それはスラム化の危険があるということである。老人住宅でも老人の町でも，初めのうちは元気な老人ばかりかもしれないが，やがてはその老人も病弱化し，寝たきりになることもあるということをはっきりと理解していなければならない。

第二に，老人の大規模集団は，どうしても社会から孤立しやすいということである。

第三は，人間の社会には男もいれば女もおり，子どももいれば老人もおり，金持ちもいれば貧乏人もおり，元気な者もいれば病人もいる。それが人間の社会というものである。そこでは元気な者が弱い者を助けている。それが人間の社会というものである。

したがって，人間の社会から老人だけを除け者にし，老人だけで一つの社会をつくれば，老人が社会から孤立して気の毒だというだけでなく，社会にとっても，健全なことではない。とくに子供の人格形成にマイナスになる点が少なくない。すなわち子供は老人と一緒に暮らすことによって老人をいたわり，弱い者を助ける気持が育つのである，とされている。

表1　老人ホームの平均規模

（世界）　（単位：人）

国名	人数
デンマーク	10〜20
イギリス	30〜60
ノルウェー	30
スウェーデン	50〜70
ベルギー	50
オランダ	50〜75
スイス	30〜50
フランス	50〜80
日本	74

森幹郎氏著“日本人の老後”より引用

このような理由のため，ヨーロッパの老人施設の規模は表1のように一般的にあまり大きくない。もちろん現存する老人施設には，たとえばコペンハーゲンの「老人の町」のような規模の大きいものもあるが，これなども徐々に規模を小さくしており，また現在，老人の住宅を建設するときは，できるだけ老人を集団化しないように考えている。したがって，一般の人達が住む団地のなかに少数の老人向独立住宅を組み込んだり（ロンドン郊外テームスメイド），また老人専用のアパートメントを作っても，そこに若い人達との交流ができるように，青少年の宿泊施設を張りつける（ストックホルム郊外，フライクターレン）などの工夫をこらしている。そして，その立地も，都市の郊外が多いが，社会から孤立させないという配慮から，都市の中心に行くのに便利な場所にあるのが，一般的な傾向である。

このように老人施設について先進国であるヨーロッパの行き方と対照的に大規模な老人コミュニティ・団地（住民一千人〜一万人以上）が，クローズアップされているのが最近のアメリカの動きである。

もちろん，アメリカの老人施設のすべてが，このような大規模なものだというわけではない。すなわちアメリカにおける老人施設の発生パターンをたどってみると，つぎの３つにわけられる。

第一に，建設業者や不動産業者が開発したり，教会や篤志家が設立し，最初から老人コミュニティとして意図されたもの。

第二に，病院から出発してナーシングホーム・老人コミュニティに変わっていったもの。

第三に，ホテルが経営不振などから，老人専門の宿泊施設に変わっていったもの。（とくにマイアミビーチなどにその例が多い）

このうち，最近脚光をあびている大規模老人コミュニティは，建設業者や不動産業者が開発した老人向け団地である。また教会や篤志家が設立したものでも，これらはアパートメント形式であるが，概して大きいもの（ニューヨーク　イザベラホーム，収容人員750名，など）が多い。

このような民間ディベロッパーによる大規模老人コミュニティは，その歴史はきわめて新しいものの，その成長ぶりは注目の的であり，関係業界（ウエッブ社，ロスモア社，レジャーテクノロジー社などが大手）は，いずれも強気の見通しをもっている。現に筆者が訪問した大規模団地のいずれもが，拡張中ないしは拡張計画をもっている。

このようにアメリカで大規模な老人コミュニティが盛んになってきた理由を考えると，それはアメリカの社会的な事情が，一番大きなものと考えられる。

アメリカの人達は，従来から，年をとり職を退くと，マイアミなどの暖かい地方で余生を過ごすことを望む人が多かった。このような感情が現在のアメリカの都市事情により拍車がかけられているといえよう。

すなわち，アメリカの大都市は，いずれも犯罪の増加，人種問題のもつれ，これらがからみ合った都市の退廃により，白人および有産階級の郊外への脱出がつづいている。したがって，退職する年令に達し，静かに自分達の生活を楽しみたい人達にとって，成長した子供達が独立したあと，荒廃した既成都市で，いたずらに税金等の支出だけがかさむ家に，老夫婦または単身で住むことには，魅力がなくなることは当然であろう。

このような社会的な背景のもとに，年金の増額により余裕のできた老人達が，気候がよく安心して住めるコミュニティ（ロスモア社の団地などは，団地の入口にガードマンがいて，紹介状のない部外者ははいれない）への入居を希望するようになってきたものと思われる。

2.　ヨーロッパの老人コミュニティの実例

(1)　「老人の町」（デンマーク）

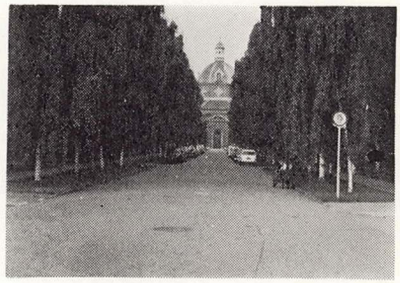
コペンハーゲン市内にあり，デンマークでは最大の老人ホームである。運営主体は市当局。1919年に設立された。

敷地は約３万坪。10棟近くの建物があり，健康な老人とナーシングを必要とする老人を収容している。

ナーシング部分の各階には共用の喫煙室がある。とくに身体の弱ったお年寄りの場合，各自の病室で喫煙を許すと，消し忘れたり，手足が不自由なため，落したりして，火災の原因となる場合があるため，喫煙場所を限定する方が安全である。

健康な人の住居の家具は，備えつけであるが，入居者が望めば自分の家具を持ち込める。これは老人は環境が急に変わることをきらうため，自分の使い慣れた家具で部屋をうめ，できるだけ環境が変わったことを意識させないよう配慮したものである。

現在入居者は1350人，平均年令は82才。職員の数は約1500人で，入居者より従業員の方が多い。この老人ホームは，古い救貧院から変形してきたものの典型である。以前はもっと収容人員が多かったが，徐々に個室や小部屋に改造しているため収容人員が減っている。入居者から入居費は一切とらず，逆に月152クローネ（6840円）を支給している。



「老人の町」の中庭

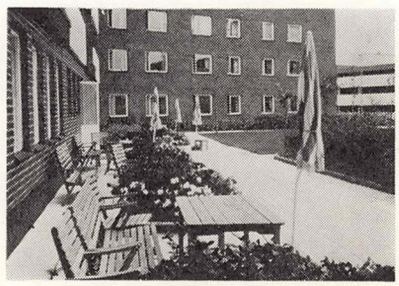
(2)　フライクターレン（灯台守，スエーデン）

ストックホルム市に隣接するリディオング地区にある。1963年設立。７階建てのアパートメント形式である。

運営主体はリディオングの自治体である。

運営内容は，

a　主として元気な老人のためのもの　　76室　120人



フライクターレンの建物と庭

b　やや病弱の老人のためのもの　　25人
c　青少年の宿泊施設　　168室
d　身体障害者用施設　　12室　20人

に分かれている。

その他の施設としては，美容院，レストラン，トレーニングセンター，足の訓練場，図書室，体操室などがある。従業員はパートを入れて30名。

青少年の宿泊施設は，これをもうけることによって青少年と入居している老人達の交流を図ろうというものである。

老人の入居施設はすべて賃貸形式である。家賃は１ＤＫが月額500クローネ（３万2000円），２ＤＫが625クローネ（４万円），３ＤＫが700クローネ（４万8000円）である。レストランの食費は別わくで，１回６クローネ（384円）である。

この施設の維持費は，以上のような老人の支払う家賃などだけではまかなえない。そのため，自治体が１年間に，家賃その他に50万クローネ（3200万円），それに人件費として100万クローネ（6400万円）を負担している。

(3)　カンベッタ老人用住宅（フランス）

ニース市内にあるアパートメント形式の老人ホームである。1967年に開設された。

ニース市市議会，ニース預託金庫，南東部社会保障老令地域金庫の協力を得て，ニース市社会扶助事務所（日本の社会福祉事務所に当る）理事会により，建設されたものである。

構成は，以下のようなものとなっている。

a　単身者用住居　　32部屋
b　世帯用住居　　12部屋
c　給食ホーム
d　図書室およびテレビ付サロン
e　診療センター
f　生活相談所
g　行政センター

入居条件は退職者であり，65才または60才（労働不能による早期退職の場合）であること，第三者の看護を必要としないことである。したがって簡単な診療センターはあるが，ナーシングホームは設置されていない。

住居はバルコニー付寝室１つであり，小さな台所，洗面所が付いている。各住居とも社会扶助事務所の手で家具類は完全に備えつけられているが，居住者は，若干の付属的な備品を持ち込むことはできる。住居部分は４階まであり，２つのエレベーターがある。各階に２つづつ浴室，電話器，ごみ排出口が設けられている。

家賃および諸経費（暖房費，電気代，水道料，温水使用料，人件費，保安費，洗濯代等）を含めて，日別料金が毎年定められる。

入居者の収入では，この料金が負担できない場合は，入居費の一部または全部が当該入居者の年収を考慮した上で，老人に対する社会扶助の名目で社会扶助事務所により負担される。給食ホームでは，当ホームの入居者のみならず同一町内にすむ老人で低所得者である者を対象に給食している。料金の分担金は毎食ごとに請求される。

また居住者および給食ホームへの入室を許可された者は，図書室，テレビ付サロンの利用を認められる。

診療センターは，内科，外科，耳鼻科があり，常勤の正看護婦が看護に当っている。診療を受けることができる者は，入居者および同一町内の社会保険加入者である。

生活相談所には，２名の社会扶助員がおり，建物内で，定期的に扶助を行なっている。

また行政センターは，各種社会扶助申請の受け付けおよび予備調査を行なうものである。



サンシティ内のショッピングセンター



モデル住宅展示場にある住宅の一例

3.　アメリカにおける老人コミュニティの実例

(1)　サン・シティ

アリゾナ州フェニックスより13マイルの地点にある。1960年より建設が開始され1963年から分譲が開

始された。開発主体はデル・イ・ウエッブス建設会社である。同社の主な業務は，建設であるが，老人コミュニティの開発分野では，業界首位であり，このサン・シティは民間ディベロッパーが開発した大規模老人コミュニティのなかでも最大級のものである。

現在，敷地は1万エーカー（1224万坪，万国博会場の10倍以上の広さ）である。

居住者の数は2万4000人，戸数は1万2000戸である。現在までのサン・シティにおけるウエッブ社の売上げ累計は3億1000万ドル（930億円）とのことである。

将来計画としては，敷地を2.1万エーカーまで拡げ，戸数は3万5000戸まで拡張する予定である。

住居はいずれも平家建てであり，82種のモデルタイプがある。全部売却方式をとり，入居条件は50才以上である。

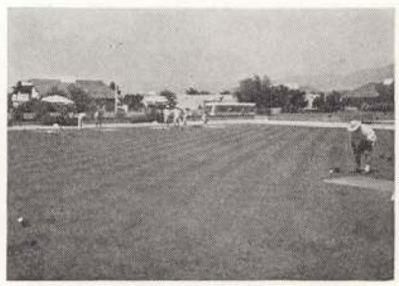
住宅の分譲価格は690万円から最高1670万円見当まである。入居後の維持管理費は，月額1万4000円から2万7000円である。

コミュニティ内は，完全な一つの社会を形成しており，居住者の利用施設としては，ショッピングセンターが6カ所，教会が8カ所，18ホールのゴルフ場が6カ所，総合病院，新聞社，レクリエーションセンターなどがある。各種の同好クラブも125以上あり，これらの各施設やクラブの利用料は一人年6000円である。

なお外来者のための休暇村形式の施設もあり，10月より翌年5月まで一週間単位で賃貸しをする。この場合は，2人単位で2人のうち1人が50才以上であることが条件である。



レジャーワールドの正面ゲイト



ローンボウルを楽しむ老人達

(2) ロスモアレジャーワールド

ロスアンゼルス市とサンディエゴ市の中間地点ラグナヒルズにある。

開発主体はロスモアという民間ディベロッパーである。このロスモア社は，サンフランシスコやワシントンの郊外でもいくつかの老人コミュニティを手がけている。

開発後の運営はレジャーワールド財団とゴールデン財団という2つの組織が中心になり，そこへ居住者の代表が参加して行なっている模様である。

入居資格は52才以上。総面積は約1000エーカー（122万4000坪，万国博会場よりやや広い）。

居住者は1万5000人，戸数は9881戸である。

ここも目下拡張中であり，1年後には居住者は2万8000人になる見込みである。現在までの開発に要した総事業費は約500億円である。

住居は，すべて分譲形式である。分譲価格は大きさによって違うが，一番小さい1寝室形式で，510万円，最高は1800万円である。一戸建てと，アパート形式（condominium）とがある。入居後は，戸外管理費として，月額8000円から2万1000円が必要である。

130以上の同好クラブがあり，ショッピングセンター，銀行，ゴルフ場，教会なども完備している。また居住者が仕事をするための貸事務所（主に弁護士などの自由業）がもうけられている。病院も完備しており，現在122名のスタッフが常勤している。各種クラブやレジャー施設の利用料はほとんど無料であり，ゴルフ場のみが1回2ドルである。居住者が死亡した場合は，相続人にゆずられる。相続人が52才未満の場合は入居できないが，そのときはカリフォルニア州が買い上げて再販売する。

ただし，相続人が望めば，その住宅を他人に貸して家賃収入をはかることは自由である。

(3) イザベラホーム

ニューヨーク市内にある。事業主体はイザベラ財団。1875年アン・オッテングハー夫人により愛娘イザベラを記念して作られたもの。現在新旧2つのビルディングからなっているアパートメント形式の老人ホームである。

古いビルは1965年に建てかえられたもので12階建て，250人を収容している。新しいビルは1971年12月完成，地上17階地下1階建てである。

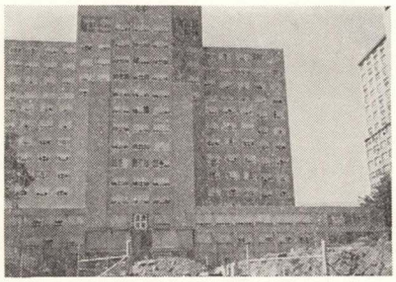
この建築費は54億円で，ニューヨーク州より40年間の長期低利融資をうけている。

入居者は，

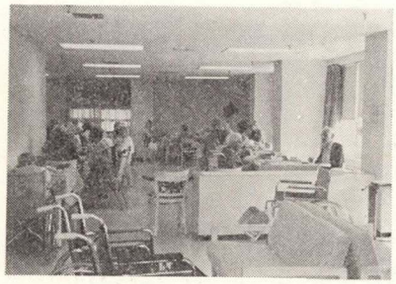
a　健康な老人（2食付）　250名
b　やや病弱な老人（3食付）　190名
c　ナーシングを必要とする老人（3食付）　305名

と3部門に分かれており，合計745名が入居している。

新らしいビルは4色のカラーで各階ごとに塗り分けられている。これは老人にすぐ何階かわかるよう



ニューヨーク市内にあるイザベラホーム



食事を楽しむ老人達

にするためである。ナーシングホーム以外は，シングルの部屋が圧倒的に多いが，ナーシングホームの場合は，シングル4室，ツイン20室である。これは病人を一人でおくと淋しいしまた危険な場合もあるので，ツインを多くしている。医師は16名。

賃貸形式であり，健康な老人の1カ月の入居費は食事込みで一人12万円から16万5000円である。

やや病弱な人の場合は，月32万8500円，ナーシングホームの場合は54万7500円（いずれも食事付）である。なおイザベラホームの維持費は，これらの入居費などだけではまかないきれないが，不足分および入居者で払えなくなった人の分は，国および州からの援助でまかなっている。

4. 日本の老人コミュニティの今後の方向

以上，欧米先進国の老人ホーム・老人コミュニティについて，大雑把に述べたが，日本の老人施設の今後の方向と，その場合配慮すべき点はどのようなものであろうか。

いままでのわが国の老人施設は，養護老人ホーム，特別養護老人ホーム，軽費老人ホーム，有料老人ホームの4種類である。しかしこれらの老人ホームは，おおむね低所得者を対象としており，養老院という暗い印象から抜けられず，いわゆる快適さとはほど遠いものである。

しかし，福祉重視がさけばれるようになった昨今，老人施設関係も注目をあびるようになり，漸次欧米の水準に追いついていくことであろう。その場合，立地，規模，内容などいろいろ研究すべき問題があるが，それらの点につき，現在感じているままを述べてみよう。

まず，きわだった対照をみせているアメリカ型とヨーロッパ型の日本における適否であるが，筆者もこの点につき帰国後，識者達にたずねてみたが，まだはっきりした概念はない。すなわち老人にも静かなところを好む人，住みなれたところでくらしたい人，と千差万別であり，むしろどちらがよいと割り切る方に無理があるといえよう。

しかし住みよい老人コミュニティを作るためには，日本の老人の考え方をしっかりつかむ必要がある。この点，最近東洋信託銀行が，停年退職者と40才以上のサラリーマンを対象に行なった老後の設計についてのアンケートは興味深い。それによると，老後の暮しの理想は「晴耕雨読の田園生活」が全体の63.3%，別荘中心が17.7%と，"脱都会"への希望が多い。また全体の38.8%が「子供と一緒の家に住むこと」を計画し，またそれ以外でも子供の近くに住むことを望んでいる人達が多い。このアンケートが老人および老後を考えている人達すべての意見であるとはいえないが，しかし，ごく一般的にいって，老人が定住する場所としては，都市の近郊であり，家族や若い人達が比較的気軽に訪問ができ，そしてできれば気候の温暖なところが望ましいということはいえよう。

またその内容については，老人のもつ大きな悩み「健康」「経済問題」「孤独」を少しでもカバーできるよう配慮することが必要である。

すなわち現在の老人ホームのほとんどが，病気になると出なければならないことは，大きな問題である。この点は老人医療費の無料化の徹底など国や地方公共団体が，まず手を打たねばならない。それと同時に，コミュニティを作る側も，最低限度の医療設備をくみ入れるか，近くの医療機関と提携することが必要である。

また経済問題については，今後年金の増額がはかられるとはいうものの，まだ不十分である。したがって施設内で適当な仕事の場を作るなり，趣味を生かして収入に結びつかせる設備を考えることが大切である。このことは老人の生きがいにもつながり，孤独感をまぎらわすことにもなろう。

また，老人達を孤独に追いやる一つの原因は，現在老人が楽しめるレジャー施設・レクリエーション施設が少ないということである。先に余暇開発センターが行なった「条件が整えば今後おこなってみたいレジャー・レクリエーション活動」調査によると50代以上の人達に一番望まれているレジャーは旅行である。これに対して，現在の日本のレジャー・レクリエーション施設は，若者が対象のものが多く，また休日には人出が集中し，交通地獄とあいまって老人がゆっくり楽しめない。したがって都市をはなれた海山の地に，静けさを好む老人達が住めると同時に，外部から訪問した老人が長期滞在できる老人向リゾート施設を作ることも必要であろう。

そして，この場合は青少年も同時に楽しめるような設備をととのえ，若い人との交歓がはかれるようにすることが大切である。そして，その地方地方の民芸品の製作場や，伝統芸能を楽しめる設備をくみ入れ，各リゾート施設ごとに，特色を出すことも必要であろう。

（やすだ　ひろみち　KK大林組営業調査部）

住宅公団におけるペアー住宅

社本孝夫

1. はじめに

わが国にとって，1970年代は高齢化社会への突入の時代であるといわれている。昨年は有吉佐和子著の「恍惚の人」がベスト・セラーになり，また，12月の衆議員選挙でも年金問題など，社会福祉が各党のスローガンになり老人問題が，都市問題，環境問題と並んで社会問題として顕在化してきている。

昭和45年の国勢調査によると，わが国の65才以上の老人人口は，約730万人であり，全人口の7.1%を占めている。この割合はスエーデンの13.5%，イギリスの13%に比べると高い率ではない。しかしながら，人口問題研究所の推計によると，昭和70年には，65才以上の老人人口は絶対数で，1,540万人と倍増し，人口比でも12%となり，西歴2,000年には1,770万人で人口比13.4%となり，比率では世界有数，絶対数でも，上位の国になると推定されている。

一方，生活環境としてはアーバニゼーション，それに伴う家族制度の崩壊，また地縁社会としてのコミュニティの崩壊，核家族化の進行，子供の扶養意識の低下など，社会状況のさまざまの変化は，順応性の低い老人にとっては物理的にも心理的にもきびしい生活環境となってきている。そのため，老人にとって積極的な生きがいが見出しにくくなって，不安な老後をむかえねばならない人々が急増しているのが日本の現状である。諸外国においては人口の老齢化が徐々に進行してきているため，個人，社会，国家が意識の面でも施設の面でも，これらに対応してきているが，日本においては，きわめて短期間に老齢化が進んでいるため，老人問題は一層深刻なのである。

2. 老人の住宅問題

老後の生活問題のなかで重要なのは，経済的生活保障の問題と住宅の確保の問題である。わが国においては，住宅事情の悪さがそのまま老人の住宅にも反映し，その対策の立ち遅れが目立っている。厚生省の「老後の生活に関する世論調査」によると，国民の10%の人々が老後の住宅についての不安をもっており，とくに東京都区部では20%の人々が不安を感じているという結果になっている。

老人の住まい方でわが国の特徴的な点は，家族との同居率がデンマークでは20%，イギリスでは42%であるのに比べ，わが国では80%と高率であることである。このように同居率が高いことは，従来の家族制度の影響と同時に，国の福祉施策が立遅れているため，個人，家族レベルで老人問題を解決してきたことのあらわれであると思われる。また60才以上の高齢者世帯は全国で110万世帯にものぼり，今後，核家族化の進行とともに，高齢者の住宅問題が重要な社会問題になると思われる。とくに都市部においては，兵庫県の調査によると阪神間の老齢者世帯のうち持家に居住している者は56%しかなく，今後，老齢者の住宅需要が増大していくものと推定される。

一方わが国の公的資金による住宅は，公共賃貸住宅の20万戸を含め，年間70万戸供給されているが，それらは都市勤労者，すなわち核家族向けに建設されており，老人層への配慮にとぼしい。わずかに，老人住宅として現在とられている措置は「老人向世帯向公営住宅の建設について」という建設省の昭和39年4月の通達により，第2種公営住宅が低所得老人世帯用に建設されているにすぎない。これまでに，全国で約4,000戸供給されたにすぎず，また，この施策住宅も，入居者に対する資格条件が60才以上の老齢者と18才未満の同居者しか認められず，子供と離れて住むアパートへの心理的圧力もあり，人居希望者も少なく，大阪府では毎年応募倍率が1倍に満たず，実効をあげていない。このほか，住宅公団では昭和47年から老人，身障者を含む世帯への1階への優先入居の制度，また，住宅金融公庫では老人室付住宅への融資の増額の制度などを発足させており，制度面での拡充がはかられつつあるのが現状である。

一方，老人ホームの現況は，寝たきり老人を収容する特別養護老人ホーム，心身上あるいは環境上の理由で居宅において世話することが困難な低所得老人階層を収容する養護老人ホーム，また，利用者の負担でまかなう軽費老人ホーム，有料老人ホームがあり，その数は全国で1,150カ所，約8万5千人の老人が収容されている。この量は65才以上の老齢人口の約1%にすぎず，現在入所希望者の20万人と比べて絶対量がなく，アメリカの3.7%，イギリス，スエーデンの4%台，フィンランドの8.6%という諸外国の施設水準に比べても大きく立遅れているということができる。

このような施策住宅のほか，イギリスでは住宅の新築戸数のうち5%は老人用住宅として割当てられており，住宅政策の一環として老人の住宅対策がたてられている。

アメリカにおいては，老人住宅が民間ディベロッパーにより，老人ニュータウンの建設によりなされている場合がある。これは都市が人口の過密，各種公害の増大など，老人の居住するのにふさわしい環境が失われつつあるなかで，空気のよい，閑静な土地で，老人の心身状態に見合った生活環境施設を総合的に整備した老人のニュータウンの建設がなされているのである。このような試みも地域社会や家族との交流が可能な条件を備えた地域に建設されるなら，わが国においても考慮されてよい，一つの方向であろう。

わが国の老人の住宅問題を考える上で考慮しなくてはならないのは，同居か別居かの問題である。先に述べたように，わが国では同居率が80%もの比率を占めているが，そのなかには，老人の専用居室をもてないものがあり，それによる家庭内の問題が多くなっている。老人と家族と

の不調和は老人そのものでなく，むしろ住居に結びついた問題が目立っている。そのためにも，高いプライバシーの維持できる専用居室をもった，しかも老人と家族の間の好ましい家族関係が維持できる住宅の供給が望まれるのである。

また，同居か別居かの国民の意識は，総理府の「老人対策について」の国政モニター報告によると「同居の方が幸せ」と答えたものが65%もあり，別居を希望する30%を大きく上回っている。また別居希望者のなかでも息子夫婦などの家の近くに住みたい者が過半数を占め，なんらかの形で子供たちと日常の接触を期待していることを示している。一般的には，老人は経済的には子供に頼りたくはないが，年をとったら一緒に住みたいという意識が強くなり，若い人々の間にも共通した考え方となりつつある。今後は，共稼ぎ率の増大により，保育の問題など，昔とは異なる意味で働き手としての老人が必要となってくると思われる。このような同居意識を背景とした同居形態は，美しい人間関係，自然な親子の情愛など，子供の人間形成の場としての家庭環境をそなえ，プライバシーの高い老人の専用室を備えているなど，住宅の質さえととのえば老人の住まい方として肯定されるであろう。

今後，老人の住宅対策としては，世帯構成の推計をふまえて老人のいる世帯を類型化し，世帯構造，健康状態などに見合った，住宅および施設の対策がとられる必要がある。

3. 団地と老人

従来，住宅団地の人口構成は，わが国の人口構成が出生率や死亡率の低下により底辺の広がりの少ないピラミッド型をしているのに対し，団地の人口の半数以上が20才～39才に集中しており，もう一つの山が幼児にあるという，二つのふくらみをもった人口構成をしている。入居時には，このような人口構成をしている団地も，建設されてから15年以上も経た，住宅公団の初期の団地では昭和45年の定期調査によると，昭和31～34年に建設されたものには複合世帯が5.8%あり，その3DKタイプの住宅では14.6%にものぼり，老人との同居世帯が多いことを示している。老人人口も，これらの団地では5%と一般の都市にはおよばないが，約半数の比率になっている。

しかしながら，団地の物理的計画が老人にとってどうであるかというと，1DK～3DK程度の住宅規模では，老人のための専用室がもてるはずがなく，昼間は孫たちと屋外に出る以外，老人の居場所がないなどの批判がある。団地の設計は，近代的な設計と技術を生かして機能性を重視して作られ，合理的であるがために住まいの人間味に欠け，とくに老人のような古い生活体験をもった人々にとっては疎外された環境となっているといわれる。

このような物的環境に対する批判とともに，社会学者のいう，団地のコミュニティ論からの批判がある。それは，住戸タイプが1DK～3DK主体であるため，入居者が限られ，同年代，同所得階層の入居者が集まって住む場になり，特殊な社会を結果的に生んでいることになっている。このような社会の居住者は，お互い利己心や競争意識が強く，定住意識が少ないため，地域としてのまとまりに欠け，子供の教育に夢をかける"団地族"という特異な集団であるといわれる。

また子供の育つ環境としては，遊び場など，物的には他の既成市街地に比べめぐまれた水準にあるが，人と人とのつながりという面では，種々の社会階層，年齢階層の人々と接して，広い経験をもって育つ既成都市社会のようにはなり得ず，人間形成の場としても，問題を含んでいる。

また，これらの団地をうけ入れる地方自治体にとっても，同年齢階層の人々が集中することによる行政上の弊害，とくに幼稚園，小学校などの教育施設の行政需要が一時期に集中して生じ，地方自治体の財政を圧迫し，このような住宅団地お断りという市町村もでてきている。

このような問題に対処するためにも，コミュニティ計画上からも，一般の既成都市社会の人口構成に近づけ，公共施設の需要のピークを少しでも小さくする努力をし，健全な街づくりを進めるために，老人を団地に積極的に導入する論拠がある。

また，計画的住宅地には，諸外国では，地域活動として行なわれている屋外の清掃，草とり，樹木の整備などの軽作業があり，働く意志と能力をもった老人の就労の場を積極的に評価していくことも大切であるといえる。このような軽労働のほかにも，昨今，論議されている学校以外の場における社会教育，生涯教育，趣味活動などのリーダーとして，一種の地域的なコミュニティ・リーダーとしての役割を果すことができる老人層もあると思われる。計画的住宅地には，これら地域活動の核となるリーダーや住民の意識に欠け，人間味に欠ける街となっている。老人はこのように各住戸の家族の一員としての役割りを果すだけでなく，社会的には，地域の潤滑油として一定の役割りを果していくことが老人の生きがいにも通じるところがあり，大切なことであると思われる。

老人を団地に導入する方策としては，諸外国でみられるように老人ホームなど，社会福祉施設を住宅団地のコミュニティ施設として老人のクラブハウスなどとあわせて計画導入する方策がある。

また，古い賃貸住宅では，空屋募集時にその子供の住んでいる団地に優先的に入居させる方策によっても，可能性があると思われます。

また。住戸タイプによる導入方策としては，

老人専用室付住宅――老人と同居する世帯用に3LDK，4LDKのような大型住宅を，プライバシーの高い老人専用室がもてるよう，メゾネットタイプなどで供給する。

ペアー住宅――隣りあった2住戸を老人世帯とその子供の世帯に供給する。

1団地2戸賃貸――同一団地内で近接した2戸を老人世帯とその子供世帯に，スープのさめない距離にて，供給する。

老人世帯向住宅――別居を希望する老人世帯用に1DKなどの小住宅を供給する。

このようなタイプが考えられるが，老人には居住意識の異なる種々の老人階層がいるため，種々の方策により老人を導入し，健全な人口構成の住宅地とする必要がある。住宅公団では，昭和47年度事業から全国で老人専用室付住宅とペアー住宅の方式で老人対策住宅を建設している。

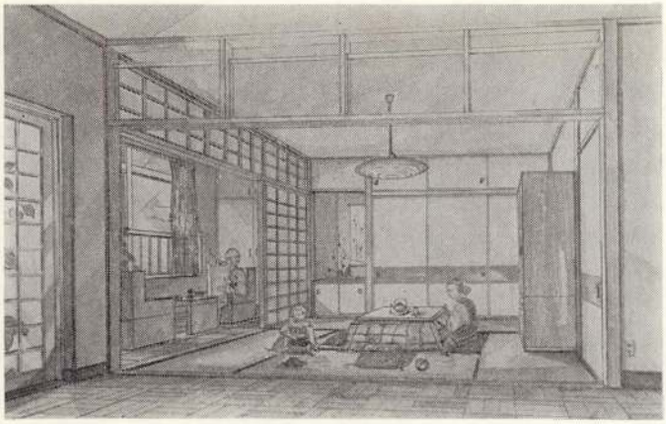
4. ペアー住宅

日本住宅公団大阪支所では，ペアー住宅という方式で老人を住宅地に導入することを考えており，昭和47年度事業として大阪市東淀川区豊里町の豊里面開発市街地住宅（1,303戸，昭和49年1月完成予定）のなかで建設中である。

ペアー住宅は隣りあった2住宅（1DKと2DK）を親夫婦の世帯とその子供の世帯に賃貸するものである。これは同居形態の変形であり，普通の形の同居で嫁と姑の問題を解決するためには，プライバシーの高い老人専用室をもっていることが必要であり，これでは1戸の床面積が大きくなりすぎ，家賃制度上の制約があり，実現がむずかしかった。

一方，ペアー住宅は，2戸の住宅であるため，近くて遠い距離にあたり，まさにスープのさめない距離にあるのである。物理的には近いため，経済的には食事，風呂などがお互いに助かり，また人手という点では留守番がたのめたり，共稼ぎをする場合，子供の世話などが可能になってくる。また通常の家庭でみられる教育や育児，病気のことなど，生活の知恵を教えてもらい，豊かな生活が送れ，良い意味で伝統が生かされた家庭の建設ができるという点がある。かつ，老夫婦，子供夫婦間に，高いプライバシーが保てることである。

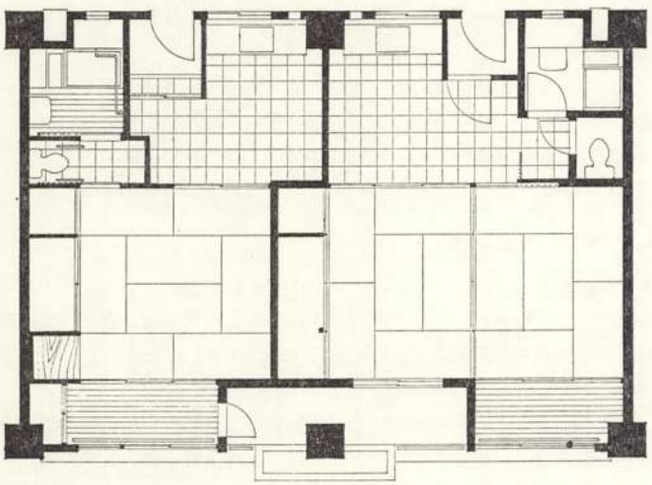
また，二つの住宅は，建物構造上は，非構造壁であるコンクリート・ブロックで隔てておくと，家族構成が変化したり，日本全体の住居水準が向上したとき，コンクリート・ブロック部分を通路にすることにより広い住宅に変形でき，住宅ストックとしても有効なものにすることにできる。現在の公団の家賃は，ある程度，入居時で固定されたままであり，建設してから10年経た古い住宅の家賃は新しい団地の½～⅓程度になっており，新旧団地の格差が目立っている。逆にいうと，年間15%程度の所得の向上がある場合，5～6年後には，2戸分の家賃を支払うこ



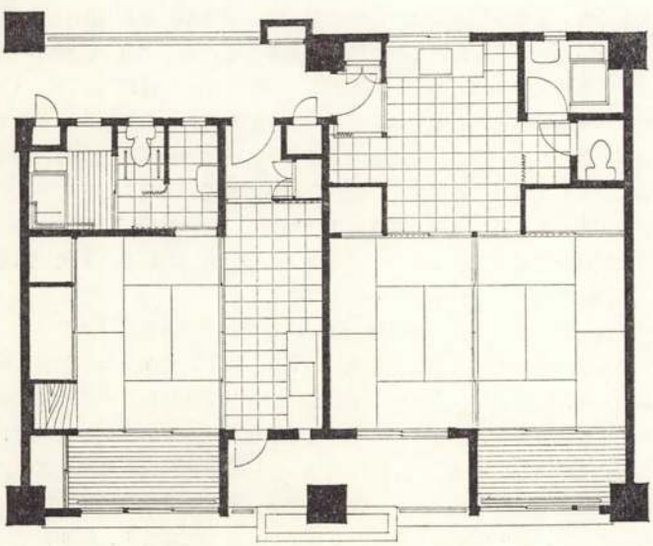
ペアー住宅室内パース



ペアー住宅の概観



ペアー住宅の一例（廊下型）



ペアー住宅の一例（階段室型）

とは可能と考えらる。この意味では，ペアー住宅の供給は，老人住宅の供給という側面と，インフレを逆手にとった，より高い質（より広い住宅）の住宅の供給という二つの側面をもつことになる。

5. ペアー住宅設計上の留意点

老人の住宅の性能を考えるとき，人間が老いることが自明のことであり，また老人に近い体力の人や，病気の人などがいる場合もあり，住宅地および都市は，このような人々への考慮を優先してはらうべきであると考えられる。これまでの中層住宅では5階建のものまでエレベーターがなく，4,5階の妊産婦の流産が多いなどの問題もおきており，従来の住宅の性能についても反省すべき点が多々あると思われる。このような意味で老人のための住宅を考えることは，住宅の備えるべき最低水準を設定することになるはずである。

以下，豊里のペアー住宅の設計で考慮した住戸の各エレメントの条件を簡単に述べる。

住戸の共通部分

- 板の間，畳など仕上げ高さを同じにし，つまづかないようにする。
- 浴室，便所への通路には常夜灯（フット・ライト）をつける。
- スイッチ，コンセントは低目につける。
- 老人は持ち物が多いため，収納スペースを大きくとる。

居間・寝室

- 十分な日照，通風の得られる場とする。
- 老人の快適温度は3～4℃高いため，広縁をもうけ，2重窓とする。
- 仏だん，床の間，壁材料を考慮し，落ちついた空間とする。

便　所

- 洋式便器を用い，便座の高さを考慮する。
- 立ち上りやすいよう，手すりをつける。
- 便用頻度が高いため，居室の近くに設ける。
- 戸は安全で開けやすい引き戸とする。
- 暖房がつけられるよう，コンセントをつける。

浴　室

- 浴漕はうめ込み式で立上りを低くし，入りやすくする。
- 壁ぎわに手すりを設ける。
- 戸は安全で開けやすい引き戸とする。
- 中で倒れたときのため，隣戸への連絡ブザーをつける。
- 補助暖房ができるようにする。
- 浴漕のなかで座れるようにする。
- 床は滑らない材料を用いる。

バルコニー

- 奥行きの広い（1.5m）のバルコニーにする。
- フラワー・ボックスなど土いじりのできる場にする。

住　棟

- 階段は標準より踏み面が広く，勾配をゆるやかにする。
- 階段のノンスリップは目立つものにする。
- 階段には，つかまれるよう手すりをつける。
- 1階は斜路をもうけ，車椅子で出入りできるようにする。

屋外ほか

- 老人用の集会施設をもうける。
- 診療所を団地内にもうける。
- 共同の貸し花壇を設置し，花いじりができるようにする。
- 屋外には，ベンチ，アズマ屋など老人のいこいの場をつくる。

以上，ペアー住宅の考え方について簡単に述べてきたが，今後も来年1月完成までに，改善を重ねていくつもりでいる。公団としては，48年度も老人対策住宅の建設を進めるつもりでいる。

なお老人の住宅のあり方については神戸女学院大学の池川清教授に，計画の段階から，ご指導をうけたことをつけ加えておきます。

（しゃもと　たかお　日本住宅公団大阪支所地区住宅課）

ニュータウンにおける老人福祉施設の問題 —泉北の場合

川 上 昌 男

1. ニュータウンの住宅構成と人口構成

ニュータウンにおける老人問題を考えるとき，まず，ニュータウンの住宅構成と人口構成の特殊性から，そのなかに占める老人の位置についてみてみる必要がある。

大阪府企業局が現在開発を行なっている泉北ニュータウンは住宅建設戸数56,000戸，計画人口約19万人の規模をもち，先に開発した千里ニュータウンと同様に，従来の団地のような母都市一辺倒の単なるベッドタウンではなく，片寄りのない，安定した，定住性の高い，独立性のある一つの住宅都市として計画されている。そのためには，居住者が各種社会階層に属し，適度に混合されていることが一つの理想である。そこで，千里，泉北ニュータウンでは，居住者の性格，すなわち世帯人員，収入，年令構成あるいは生活慣習や好みに応じて各種の住宅を準備し，積極的にその混在を図っている。これを世帯構成や年令構成からみると，一般世帯用，小世帯用，単身者用住宅などとなり，その他，いろいろの角度からみた住宅の種類分けができるが，建設主体を中心に泉北ニュータウンの住宅の種別をみてみると**第1表**のように計画されている。

このように，あらゆる面からみて片寄りのない，すなわち，人口構成上からも安定した都市の建設を目標に住宅構成上の配慮を行なってきたニュータウンではあるが，現実には，その入居者の年令構成において，一般社会のそれとはかなり異なった状態になっている。泉北ニュータウンには現在約17,000戸，52,000余人が入居しているが，残念ながら現在のところ年令別の人口構成が詳細に把握されていない。しかし，千里ニュータウンと比較してみると，住宅構成において，公団住宅の全住宅中に占める率が少なく，逆に独立住宅が多くなっており（第1表参照），また，泉北ニュータウンの一角には単身勤労青少年約一万人の町「ヤングタウン」が建設されているため，老人および15～29才の青少年層の全人口に占める率が幾分多くなり，年令構成上千里ニュータウンよりは若干一般社会に近い状態になることが予想されるが，老人問題を考える上では大勢には影響がないため，千里ニュータウンを例にとりニュータウンの人口構成をみてみると**第2表**のようになる。

これによると，男性では30～39才が最も多く，女性では30～34才が最も多い。また0～9才の児童が非常に多いのに比べ，50才以上の占める率は極端に少なくなっており，65才以上の老人はわずかに約2.2％を占

第1表 ニュータウンにおける住宅構成

種別	泉北ニュータウン		千里ニュータウン	
	戸数(計画)	割合 %	戸数	割合 %
公営住宅	15,000	26.8	10,382	27.8
公社住宅	8,900	15.9	5,863	15.7
公団住宅	9,400	16.8	10,292	27.6
給与住宅その他	10,800	19.3	4,720	12.6
独立住宅	11,900	21.2	6,073	16.3
合計	56,000	100	37,330	100

注．泉北の給与住宅その他10,800戸の内 2,800戸はヤングタウンの単身者10,000人を一世帯当りの平均人口3.5人で換算したものである。

第2表 千里ニュータウンの人口構成（昭和46年12月末現在）

男 人数	男 %	年令	男女合計 人数	男女合計 %	女 人数	女 %
87	0.1	～80	280	0.2	193	0.3
162	0.2	79～75	473	0.4	311	0.5
271	0.5	74～70	804	0.7	533	0.9
409	0.7	69～65	1,097	0.9	688	1.1
794	1.3	64～60	1,721	1.4	927	1.5
1,041	1.8	59～55	2,133	1.8	1,092	1.8
1,336	2.3	54～50	2,664	2.2	1,328	2.2
2,633	4.4	49～45	4,742	4.0	2,109	3.5
5,243	8.8	44～40	9,032	7.5	3,789	6.3
8,539	14.4	39～35	15,325	12.8	6,786	11.2
8,189	13.8	34～30	17,218	14.4	9,029	15.0
4,251	7.2	29～25	11,225	9.4	6,974	11.5
3,049	5.1	24～20	7,247	6.1	4,198	7.0
2,388	4.0	19～15	5,121	4.3	2,733	4.5
4,073	6.9	14～10	7,940	6.6	3,867	6.4
7,629	12.9	9～5	14,783	12.3	7,154	11.8
9,265	15.6	4～0	17,948	15.0	8,683	14.4
59,359	100	計	119,753	100	60,394	100

めるにすぎない。このことは，入居者の多くが結婚後間もない若い夫婦によって占められていることを示している。その原因としては，

イ　千里ニュータウンの歴史が浅く，入居者はすべて入居後10年以内である。

ロ　1戸当りの規模が小さい集合住宅の占める率が大きい。

ハ　大部分が賃貸住宅であり，持家指向者が多く，転出入率が高い。

などが考えられるが，つまるところは，独立住宅と集合住宅の居住人口の年令構成差ということができる。独立住宅の方が一般社会の人口構成の型に近いことはいうまでもない。すなわち，ニュータウンにおいては，独立住宅の全住宅中に占める率の多少によって人口構成が異なり，とくに社会福祉の対象となるべき児童，老人の全人口に占める率が左右される。いいかえれば，集合住宅には乳幼児人口が非常に多く，逆に老人人口が少ないが，これが，ニュータウンの人口構成を一般社会のそれと異にしている原因となっている。

2.　ニュータウンにおける老人問題

以上述べたように，ニュータウンにおける老人数は一般社会に比較して非常に少ないが，集合住宅の構造からして，数は少なくとも老人がこのなかに他の家族と同居していることに問題があることが多い。家族形態の近代化にともなって，現在の日本では多くの老人問題を発生しているが，この新らしい住居形式を中心とした生活様式の変化は，とくに適応能力を失いつつある老人にとって問題をおこしやすい。

団地に居住する老人と一般住宅地区に居住する老人について比較調査を行い，団地居住老人の健康と生活における社会医学的問題点を追求した長谷川豊氏は，その調査結果から，

イ　団地居住老人は一般住宅地区居住老人と比べて自覚症状保有率が高く，身体不自由，介助の必要を訴えるものが多い。また団地老人の家族は一般住宅地区老人の家族と比べて，老人の精神機能低下の程度を強く感じているものが多い。

ロ　団地老人のこのような健康上の問題は，老人と家族との間の心理的緊張が団地においてとくに高いことからもたらされたものである。

ハ　団地においてこのような家族関係の緊張がとくに高い理由は，経済的自立性に乏しく，家族への依存度が高い団地老人の社会的性格に加えて，団地老人世帯の生活水準の低さ，団地居住者（とくに子夫婦）の夫婦中心主義的生活態度，住居の狭さ，老人の社会性を乏しくしている団地の社会構造等の社会環境条件が緊張を増幅していることによるものである。

と結んでいる。

このほか，賃貸住宅居住者には持家指向者が多く，転出入率が高い，と先に述べたが，とくに公営住宅においては，生活力の弱い世帯がこげつき，生活水準の低い老人世帯がふえてスラム化することが将来の問題として懸念される。

3.　泉北ニュータウンの老人福祉施設

一般に，老人福祉施設としては，つぎのような種類が考えられる。

①　養護老人ホーム
②　特別養護老人ホーム
③　軽費老人ホーム
④　有料老人ホーム
⑤　老人福祉センター
⑥　老人クラブセンター（老人集会所）

このうち①～④は収容施設であり，⑤⑥は居宅老人のための施設である。このほか，最近，老人対策上最も重要な課題として採り上げられてきた医療リハビリテーション施設として，

⑦　老人病院
⑧　老人リハビリテーションセンター
⑨　老人デイホスピタル

などが考えられる。⑧は老人の損傷機能の回復を目的とし，入院施設も備えられるものであり，⑨は比較的元気な老人が昼間だけ通ってくる医療施設である。



第1図　泉北ニュータウンの老人福祉施設

では，これらの老人福祉施設が泉北ニュータウン計画のなかでどのようにとらえられているかをみてみよう。

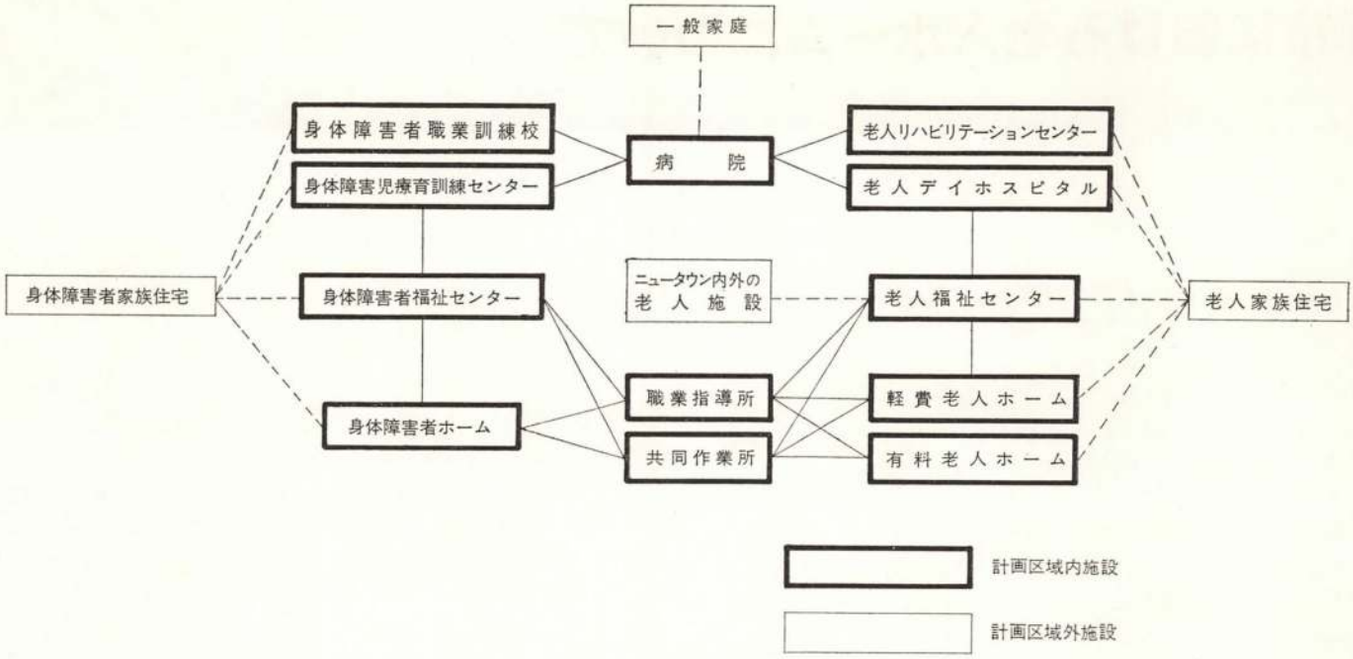
泉北ニュータウンのなかに現在開設されている施設は，つぎの施設である（**第1図**）。

①　老人福祉センター
　　延寿荘……設置主体：大阪府
　　経営主体：社会福祉法人厚生会
②　軽費老人ホーム
　　軽費老人ホーム延命荘（寮室50戸）
　　……設置経営主体：社会福祉法人さつき会

老人福祉センターは，居宅老人に対しては各種の相談に応ずるとともに，健康の増進，教養の向上およびレクリエーションのための便宜をはかる総合的施設である。この施設がニュータウンの開発当初に設置されたことは，ニュータウンの老人対策が当面即居宅老人対策であることからして，当を得た施設誘致であったといえよう。

一方，軽費老人ホームなどの収容施設は，ニュータウン居住者からは必ずしも当面必要とされない施設ではあるが，10年あるいは20年の後にはニュータウン側からの需要も発生するものと考えられる。また，かつては福祉行政の貧困からあたかも隔離施設のように扱われてきたこれらの施設が，ニュータウンのなかにあるということは施設の利用者にとって，周囲から孤立することなく，健全な通常社会コミュニティの構成員として参加できるという喜びがあり，非常に好ましい結果を生むということが，千里ニュータウンの例などから明らかになっている。

ニュータウン居住老人が現在最も希望する施設は老人集会所である。ニュータウンにおいては老人クラブ活動が盛んであり，また，加入率も一般住宅地区に比べて高い。泉北ニュータウンでは各住区に1～3の老人クラブが結成されており，現在600～700人の老人が加入しているものと推測される。しかし，その活動の拠点となる集会所は老人専用のものではなく，企業局が住区単位に設置した近隣センター内の管理棟の集会室や，集合住宅の集会所が利用されている。ということは，月に数回決められた日時のみにそこが老人の場所として提供されるにすぎない。老人集会所は老人ないしはクラブ自身の活動の場であって，何かを与えられるのではない。老人が自分たちの場所として所属感をもち，その運営に責任をもつ自発性を育てる場所であり，いつ何時でも好きなときに自



第2図　泉北光明池社会福祉施設機構図

由に出入りできる場所でなければならない。彼らはそこで家族以外に自分の存在をみとめてくれる仲間を見出だすのである。泉北ニュータウンでは前述の軽費老人ホームに隣接して堺市立の老人福祉センターが現在建設中であるが，機能的には老人集会所に近いものであり，泉北ニュータウンで最初の老人集会所ということができよう。地元堺市では，昭和45年度より府の補助金等を利用して，1小学校区1老人集会所を目標として建設事業が進められており，泉北ニュータウンにおいてもこの基本計画に従って設置する方向で種々検討がなされている。府企業局では老人施設にかぎらず，将来の社会の要求に即した対応ができるよう，公益的施設用地として適宜保留地を確保している。

さらに老人施設を考えるとき，先に問題点で述べたが，老令と病気，身体障害との相関関係を忘れてはならない。昭和41年2月に吹田市の保健所が行なった団地調査によれば，公団住宅居住者の65才以上の老人のうち21%が身体不自由者であり，また府営住宅居住者では26%となっている。このような老人に診療の機会を与えなければならない。老人医療の無料化はようやく実施されてはきたが，一方において医療機関の不足がうきぼりにされてきている。

4. 泉北光明池社会福祉施設構想

こうして老人福祉をはじめとする各種社会福祉対策に対する関心が高まってきたなかで，泉北ニュータウンの一角に新らしい基本構想に立脚した社会福祉施設センターの建設計画が企業局において検討されている。とはいっても，現時点ではあくまでも私案の域を出ず，その計画の具体化，さらには実施という面は，今後の行政サイドの専門的な判断と，その上での取り組み方にまたねばならない。

ここで，この構想の一端を紹介すると，それは泉北ニュータウンの光明池地区の一角約10haのところに，これまで単独の目的をもったものとして個々に計画，設置されてきた老人，身障者などのための各種社会福祉施設を，互いに密接な関係をもった施設として総合的にとらえ，しかも，これらの施設が周囲から孤立することなく，これらを利用する人々が健全な通常社会コミュニティの構成員として参加でき，また一般住民にも広く利用されることによって，それらの人々の福祉にも貢献しうるような新らしい社会福祉施設を建設しようというものである。

そこに含まれる施設として，つぎのようなものが考えられる。

① 病　　院
② 老人リハビリテーションセンター
　 老人デイホスピタル
③ 老人福祉センター
④ 軽費老人ホーム
　 有料老人ホーム
⑤ 職業指導所
⑥ 共同作業所
⑦ 身体障害者福祉センター
⑧ 身体障害者職業訓練校
⑨ 身体障害児療育訓練センター
⑩ 身体障害者ホーム

これら施設相互の関連は**第2図**の機構図の通りであるが，この地区が一般社会から孤立した特殊な社会にならないよう，レクリエーション・エリアを一般人にも開放したり，屋外児童施設（ミニ動物園など）を介在させるなどの工夫も必要である。

しかしながら他方において，これら福祉施設は小規模なものとして健全社会のなかに分散すべきであるとする考え方もあり，この泉北光明池の社会福祉施設をいかなる内容にしろ，実施するかしないかということも含めて，今後十分時間をかけて検討していかなければならない。

5. おわりに

以上泉北ニュータウンにおける老人福祉施設を中心に，ニュータウンにおける老人対策について述べてきたが，いずれにしても今までニュータウン計画のなかで老人に対する配慮が十分なされてきたとはいえず，また，老人施設についても積極的に計画がなされてきたとはいえない。しかし，老人はその家族や知人の附近において居住したいという本来的な要求をもっているということを認識し，老人を地域社会から孤立させることなく，婦人や青少年がボランティアとして老人クラブの活動を援助したり，また反対に老人クラブのメンバーが地域社会活動の参加したり奉仕活動を実施しうるような，健全で暖かい社会を生み出せるニュータウン造りに開発者，入居者等関係者が力を合せて努めなければならない。

参考文献

日衛誌　第23巻第3号　1968年8月
「団地老人に関する社会医学的調査研究」　長谷川　豊

（かわかみ　まさお　大阪府企業局宅地開発部企画課企画第1係長）

都市における老人ホームについて

角野知義

はじめに

昨年12月に中央社会福祉審議会老人福祉専門分科会が「老人ホームのあり方」に関する中間意見（以下「中間意見」という）をまとめた。

ご承知のとおり，この中間意見は，今後の老人ホームのあり方について「施設体系」，「設備・構造」，「運営・管理」の問題にわけてかなり大胆な構想を展開している。

この中間意見をめぐって，各方面において種々の論議がかわされていることと思われるが，本テーマにおいても，中間意見と無関係に述べていくことはできないので，これと関連させながら，以下二，三の問題について考えていきたい。

もとより，充分な論議を深めたわけではないので，「雑感」といったような程度で受けとめてもらえれば幸いである。

1. 老人ホームと地域社会（地域性）

従来の老人福祉対策の考え方は「施設老人福祉対策」と「在宅老人福祉対策」と明確に区別されてきたが，老人世話ホーム（軽費老人ホームB型）の構想や特別養護老人ホームにおける在宅老人を対象とした機能回復訓練の実施，また民間ベースによって一部で行なわれている老人ホームの給食設備を利用した在宅のねたきり老人や一人暮らし老人に対する給食サービスの実施等を契機として老人ホームの地域社会との結びつきということが，にわかに具体性を帯びてクローズ・アップされてきたように思われる。

中間意見は老人ホームのこの地域性という問題について，老人ホームの設備・構造のあり方のなかで，地域利用に供する設備として「集会室，ワーク・ルーム，食堂等老人ホームが地域社会のための施設として，地域老人のニードに応えうるような必要な設備の整備に努めるべきである。」とその考え方の一端を述べている。また中間意見は，直接この点にふれてはいないけれども「老齢福祉年金制度の成熟，住宅対策，在宅老人福祉対策の充実に伴い，老人ホームもまた新しい姿が指向されるべきである。」とその提出理由で述べ，また「老人ホームの体系は，ケアーを要する老人は所得の如何に拘らず，その心身機能の状態に応じて入所できるような体系へ移行させ」，「老人ホームを収容の場から生活の場へ高め」ること，さらに「心身機能の変化に対応する処遇を確保し，また生活環境の変動を喜ばない老人の特質を考え，さらに施設経営の合理化等の観点から同一敷地内に各種の老人ホームが有機的に設置されるコンビネーション・システムの必要性が今後益々増大することとなろう。」と施設体系のあり方のなかで述べているように，これら一連の記述によって，

(1) 老人ホームへの入所対象者の顕在化
　老人ホームへの入所要件における経済的要件を取り除くことによって，これまで統計的に出されている，いわば潜在的な入所希望者のほとんどが，その対象となるのではないか。

(2) 入所希望者の増加
　老人ホームを「収容の場」から「生活の場」へ高めることによって，従前の老人ホームのイメージが転換し，老人にとっても若い人々にとっても，老人ホーム自体が身近な存在となり，入所希望者がさらに増加するのではないか。

(3) コンビネーション・システムによる効率的利用
　生活環境の変動を喜ばない老人の特質等を考えてコンビネーション・システムを採用していくことは，同一敷地内に各種の老人ホームを設置するというよりも，都市の場合，用地の効率的な利用という点からもむしろ，同一建物内への各種の老人ホームの設置が促進されていくのではないか。

おおむね以上のようなことが起りうるのではないかと思われる。そしてこれらのことが結果として，老人ホームの地域性ということと無関係に考えていくことはできないのではないか。むしろ，今後の老人ホームの設置にあたっては，これを促進し従来の「施設」と「在宅」といった関係を越えて，老人ホームは，地域における在宅老人との深いかかわりあいのなかで，これを一体的に考えていく方向を示しているのではないかと思われる。このことは，地域社会との交流が少なく，地縁，血縁関係がうすいために，ともすれば，孤独におちいりがちな在宅の老人に対する福祉対策の充実が強く叫ばれている都市においては，今後，大きな意味をもつものといえよう。

2. 老人世話ホーム（軽費老人ホームB型）

現行の老人ホームの体系のなかで最も地域性の強いホームは，老人世話ホームである。この世話ホームは，いわゆる介護人つきアパートといわれ，昭和46年度社会福祉施設整備費のなかに組みこまれたことは，記憶に新らしいところである。（今回の中間意見においては，世話ホームは「かなり介護を要するが，自炊をたてまえとするホーム」とされている）

このホームの特徴は，(1)一人暮らし老人 (2)健康な老人 (3)自炊がたてまえ (4)家賃的な利用料を支払う (5)国からの運営費（措置費）がない (6)所得制限がほとんどない (7)職員配置が少なくてすむ (8)在宅老人福祉サービスが受けられる (9)ホームからの就労が可能，等従来の老人ホームのイメージを転換した施設である。

世話ホームが，地域性が強いと考える理由は，上記の特徴のほかに，国における設置基準が単独設置では50人以上の定員が必要であるが，他の老人福祉施設と併設する場合は，20人以上で設置が認められるという点である。

大阪市においては，いち早くこれらの点に着目して，居室35，老人福祉センター併設の世話ホームを公立施設として，全国ではじめて設置し，本年1月17日から供用を開始したところである。

供用開始後，未だ日も浅く，早々に結論をくだすことは危険ではあるが，この世話ホームが先に述べたように従来のイメージを転換させるユニークな施設であるにかかわらず，現時点においてかなりの問題点が提起されてきているので，大阪市の実情等をふまえてつぎにふれてみたい。

(1) 自炊について

世話ホームが自炊をたてまえとすることは，利用老人が健康であるということを前提とし，病気などのときに寮母が一時的に食事の世話を行なうことになっている。これについては，(ア)夫婦・女の場合はともかく男の場合や高齢者の場合，自炊の習慣を身につけている老人が少ない。(イ)したがって，食事の偏りや場合によっては1食～2食を抜くことが考えられ，老人の栄養や健康管理の面で不安がある。(ウ)自炊をしていても老人のことであるので，ガス器具等の使用による事故の不安がたえずつきまとう。(エ)在宅老人福祉サービスのなかで，一人暮らし老人やねたきり老人に対する給食サービスが取沙汰されていることへの若干の疑問。

以上のような問題があり，実際には大阪市においては，2～3人の老入に対して，常時給食を行なわなければならない。また，山梨県の民間の世話ホームについても，ほとんど全員から実費を徴収し，一日3食の給食を実施しているような状態である。

(2) 職員の配置基準について

健康な老人を対象としているため，世話ホームにおける職員の配置基

老人福祉施設の設備・運営基準

施種	設備関係			運営関係			入所条件
設類	面積・建設費	負担割合	設備基準	1人1ヵ月当りの経費	負担割合	職員の基準	
特別養護老人ホーム	1人当り19.8㎡ (50人・B地区) ・延面積 990㎡ ・単価 { 52,400円 / 4,320円 ・経費 57,150千円	(国) 1/2 (都道府県) ・ 1/4 (設置者) ・ 1/4	(1)1施設の定員は50人以上 (2)構造は、耐火建築(鉄筋コンクリート)ただし、平屋の場合は簡易耐火(ブロック)で可 (3)1居室に収容する人員は8人以下 (4)居室の面積は1人当り4.95㎡以上 (5)廊下の巾は1.8m、中廊下は2.7m以上 (6)その他、建築基準法準用	〔50人施設〕－甲地 生活費 15,100円 事務費 37,300円 計 52,400円 〔100人施設〕－甲地 生活費 15,100円 事務費 32,000円 計 47,100円	(国) ・ 8/10 (都道府県または市) ・ 2/10	寮母定数 5：1 〔50人施設〕……18人 〔100人施設〕…31人	〔公的措置〕 (1)身体上又は精神上の著しい障害のため常時臥床 (2)常時臥床ではないが、日常生活の大半を他の介助による
養護老人ホーム	1人当り 15.8㎡ (50人・B地区) ・延面積 790㎡ ・単価 { 45,900円 / 4,120円 ・経費 40,250千円	上に同じ	(1)特養の(1)に同じ (2)構造は簡易耐火(ブロック)以上 (3)1居室に収容する人員は4人以下 (4)居室の面積は1人当り3.3㎡以上 (5)廊下の巾は1.3m、中廊下は1.8m以上 (6)その他、建築基準法準用	〔50人施設〕－甲地 生活費 12,200円 事務費 18,900円 計 31,100円 〔100人施設〕－甲地 生活費 12,200円 事務費 15,300円 計 27,500円	上に同じ	寮母定数 15：1 〔50人施設〕……10人 〔100人施設〕…16人	〔公的措置〕①および②の両方を満たすこと ①身体上、精神上又は環境上の理由 (1)身体上、精神上の障害 (2)家庭環境 (3)住宅事情 ②経済的理由 (1)生活保護 (2)市町村民税均等割以下 (3)災害等での所得変動
軽費(A型)老人ホーム	1人当り 16.5㎡ (50人・B地区) ・延面積 825㎡ ・単価 { 41,700円 / 4,120円 ・経費 38,550千円	上に同じ	(1)特養の(1)に同じ (2)養護の(2)に同じ (3)建物の面積は1人16.5㎡以上 (4)居室は1人1室で6.6㎡以上 (5)その他、建築基準法準用	〔50人施設〕－甲地 生活費 12,200円 事務費 16,800円 計 29,000円 〔減免〕 12,400円～15,400円 〔利用者負担〕 13,600円～16,600円	(国) 事務費減額の1/2 (都道府県) 事務費減額の1/2 (利用者) 生活費と事務費の一部	寮母定数 20：1 〔50人施設〕…… 9人 〔100人施設〕…13人	〔契約〕 生活費に充てることの所得等が利用料の1.5倍(約4万4千円)以下で (1)身寄りのない者 (2)家族との同居困難
軽費B型(世話ホーム)老人ホーム	1人当り 24.8㎡ (50人・B地区) ・延面積 1,240㎡ ・単価 { 41,700円 / 4,120円 ・経費 57,550千円	上に同じ	(1)独立施設50人、併設20人以上 (2)養護の(2)に同じ (3)建物の面積は、1人24.8㎡(7.5坪)以上 (4)居室は個室で単身用16.5㎡、夫婦用24.8㎡以上 (5)居室部門に調理設備設置 (6)その他、建築基準法準用	〔30人施設〕－甲地 7,800円～8,100円 〔50人施設〕 8,000円～8,300円	利用者負担	〔20人施設〕…… 2人 〔30人施設〕…… 3人 〔50人施設〕…… 4人 〔100人施設〕… 5人	〔契約〕 家庭環境、住宅事情等の居宅生活が困難な者 (自炊ができる程度の健康状態にある者)
老人福祉センター	1ヵ所 495.5㎡以上 経費(定額) 7,050千円	(国) 2,350千円 (都道府県) 2,350千円 (設置者) 2,350千円	(1)建物は、簡易耐火(ブロック)以上 (2)建物面積は495.5㎡(150坪)以上 (3)浴場は、公衆浴場法の適用	〔利用料〕 無料または実費	設置者負担	・専任の長 ・相談、指導を行なう職員 ・その他必要な職員	地域の居宅老人の利用

(注) 資料 老人問題その背景と対策(P56～57) 財団法人老人福祉研究会

準がきわめて低く算定されているが，これについては，(ア)先の給食とも関連して，大阪市の場合，前述のとおり常時2～3人の給食を行なっているため，寮母2名が三度の食事を準備するために買物，調理，経費の計算などにかなりの手をとられた。(イ)老人世話ホームが，介護人付のアパートといっても，あくまでも老人ホームであり，ホームの管理上老人の緊急時に備えて夜間の宿直，休日における日直の体制を組む必要がある。(ウ)老人の心身機能の衰えによって介護密度が次第に増大していく。

(3) 利用料について

現在の世話ホームは，ホーム建設にともなう若干の原価償却的な経費と定員規模による職員の標準配置基準によって算定された定額6,000円を加えた経費を利用料として老人から徴収して施設の運営にあたっているが，上記(1)，(2)の問題点が解決されない限り，経営上の不安はきわめて大きい。また老人の側からみれば，利用料の割に受けるサービスが他の老人ホームとくに軽費老人ホームA型と比して低いのではないか。

(4) 設置基準について

世話ホームの設置基準は，前述のとおり，単独の場合50人以上，併設の場合は20人以上とされているが，老人福祉センターとの併設の場合を除いて，他の老人ホームとの併設の場合は，それぞれの設置基準が50人であるためにこれを満たすことができなければ設置できないことになる。

(5) 施設の移行について

老人の心身機能の衰えによって，いずれは特別養護老人ホームへ移行しなければならないケースが生じてくる。世話ホームにおいても例外ではなく，大阪市のような場合，この問題は深刻である。

3. 都市における老人ホームの設置傾向について

現在の老人ホームの種別は，特別養護老人ホーム，養護老人ホーム，軽費老人ホームAおよびB型の4種類となっているが，中間意見による今後の施設体系の方向は，老人ホームの入所要件における経済的要件を取り除くことによって，老人の心身機能の状態に応じて，濃厚な介護を要する老人のためのホーム（現行 特養相当），かなり介護を要する老人で給食をたてまえとするホーム（現行 養護および軽費A相当），かなり介護を要するが自炊をたてまえとするホーム（現行 軽費B相当）の3種類に統合しようとしている。

このような趨勢のなかで，今後都市における老人ホームを設置していく場合，最もニードの高いホームは，特別養護老人ホームを別とすれば，世話ホームではないかと思われる。

しかし世話ホームについては，前記2.のような問題があり，その建前と実態において，かなりの開きがあるので，その設置を促進することは，現状において相当の負担を覚悟しなければならないであろう。世話ホームの問題点を解消する方策は，一つは，コンビネーション・システムの促進であろうし，一つは，既存のホームに対しては，特別の基準を設けること，一つは濃厚な介護を要する老人のための居室部分をあらかじめ設けていくよう設置基準を改正する，といったような方策が考えられる。

いずれにしても，老人ホームが地域社会との密接な関係のもとに設置されていくならば，老人ホームの老人達は，単にホームの収容者としてだけではなくて，地域社会を構成する一員として位置づけされていくであろうと思われる。したがって，今後の都市における老人ホームの設置は，このような考え方を前提として，世話ホームを中心として設置されていくであろうし，また，在宅老人の地域福祉活動の拠点である老人福祉センターとの併設ともあわせて，その設置が，さらに，促進されていくであろうと思われる。

むすび

以上都市における老人ホームについて，中間意見の構想と老人世話ホームを中心に述べてきたわけであるが，何度も繰り返してきたように，今後の老人ホームが，地域社会と密接な関係をもちつつ設置されていくことは，ほぼ間違いのないところであろう。そうした場合，中間意見を含めた現在の老人ホームの体系を，老人ホームの地域性という観点から，さらに深く検討されてよいのではないかと思われる。

(かどの ともよし 大阪市民生局福祉部老人福祉課長)

日本建築総合試験所だより 10

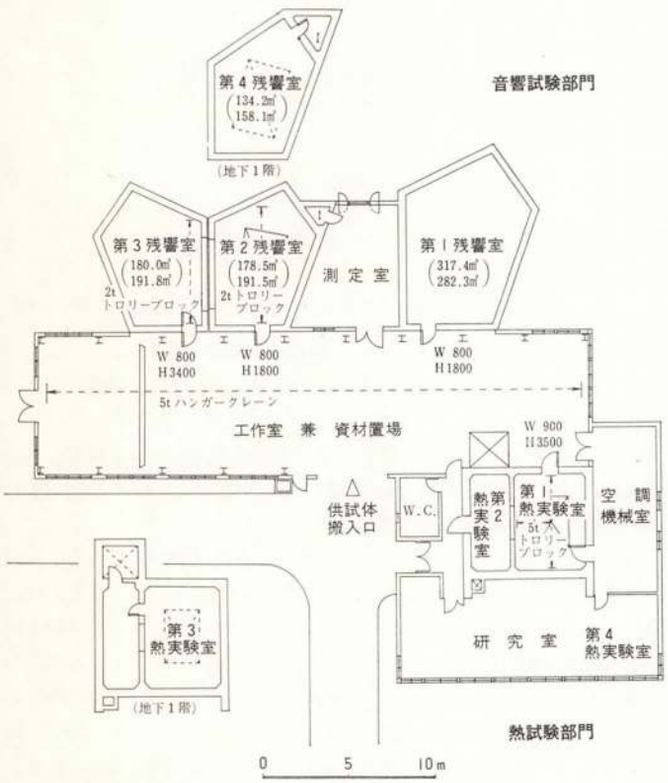
GENERAL BUILDING RESEARCH CORPORATION

本試験所：〒565 吹田市藤白台5丁目125 電話／千里局 (068) 72−0391代表
大淀分室：〒531 大阪市大淀区長柄西通2丁目35 電話／大阪 (06) 351−7217

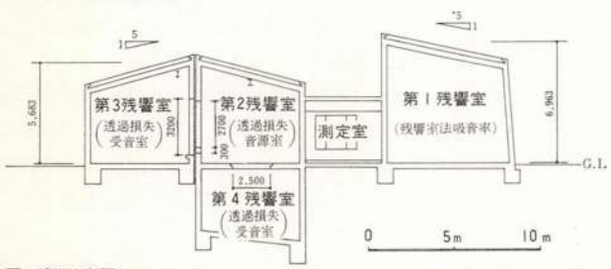
試験装置紹介・その10

第1〜第4残響室

当試験所の音響実験棟は各種建築材料の音響試験のために計画され，その建物は併設の熱実験棟とともに昭和47年（1972）9月に竣工した。**第1図，第2図**に示すように，第1〜第4までの残響室および測定室の5室からなる音響実験棟は，資材置場を介して熱実験棟と対向していますが，自動車通過音など外部から伝搬する騒音，振動を防ぐため，幹線道路から最も奥まった場所に位置しています。また，熱実験棟の空調機械室に対しても，音響測定時におこる有害な騒音発生，振動伝達の防止を意図して，コンプレッサ・空調器の足に防振ゴムをかませると同時に，周壁を吸音性仕上げとし，床四周にはエラスタイトゴムによる縁切をおこなっています。一方，音響実験棟自身も構造体を通じて固体伝達音が他室での測定に影響を与える恐れがあるため，第1・2・4残響室および測定室の4室，第3残響室，資材置場の三者をそれぞれ構造的に独立させ，その境界にはネオプレンゴム，空気層，エラスタイトゴム，スタイロホーム，コーキング材を用いたジョイントを適宜使用しています。



第1図 音響・熱試験棟平面



第2図 残響室断面

第1表 各残響室の室表面積・室容積など

室名	床面積 (㎡)	室表面積 (㎡)	室容積 (㎥)	規定室容積 (㎥) 建築基準法	JIS原案	ISO推奨
第1残響室	55.0	282.3	317.4	—	>150	>200
第2 〃	35.1	191.5	178.5	>100	>100	>100
第3 〃	35.3	191.8	180.0	>100	>100	>100
第4 〃	34.8	158.1	134.2	>100	>100	>100

そして，以上のような騒音・振動の伝搬防止を計った結果，現在音響実験棟においては測定上有害な暗騒音上昇もなく，第1残響室は残響室法吸音率，第2・3残響室では壁・サッシ窓等の音響透過損失（遮音），第2・4残響室は床・天井の衝撃音試験および音響透過損失測定をおこなっています。個々の残響室がもつ室の規模は第2図および**第1表**に示すとおりですが，これら4室は室の良好なる拡散性と長い残響時間を必要とするため，不整五角形の平面と傾斜天井あるいは傾斜壁をもち作為的に室空間を不規則にしています。また，壁の内面は300mm厚のコンクリート打放しの上にペイントを塗り反射性仕上げにしています。

以下，各残響室の使われ方をご理解いただくため，残響室を使用しておこなわれる音響試験をご紹介します。

残響室法吸音率

残響室内の試料あり，なしに応ずる残響時間の差から，計算によって試料の吸音率を求めます。試料のあらゆる方向から音が入射するのでランダム入射吸音率ともいいますが，公刊されている吸音率データはすべてこの値であり，建築音響設計の吸音力計算に用います。

本試験所では室容積の最も大きい第1残響室を用いて，壁・天井・床などの建築構成部分，椅子などの家具類，敷物・カーテンあるいは人物などの吸音率もしくは吸音力を求めることができますが，なお，試験依頼が輻輳する場合は第2，第3残響室も規定に沿う室容積をもっていますので，これらの部屋でも残響室法吸音率測定が可能です。

本装置ではJIS A 1409「残響室法吸音率測定方法」，ISO R−354 1963にもとづく試験ができます。

試料面積……8.5〜12㎡（床置あるいは壁面への固定）
必要供試体数……1体以上

界壁の透過損失

2つの残響室の一方を音源室，他方を受音室とする2室の界壁開口部に一般壁，サッシ窓，扉，遮音パネルなどの供試体を装着し，その遮音量（透過損失）を測定します。当試験所ではこの測定のために，第2，3，4残響室を使用します。すなわち残響室の使用方法は第2図にも示したとおり，第2残響室を音源室とし，供試体が壁の場合は第3残響室を，床あるいは屋根の場合は第4残響室（地下）を受音室とします。

本装置でおこなう試験としては，建築基準法にもとづく建設省告示第108号「遮音性能試験方法」，ISO R−140 1963，JIS A ○○○○原案があります。

なお，本試験のうち，第2，第3残響室を用いる音響透過損失試験は昭和48年1月をもって建築基準法にもとづく界壁の遮音構造指定に関して，建設省指定試験機関となりました。

供試体寸法……壁：H 2.55m×W 4.15m
床：H 2.65m×W 4.15m
必要供試体数……1体以上

床の衝撃音試験

第2，第4残響室の開口部に床または天井の供試体を設置し，あるいは常設のコンクリート製フタの上にカーペットを敷くなどしてその上でISO規格にもとづく衝撃音発生器（タッピングマシン）を駆動させます。階下（第4残響室）における平均音圧レベルを求めますが，階上での衝撃に対する床・天井構造の音響遮断性能を試験します。なお，本試験方法はISO R−140 1963にもとづくものであります。

供試体寸法……L 2.65m×W 4.15m（但し，カーペットなど敷物の場合はL 1.00m×W 0.8m）
必要供試体数……1体以上

ニュース

昭和48年度収支予算および新評議員決まる

3月30日大阪大林ビルディング会議室において第25回理事会を開催，昭和48年度収支予算（収支各205,000,000円）および新評議員85名の委嘱が原案どおり承認可決されました。

構造設計とデータ

小池利男

構造設計の実務に携わる立場から，計画，計算，チェックなどに有効なデータを作成して設計の合理化と，合理化によって生ずる時間を，より多く構造計画と設計結果のチェックに割当てたいと常に考えている。

鉄筋コンクリートの構造設計についても，建築学会の規準式に基づく各種図表の利用，先輩諸氏のさらに合理化と使いやすさを考えた図表や数表などの利用，電子計算機による応力解析から断面設計までの一貫システム化などが合理化の対象としてあげられるが，当社においても，合理化の方法を試行錯誤の上，設計システムと各種データを作成して，実務に対処しており，作成した各種データを以下に紹介する。

■設計システムの概略

構造計画については，骨組の略検討プログラムなどを利用して，試算の合理化を図り，実施設計については，応力解析用プログラムと，水平荷重の再分配を行なって設計応力を算出するプログラムを作り，それらを利用して，応力解析結果の再検討や，設計者の判断による設計応力の決定が可能なシステムを採用している。電算機利用は，設計応力を算出し断面設計用書式にて出力するまでにとどめて，断面設計は，下記に紹介する各種データによって設計を行なっている。

■数表データ作成の意図

(1) 各部材の許容耐力を数表化して，許容耐力と設計応力を対比させ，許容耐力－設計応力＝余力，または，許容耐力／設計応力＝安全率の形で表現することができる。

(2) 数表は図表と異なり，必要な数値が記載されているゆえ，許容耐力を知ることが速く，かつ確実にできる。

(3) 以上の利点を利用して，断面設計に設計者の意図（各部材の連続性や，応力集中箇所の安全率確保など）を許容耐力にて表現できるとともに，設計結果のチェックや，設計変更時の処置を，敏速に行なうことができる。また構造計画資料としても有効である。

表1

L S **** RC-HARI NO TAIRYOKU ****

FC= 70. 140.
FT= 1.6 -2.4

D	KEI	T-	C	CHOKI 20.	25.	30.	35.	40.	45.	50.	55.	TANKI 20.	25.	30.	35.	40.	45.	50.	55.
50	22	2	2	5.0	5.0	5.0	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	7.5	7.5	7.5	7.6	7.6	7.6	7.7	7.7
50	22	3	2	7.3	7.4	7.4	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	11.0	11.1	11.1	11.2	11.2	11.3	11.3	11.4
		3	3	7.4	7.4	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	11.1	11.2	11.2	11.2	11.3	11.3	11.3	11.4
50	22	4	2	7.8	8.8	8.7	8.8	8.8	8.8	8.9	10.0	14.5	14.6	14.7	14.7	14.8	14.9	14.9	15.0
		4	3	8.8	9.7	9.8	9.9	9.9	10.0	10.0	10.0	14.6	14.7	14.8	14.8	14.9	14.9	15.0	15.0
		4	4	9.6	9.9	9.9	9.9	10.0	10.0	10.0	10.0	14.7	14.8	14.8	14.9	14.9	15.0	15.0	15.0
50	22	5	2	8.3	9.3	10.3	11.3	12.1	12.3	12.3	12.4	16.6	18.0	18.1	18.2	18.3	18.4	18.5	18.5
		5	3	9.3	10.3	11.2	12.1	12.3	12.3	12.4	12.4	18.1	18.2	18.3	18.4	18.4	18.5	18.5	18.6
		5	4	10.2	11.2	12.1	12.3	12.3	12.4	12.4	12.4	18.3	18.3	18.4	18.4	18.5	18.6	18.6	18.7
		5	5	11.1	12.1	12.3	12.4	12.4	12.5	12.4	12.5	18.4	18.4	18.5	18.5	18.6	18.6	18.7	18.7
50	22	6	2	8.6	9.8	10.8	11.8	12.8	13.7	14.6	14.7	17.3	19.6	21.5	21.7	21.8	21.9	22.0	22.0
		6	3	9.7	10.7	11.8	12.7	13.7	14.5	14.7	14.8	19.3	21.5	21.7	21.8	21.9	22.0	22.1	22.1
		6	4	10.6	11.7	12.7	13.6	14.5	14.7	14.8	14.8	21.3	21.8	21.9	22.0	22.0	22.1	22.2	22.2
		6	5	11.6	12.6	13.6	14.5	14.8	14.8	14.8	14.9	21.9	22.0	22.0	22.1	22.1	22.2	22.2	22.3
		6	6	12.6	13.5	14.5	14.8	14.8	14.8	14.9	14.9	22.0	22.1	22.1	22.2	22.2	22.3	22.3	22.3
50	22	7	2	8.9	10.1	11.3	12.3	13.4	14.3	15.2	16.1	17.9	20.3	22.5	24.7	25.2	25.3	25.4	25.5
		7	3	10.0	11.1	12.2	13.3	14.3	15.2	16.1	17.0	20.0	22.3	24.5	25.3	25.4	25.5	25.6	25.6
		7	4	11.0	12.1	13.2	14.2	15.2	16.1	17.0	17.2	22.0	24.3	25.4	25.5	25.5	25.6	25.7	25.8
		7	5	12.0	13.1	14.1	15.1	16.0	16.9	17.2	17.2	24.0	25.5	25.5	25.6	25.7	25.7	25.8	25.8
		7	6	13.0	14.0	15.0	16.0	16.9	17.2	17.2	17.3	25.6	25.6	25.7	25.7	25.8	25.8	25.9	25.9
		7	7	14.0	15.0	16.0	16.9	17.2	17.3	17.3	17.3	25.7	25.7	25.8	25.8	25.9	25.9	25.9	26.0
50	22	8	2	9.2	10.4	11.6	12.8	13.8	14.9	15.8	16.8	18.4	20.9	23.3	25.5	27.7	28.7	28.8	29.0
		8	3	10.3	11.5	12.6	13.7	14.8	15.8	16.7	17.7	20.5	23.0	25.3	27.5	28.8	28.9	29.0	29.1
		8	4	11.3	12.5	13.6	14.7	15.7	16.7	17.6	18.5	22.6	25.0	27.2	28.9	29.0	29.1	29.2	29.3
		8	5	12.3	13.5	14.6	15.6	16.6	17.6	18.5	19.4	24.7	27.0	29.0	29.1	29.2	29.2	29.3	29.4
		8	6	13.4	14.5	15.5	16.5	17.5	18.4	19.3	19.5	26.7	29.0	29.2	29.2	29.3	29.3	29.4	29.5
		8	7	14.4	15.5	16.5	17.5	18.4	19.3	19.7	19.7	28.7	29.3	29.3	29.4	29.4	29.5	29.5	29.6
		8	8	15.4	16.4	17.4	18.4	19.3	19.7	19.7	19.8	29.4	29.4	29.4	29.5	29.5	29.5	29.6	29.6

■RC梁の許容曲げ耐力数表

表1は学会規準（14条7式）に基づいて，各種配筋に応じて，その中立軸 Xn を求め，圧縮側許容モーメントC_1と引張側許容モーメントC_2のうち，小さいほうの値を許容曲げ耐力として示している。

梁成Dを定め，各種鉄筋径，本数に対応する梁幅20～55の場合の許容耐力を，左側に長期，右側に短期とわけて記載している。

例　使用鉄筋22φ，D＝50，B＝30，引張筋5本，圧縮筋2本の場合は，短期許容モーメント18.1tmである。

断面の種類はD＝40～150，B＝20～55の組合せたもの。コンクリートと鉄筋の組合せは，C180～240，SR24，SD30，SD35，SD40を，それぞれ組合せた許容耐力表を備えている。

■RC梁の許容せん断耐力表

表2は学会規準（16条22式）に基づいて，各種断面の許容せん断耐力 Q_A を示したものである。

梁成D，梁幅Bを定め，スターラップ9φと13φを使用して，各種ピッチの場合の，長期および短期の許容耐力を記載している。

例　B＝30，D＝50，M/Q＝1.05（α＝1.20）

スターラップ　9φ－150@の場合，短期許容せん断耐力は16.1tである。

断面の種類およびコンクリートと鉄筋の組合せは，許容曲げ耐力表と同量を備えている。

表2

B= 30　D= 50　FC210　SR24　FS= 7.00

			** 9 **								** 13 **							
M/Q	A		250	200	175	150	125	100	75	50	300	250	200	175	150	125	100	75	50
1.25	1.00	L	0.0	8.4	8.7	9.0	9.6	10.4	11.7	14.4	9.2	9.7	10.6	11.2	12.0	13.1	14.7	17.5	17.7
		S	0.0	12.6	13.0	13.6	14.4	15.6	17.6	21.6	13.7	14.6	15.8	16.7	17.9	19.5	22.1	26.3	26.6
1.26	1.05	L	0.0	8.8	9.1	9.5	10.0	10.8	12.1	14.8	9.6	10.1	11.0	11.6	12.4	13.5	15.2	17.9	18.1
		S	0.0	13.2	13.6	14.2	15.0	16.2	18.2	22.2	14.4	15.2	16.5	17.4	18.5	20.2	22.7	26.9	27.2
1.19	1.10	L	0.0	9.2	9.5	9.9	10.4	11.2	12.5	15.2	10.0	10.5	11.4	12.0	12.8	13.9	15.6	18.3	18.5
		S	0.0	13.8	14.2	14.8	15.6	16.8	18.8	22.8	15.0	15.8	17.1	18.0	19.2	20.8	23.3	27.5	27.8
1.12	1.15	L	0.0	9.6	9.9	10.3	10.8	11.6	13.0	15.6	10.4	11.0	11.8	12.4	13.2	14.3	16.0	18.8	19.0
		S	0.0	14.4	14.9	15.4	16.2	17.4	19.4	23.4	15.6	16.4	17.7	18.6	19.8	21.5	24.0	28.1	28.4
1.05	1.20	L	0.0	10.0	10.3	10.7	11.2	12.0	13.4	16.2	10.8	11.4	12.2	12.8	13.6	14.7	16.4	19.2	19.4
		S	0.0	15.1	15.5	16.1	16.9	18.1	20.1	24.1	16.2	17.1	18.3	19.2	20.4	22.1	24.6	28.8	29.1
0.99	1.25	L	0.0	10.4	10.7	11.1	11.7	12.5	13.8	16.5	11.2	11.8	12.6	13.2	14.0	15.1	16.8	19.6	19.8
		S	0.0	15.7	16.1	16.7	17.5	18.7	20.7	24.7	16.8	17.7	18.9	19.8	21.0	22.7	25.2	29.4	29.7
0.93	1.30	L	0.0	10.9	11.1	11.5	12.1	12.9	14.2	16.9	11.6	12.2	13.0	13.6	14.4	15.5	17.2	20.0	20.2
		S	0.0	16.3	16.7	17.3	18.1	19.3	21.3	25.3	17.5	18.3	19.6	20.5	21.6	23.3	25.8	30.0	30.3
0.88	1.35	L	0.0	11.3	11.6	11.9	12.5	13.3	14.6	17.3	12.1	12.6	13.5	14.0	14.8	16.0	17.6	20.4	20.6
		S	0.0	16.9	17.3	17.9	18.7	19.9	21.9	25.9	18.1	18.9	20.2	21.1	22.3	23.9	26.4	30.6	30.9
0.84	1.40	L	0.0	11.7	12.0	12.4	12.9	13.7	15.0	17.7	12.5	13.0	13.9	14.5	15.3	16.4	18.0	20.8	21.0
		S	0.0	17.5	18.0	18.5	19.3	20.5	22.5	26.5	18.7	19.5	20.8	21.7	22.9	24.6	27.1	31.2	31.5
0.79	1.45	L	0.0	12.1	12.4	12.8	13.3	14.1	15.4	18.1	12.9	13.4	14.3	14.9	15.7	16.8	18.5	21.2	21.4
		S	0.0	18.2	18.6	19.2	20.0	21.2	23.2	27.2	19.3	20.2	21.4	22.3	23.5	25.2	27.7	31.9	32.2
0.75	1.50	L	0.0	12.5	12.8	13.2	13.7	14.5	15.9	18.5	13.3	13.9	14.7	15.3	16.1	17.2	18.9	21.7	21.9
		S	0.0	18.8	19.2	19.8	20.6	21.8	23.8	27.8	19.9	20.8	22.0	22.9	24.1	25.8	28.3	32.5	32.8
0.71	1.55	L	0.0	12.9	13.2	13.6	14.1	14.9	16.3	18.9	13.7	14.3	15.1	15.7	16.5	17.6	19.3	22.1	22.3
		S	0.0	19.4	19.8	20.4	21.2	22.4	24.4	28.4	20.6	21.4	22.7	23.6	24.7	26.4	28.9	33.1	33.4
0.67	1.60	L	0.0	13.3	13.6	14.0	14.5	15.3	16.7	19.4	14.1	14.7	15.5	16.1	16.9	18.0	19.7	22.5	22.7
		S	0.0	20.0	20.4	21.0	21.8	23.0	25.0	29.0	21.2	22.0	23.3	24.2	25.4	27.0	29.5	33.7	34.0
0.64	1.65	L	0.0	13.8	14.0	14.4	15.0	15.8	17.1	19.8	14.5	15.1	15.9	16.5	17.3	18.4	20.1	22.9	23.1
		S	0.0	20.6	21.1	21.6	22.4	23.6	25.6	29.6	21.8	22.6	23.9	24.8	26.0	27.7	30.2	34.3	34.6
0.61	1.70	L	0.0	14.2	14.5	14.8	15.4	16.2	17.5	20.2	15.0	15.5	16.3	16.9	17.7	18.9	20.5	23.3	23.5
		S	0.0	21.3	21.7	22.3	23.1	24.3	26.3	30.3	22.4	23.3	24.5	25.4	26.6	28.3	30.8	35.0	35.3
0.58	1.75	L	0.0	14.6	14.9	15.3	15.8	16.6	17.9	20.6	15.4	15.9	16.8	17.4	18.2	19.3	20.9	23.7	23.9
		S	0.0	21.9	22.3	22.9	23.7	24.9	26.9	30.9	23.0	23.9	25.1	26.0	27.2	28.9	31.4	35.6	35.9
0.55	1.80	L	0.0	15.0	15.3	15.7	16.2	17.0	18.3	21.0	15.8	16.3	17.2	17.8	18.6	19.7	21.4	24.1	24.3
		S	0.0	22.5	22.9	23.5	24.3	25.5	27.5	31.5	23.7	24.5	25.8	26.7	27.8	29.5	32.0	36.2	36.5
0.52	1.85	L	0.0	15.4	15.7	16.1	16.6	17.4	18.7	21.4	16.2	16.8	17.6	18.2	19.0	20.1	21.8	24.6	24.7
		S	0.0	23.1	23.5	24.1	24.9	26.1	28.1	32.1	24.3	25.1	26.4	27.3	28.5	30.1	32.6	36.8	37.1
0.50	1.90	L	0.0	15.8	16.1	16.5	17.0	17.8	19.2	21.8	16.6	17.2	18.0	18.6	19.4	20.5	22.2	25.0	25.2
		S	0.0	23.7	24.2	24.7	25.5	26.7	28.7	32.7	24.9	25.7	27.0	27.9	29.1	30.8	33.3	37.4	37.7
0.47	1.95	L	0.0	16.2	16.5	16.9	17.4	18.2	19.6	22.2	17.0	17.6	18.4	19.0	19.8	20.9	22.6	25.4	25.6
		S	0.0	24.4	24.8	25.4	26.2	27.4	29.4	33.4	25.5	26.4	27.6	28.5	29.7	31.4	33.9	38.1	38.4
0.45	2.00	L	0.0	16.7	16.9	17.3	17.9	18.7	20.0	22.7	17.4	18.0	18.8	19.4	20.2	21.3	23.0	25.8	26.0
		S	0.0	25.0	25.4	26.0	26.8	28.0	30.0	34.0	26.2	27.0	28.2	29.1	30.3	32.0	34.5	38.7	39.0

■RC柱の許容曲げ耐力表

表3は学会規準（15条15式）に基づいて，モーメントMと鉄筋量aを既値とし，Mとaの各種条件に対する許容軸力N_{MAX}とN_{MIN}を解析によって求め，軸力Nの各条件に対応する許容モーメントM_Aを示している。

柱成D，柱幅Bを定め，各種鉄筋径，本数に対して，軸力の上下限範囲内における許容曲げ耐力を記載している。

例　B＝80，D＝80で，$P_V \pm P_E$が，200t or 25t の場合，短期許容曲げ耐力は，5－22φで，38.5^{tm}，6－22φで44.5^{tm}，7－22φで50.5^{tm}である。

断面の種類は，正方形断面35^2～100^{2}と，長方形断面は$B=D\pm20$の範囲とし，コンクリートと鉄筋の種類は，梁の耐力表と同種類を備えている。

表3

B= 80　D= 80　DT=DC= 5　C=140　T=2400

	4-22		5-22		6-22		7-22		8-22		9-22		10-22		11-22		12-22	
MA	PMAX	PMIN	PMAX	PMIN	PMAX	PMIN	PMAX	PMIN	PMAX	PMIN	PMAX	PMIN	PMAX	PMIN	PMAX	PMIN	PMAX	PMIN
16.0	849	-28	887	-46	935	-63	982	-78	920	-80	937	-91	955	-101	972	-111	989	-122
17.5	839	-24	857	-42	875	-60	892	-78	910	-80	928	-91	945	-101	963	-111	980	-122
19.0	828	-20	846	-38	865	-56	883	-78	900	-80	918	-91	936	-101	954	-111	971	-122
20.5	818	-15	836	-34	855	-52	873	-70	891	-80	909	-91	927	-101	944	-111	962	-122
22.0	807	-11	826	-29	845	-47	863	-65	881	-80	899	-91	917	-101	935	-111	953	-122
23.5	797	-6	816	-25	835	-43	853	-61	871	-79	890	-91	908	-101	926	-111	944	-122
25.0	787	-2	806	-21	825	-39	843	-57	862	-75	880	-91	898	-101	916	-111	934	-122
26.5	776	3	796	-16	815	-35	833	-53	852	-71	871	-89	889	-101	907	-111	925	-122
28.0	766	8	785	-12	804	-30	824	-49	842	-67	861	-85	879	-101	898	-111	916	-122
29.5	756	12	775	-7	795	-26	814	-44	833	-63	851	-81	870	-99	889	-112	907	-122
31.0	745	17	765	-2	785	-21	804	-40	823	-58	842	-76	861	-94	879	-112	898	-122
32.5	735	22	755	2	775	-17	794	-36	813	-54	832	-72	851	-90	870	-108	889	-122
34.0	725	27	745	7	765	-12	784	-31	804	-50	823	-68	842	-86	861	-104	879	-122
35.5	714	32	735	12	755	-8	774	-27	794	-45	813	-64	832	-82	851	-100	870	-118
37.0	704	37	724	17	745	-3	765	-22	784	-41	804	-59	823	-78	842	-96	861	-114
38.5	694	42	714	22	735	2	755	-17	775	-36	794	-55	814	-73	833	-91	852	-110
40.0	683	47	704	26	725	7	745	-13	765	-32	785	-51	804	-69	824	-87	843	-105
41.5	673	52	694	31	715	11	735	-8	755	-27	775	-46	795	-65	814	-83	834	-101
43.0	662	57	684	36	705	16	725	-3	746	-23	766	-42	785	-60	805	-79	824	-97
44.5	652	62	674	41	695	21	715	1	736	-18	756	-37	776	-56	796	-74	815	-93
46.0	642	67	663	46	685	26	706	6	726	-13	747	-33	767	-51	786	-70	806	-88
47.5	631	73	653	52	675	31	696	11	717	-9	737	-28	757	-47	777	-65	797	-84
49.0	621	78	643	57	665	36	686	16	707	-4	727	-23	748	-42	768	-61	788	-80
50.5	611	83	633	62	655	41	676	21	697	1	718	-19	738	-38	759	-57	779	-75
52.0	600	89	623	67	645	46	666	26	687	6	708	-14	729	-33	749	-52	769	-71
53.5	590	94	613	72	635	51	656	31	678	11	699	-9	720	-29	740	-48	760	-66
55.0	580	99	602	78	625	56	647	36	668	16	689	-4	710	-24	731	-43	751	-62
56.5	569	105	592	83	615	62	637	41	658	20	680	0	701	-19	722	-38	742	-57
58.0	559	110	582	88	605	67	627	46	649	25	670	5	691	-14	712	-34	733	-53
59.5	549	116	572	94	595	72	617	51	639	30	661	10	682	-10	703	-29	724	-48
61.0	538	121	562	99	585	77	607	56	629	35	651	15	673	-5	694	-24	715	-44
62.5	528	127	551	105	575	83	597	61	620	41	642	20	663	0	684	-20	705	-39
64.0	517	133	541	110	565	88	588	67	610	46	632	25	654	5	675	-15	696	-34
65.5	507	138	531	116	555	93	578	72	600	51	623	30	644	10	666	-10	687	-30
67.0	497	144	521	121	545	99	568	77	591	56	613	35	635	15	657	-5	678	-25
68.5	486	150	511	127	535	104	558	82	581	61	603	40	626	20	647	0	669	-20
70.0	476	156	501	132	525	110	548	88	571	66	594	45	616	25	638	5	660	-15
71.5	465	161	490	138	515	115	538	93	562	72	584	50	607	30	629	9	650	-11
73.0	453	167	480	144	505	121	527	99	552	77	575	56	597	35	619	14	641	-6
74.5	440	173	469	149	495	126	519	104	542	82	565	61	588	40	610	19	632	0
76.0	424	179	457	155	484	132	509	109	533	88	556	66	579	45	601	24	623	4
77.5	407	177	444	161	473	138	494	115	523	93	546	71	569	50	592	29	614	9
79.0	384	216	429	167	461	143	489	120	513	98	537	77	560	55	582	34	605	14
80.5	348	264	412	173	448	149	477	126	503	104	527	82	550	60	573	40	595	19
82.0	0	0	391	178	433	155	465	132	493	109	516	87	541	66	564	45	586	24
83.5	0	0	362	187	417	160	452	137	482	115	508	93	531	71	555	50	577	29
85.0	0	0	0	0	397	166	438	143	470	120	497	98	522	76	545	55	568	34
86.5	0	0	0	0	372	172	422	148	457	126	486	103	512	81	536	60	559	39
88.0	0	0	0	0	336	178	404	154	443	131	474	109	502	87	527	65	550	44
89.5	0	0	0	0	0	0	381	160	428	137	462	114	491	92	517	71	541	49
91.0	0	0	0	0	0	0	359	166	410	142	448	120	479	98	506	76	531	55
92.5	0	0	0	0	0	0	310	171	390	148	433	125	467	103	495	81	521	60
94.0	0	0	0	0	0	0	219	177	366	154	416	131	453	108	484	86	511	65
95.5	0	0	0	0	0	0	0	0	335	159	398	136	439	114	471	92	500	70
97.0	0	0	0	0	0	0	0	0	293	165	376	142	423	119	458	97	489	75
98.5	0	0	0	0	0	0	0	0	238	171	351	147	405	125	444	102	476	81
100.0	0	0	0	0	0	0	0	0	184	176	320	153	386	130	429	108	464	86
101.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	283	159	364	136	413	113	450	91
103.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	243	164	338	141	394	119	435	97
104.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	204	170	310	147	375	124	420	102

■RC柱の許容せん断耐力表

表4は学会規準（16条25式）に基づいて，各種断面の許容せん断耐力Q_{AS}を示したものである。

梁幅Bを定め，D＝35～120，フープ９φと13φを使用して，各種ピッチの場合の，短期許容せん断耐力を記載している。

例　B＝80，D＝80，フープ13φ，２－100@の場合，短期Q_{AS}は，63.4tである。

断面の種類は，B，Dとも35～120，コンクリートと鉄筋との組合せは，梁の耐力表と同種類を備えている。

表4

FC210　SR24　FS=10.50

B= 80	** 9 **									** 13 **								
D	2-150	2-125	2-100	3-150	3-125	3-100	4-150	4-125	4-100	2-150	2-125	2-100	3-150	3-125	3-100	4-150	4-125	4-100
35	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23.0	22.4	23.4	25.0	22.6	23.7	25.4	22.2	27.0	29.5	28.2	30.4	33.7
40	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	26.9	26.1	27.3	29.2	26.3	27.6	29.6	25.9	31.5	34.5	32.8	35.4	39.3
45	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.7	29.8	31.2	33.4	30.1	31.6	33.8	29.6	36.1	39.4	37.5	40.5	45.0
50	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	34.5	33.5	35.1	37.5	33.9	35.5	38.1	33.3	40.6	44.3	42.2	45.6	50.6
55	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	38.4	37.3	39.0	41.7	37.6	39.5	42.3	37.0	45.1	49.2	46.9	50.6	56.2
60	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	42.2	41.0	42.9	45.9	41.4	43.4	46.5	40.7	49.6	54.2	51.6	55.7	61.8
65	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	46.0	44.7	46.8	50.0	45.2	47.4	50.7	44.4	54.1	59.1	56.3	60.8	67.5
70	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	49.9	48.4	50.7	54.2	48.9	51.3	55.0	48.1	58.6	64.0	61.0	65.8	73.1
75	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	53.7	52.2	54.6	58.4	52.7	55.3	59.2	51.8	63.1	68.9	65.7	70.9	78.7
80	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	57.5	55.9	58.5	62.5	56.5	59.2	63.4	55.5	67.6	73.9	70.4	76.0	84.3
85	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	61.4	59.6	62.5	66.7	60.2	63.2	67.6	59.2	72.1	78.8	75.1	81.0	89.9
90	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	65.2	63.3	66.4	70.9	64.0	67.1	71.9	63.0	76.6	83.7	79.8	86.1	95.6
95	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	69.1	67.1	70.3	75.0	67.7	71.1	76.1	66.7	81.1	88.6	84.5	91.1	101.2
100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	72.9	70.8	74.2	79.2	71.5	75.0	80.3	70.4	85.6	93.6	89.2	96.2	106.8
105	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	76.7	74.5	78.1	83.4	75.3	79.0	84.6	74.1	90.1	98.5	93.8	101.3	112.4

■RC床版の許容荷重表

表5は学会規準（9条3式4式，14条14式，17条27式）に基づいて，版厚t，版形状l_x，l_y，鉄筋径，ピッチを既値とし，許容モーメントと許容せん断力のうち，小さいほうの条件に対応する許容床荷重を示している。

例　t=12，l_x=3.0m，l_y=4.0m，短辺9φ−200@，長辺9φ−250@の場合，許容床荷重は0.65t/㎡である。

版厚の種類はt=10〜20，スパンの種類はl_x=2.0〜6.0，コンクリートと鉄筋の組合せは，梁耐力表と同種類を備えている。

表5

FT= 1.6		FA=10.8		9						9.13						13					
T	LX	LY		100	125	150	200	250	300	100	125	150	200	250	300	100	125	150	200	250	300
12.0	3.0	3.0	100	1.62	1.30	1.08	0.81	0.65	0.54	1.98	1.58	1.32	0.99	0.79	0.66	2.34	1.87	1.56	1.17	0.94	0.78
			125		1.30	1.08	0.81	0.65	0.54		1.58	1.32	0.99	0.79	0.66		1.87	1.56	1.17	0.94	0.78
			150			1.08	0.81	0.65	0.54			1.32	0.99	0.79	0.66			1.56	1.17	0.94	0.78
			200				0.81	0.65	0.54				0.99	0.79	0.66				1.17	0.94	0.78
12.0	3.0	3.2	100	1.62	1.30	1.08	0.81	0.65	0.54	1.98	1.58	1.32	0.99	0.79	0.66	2.34	1.87	1.56	1.17	0.94	0.78
			125		1.30	1.08	0.81	0.65	0.54		1.58	1.32	0.99	0.79	0.66		1.87	1.56	1.17	0.94	0.78
			150			1.08	0.81	0.65	0.54			1.32	0.99	0.79	0.66			1.56	1.17	0.94	0.78
			200				0.81	0.65	0.54				0.99	0.79	0.66				1.17	0.94	0.78
12.0	3.0	3.4	100	1.62	1.30	1.08	0.81	0.65	0.54	1.98	1.58	1.32	0.99	0.79	0.66	2.34	1.87	1.56	1.17	0.94	0.78
			125		1.30	1.08	0.81	0.65	0.54		1.58	1.32	0.99	0.79	0.66		1.87	1.56	1.17	0.94	0.78
			150			1.08	0.81	0.65	0.54			1.32	0.99	0.79	0.66			1.56	1.17	0.94	0.78
			200				0.81	0.65	0.54				0.99	0.79	0.66				1.17	0.94	0.78
12.0	3.0	3.6	100	1.62	1.30	1.08	0.81	0.65	0.54	1.98	1.58	1.32	0.99	0.79	0.66	2.34	1.87	1.56	1.17	0.94	0.78
			125		1.30	1.08	0.81	0.65	0.54		1.58	1.32	0.99	0.79	0.66		1.87	1.56	1.17	0.94	0.78
			150			1.08	0.81	0.65	0.54			1.32	0.99	0.79	0.66			1.56	1.17	0.94	0.78
			200				0.81	0.65	0.54				0.99	0.79	0.66				1.17	0.94	0.78
12.0	3.0	3.8	100	1.57	1.30	1.08	0.81	0.65	0.54	1.98	1.58	1.32	0.99	0.79	0.66	2.34	1.87	1.56	1.17	0.94	0.78
			125		1.25	1.08	0.81	0.65	0.54		1.58	1.32	0.99	0.79	0.66		1.87	1.56	1.17	0.94	0.78
			150			1.04	0.81	0.65	0.54			1.32	0.99	0.79	0.66			1.56	1.17	0.94	0.78
			200				0.78	0.65	0.54				0.99	0.79	0.66				1.17	0.94	0.78
12.0	3.0	4.0	100	1.48	1.30	1.08	0.81	0.65	0.54	1.98	1.58	1.32	0.99	0.79	0.66	2.34	1.87	1.56	1.17	0.94	0.78
			125		1.19	1.08	0.81	0.65	0.54		1.58	1.32	0.99	0.79	0.66		1.87	1.56	1.17	0.94	0.78
			150			0.99	0.81	0.65	0.54			1.32	0.99	0.79	0.66			1.56	1.17	0.94	0.78
			200				0.74	0.65	0.54				0.99	0.79	0.66				1.17	0.94	0.78
12.0	3.0	4.2	100	1.42	1.30	1.08	0.81	0.65	0.54	1.98	1.58	1.32	0.99	0.79	0.66	2.34	1.87	1.56	1.17	0.94	0.78
			125		1.14	1.08	0.81	0.65	0.54		1.58	1.32	0.99	0.79	0.66		1.87	1.56	1.17	0.94	0.78
			150			0.95	0.81	0.65	0.54			1.32	0.99	0.79	0.66			1.56	1.17	0.94	0.78
			200				0.71	0.65	0.54				0.99	0.79	0.66				1.17	0.94	0.78
12.0	3.0	4.4	100	1.37	1.30	1.08	0.81	0.65	0.54	1.98	1.58	1.32	0.99	0.79	0.66	2.34	1.87	1.56	1.17	0.94	0.78
			125		1.10	1.08	0.81	0.65	0.54		1.58	1.32	0.99	0.79	0.66		1.87	1.56	1.17	0.94	0.78
			150			0.91	0.81	0.65	0.54			1.32	0.99	0.79	0.66			1.56	1.17	0.94	0.78
			200				0.69	0.65	0.54				0.99	0.79	0.66				1.17	0.94	0.78
12.0	3.0	4.6	100	1.33	1.30	1.08	0.81	0.65	0.54	1.98	1.58	1.32	0.99	0.79	0.66	2.34	1.87	1.56	1.17	0.94	0.78
			125		1.07	1.07	0.81	0.65	0.54		1.58	1.32	0.99	0.79	0.66		1.87	1.56	1.17	0.94	0.78
			150			0.89	0.81	0.65	0.54			1.32	0.99	0.79	0.66			1.56	1.17	0.94	0.78
			200				0.67	0.65	0.54				0.99	0.79	0.66				1.17	0.94	0.78
12.0	3.0	4.8	100	1.30	1.30	1.08	0.81	0.65	0.54	1.95	1.58	1.32	0.99	0.79	0.66	2.34	1.87	1.56	1.17	0.94	0.78
			125		1.04	1.04	0.81	0.65	0.54		1.56	1.32	0.99	0.79	0.66		1.87	1.56	1.17	0.94	0.78
			150			0.87	0.81	0.65	0.54			1.30	0.99	0.79	0.66			1.56	1.17	0.94	0.78
			200				0.65	0.65	0.54				0.97	0.79	0.66				1.17	0.94	0.78
12.0	3.0	5.0	100	1.27	1.27	1.08	0.81	0.65	0.54	1.91	1.58	1.32	0.99	0.79	0.66	2.34	1.87	1.56	1.17	0.94	0.78
			125		1.02	1.02	0.81	0.65	0.54		1.53	1.32	0.99	0.79	0.66		1.87	1.56	1.17	0.94	0.78
			150			0.85	0.81	0.65	0.54			1.27	0.99	0.79	0.66			1.56	1.17	0.94	0.78
			200				0.64	0.64	0.54				0.96	0.79	0.66				1.17	0.94	0.78
12.0	3.0	5.2	100	1.25	1.25	1.08	0.81	0.65	0.54	1.85	1.58	1.32	0.99	0.79	0.66	2.34	1.87	1.56	1.17	0.94	0.78
			125		1.00	1.00	0.81	0.65	0.54		1.50	1.32	0.99	0.79	0.66		1.87	1.56	1.17	0.94	0.78
			150			0.84	0.81	0.65	0.54			1.25	0.99	0.79	0.66			1.56	1.17	0.94	0.78
			200				0.63	0.63	0.54				0.94	0.79	0.66				1.17	0.94	0.78
12.0	3.0	5.4	100	1.24	1.24	1.08	0.81	0.65	0.54	1.85	1.58	1.32	0.99	0.79	0.66	2.34	1.87	1.56	1.17	0.94	0.78
			125		0.99	0.99	0.81	0.65	0.54		1.48	1.32	0.99	0.79	0.66		1.87	1.56	1.17	0.94	0.78
			150			0.82	0.81	0.65	0.54			1.24	0.99	0.79	0.66			1.56	1.17	0.94	0.78
			200				0.62	0.62	0.54				0.93	0.79	0.66				1.17	0.94	0.78
12.0	3.0	5.6	100	1.22	1.22	1.08	0.81	0.65	0.54	1.83	1.58	1.32	0.99	0.79	0.66	2.34	1.87	1.56	1.17	0.94	0.78
			125		0.98	0.98	0.81	0.65	0.54		1.46	1.32	0.99	0.79	0.66		1.87	1.56	1.17	0.94	0.78
			150			0.81	0.81	0.65	0.54			1.22	0.99	0.79	0.66			1.56	1.17	0.94	0.78
			200				0.61	0.61	0.54				0.92	0.79	0.66				1.17	0.94	0.78
12.0	3.0	5.8	100	1.21	1.21	1.08	0.81	0.65	0.54	1.81	1.58	1.32	0.99	0.79	0.66	2.34	1.87	1.56	1.17	0.94	0.78
			125		0.97	0.97	0.81	0.65	0.54		1.45	1.32	0.99	0.79	0.66		1.87	1.56	1.17	0.94	0.78
			150			0.81	0.81	0.65	0.54			1.21	0.99	0.79	0.66			1.56	1.17	0.94	0.78
			200				0.60	0.60	0.54				0.91	0.79	0.66				1.17	0.94	0.78
12.0	3.0	6.0	100	1.20	1.20	1.08	0.81	0.65	0.54	1.80	1.58	1.32	0.99	0.79	0.66	2.34	1.87	1.56	1.17	0.94	0.78
			125		0.96	0.96	0.81	0.65	0.54		1.44	1.32	0.99	0.79	0.66		1.87	1.56	1.17	0.94	0.78
			150			0.80	0.80	0.65	0.54			1.20	0.99	0.79	0.66			1.56	1.17	0.94	0.78

■あ と が き

今回は鉄筋コンクリート部材のうち，梁，柱，床版のデータを紹介したが，他の部材や，鉄骨，鉄骨鉄筋コンクリート部材についても，各種データを作成ずみまたは作成中であり，機会があれば紹介したい。

データが完備すれば，データを応用する設計は，初心者にも可能であり，技術者は，構造計画と結果のチェックに時間を割当て，さらに新しい技術の吸収と，諸問題に対する解決に取り組む姿勢が必要と考えている。

記載内容についての意見と批判を下記までお寄せ下さい。

（こいけ　としを　株式会社能勢建築構造研究所）

日本建築協会

月間の動き

昭和48年4月分

理　事　会

25日　正午～1時半 於大阪ガスビル食堂
出席者　塚本会長ほか12理事，奥村監事
薮本，山下和歌山正副支部長
正午より新旧役員の会食懇談会を開催し終了後理事会を開催，旧役員の出席者，清水前理事，神谷前監事
議事(1)理事会務分掌ならびに主幹選任の件
(2)定例理事会開催日決定の件
(3)昭和48年度委員会委員委嘱の件
(4)前年度よりの引継事項承認の件
(5)建築工事実務講習会会費決定の件
(6)日本建築総合試験所理事1名推せんの件
(7)入退会者承認の件
(8)報告事項

事　業　委　員　会

「建築家に話を聞く会」の編集分科会
3日　6時～9時半　於会館集会室
出席者　福田晴虔氏，柳副委員長ほか7名
議事　「建築家に話を聞く会」の「建築と社会」誌に掲載の編集資料作成について

若い会員の集い小委員会
5日　6時～9時20分　於会館集会室
出席者　柳副委員長，西村幹事ほか9名
議事(1)「ヨーロッパの都市再開発事業について」のオリエンテーション実施報告
(2)「建築家に話を聞く会」の「建築と社会」誌掲載資料について
(3)前年度小委員会よりの申送り事項について
(4)昭和48年度の事業企画及び方針について
(5)そのほか

見学会小委員会
6日　6時～8時半　於会館集会室
出席者　堤副委員長，鈴木幹事ほか6名
議事(1)3月に実施した見学会の報告
(2)昭和48年度の見学会企画について
(3)そのほか

広報小委員会
9日　6時～8時　於会館集会室
出席者　小泉，木地前幹事ほか8名
議事(1)「最近のウレタン防水及シート防水の材料と工法について」の説明会実施報告
(2)昭和47年度第5回展示写真(超高層ビル)実施報告
(3)昭和48年度の事業企画について
(4)そのほか

委　員　会
12日　6時～8時　於会館集会室
出席者　花房，小泉副委員長ほか4名
議事(1)昭和48年度正副委員長，幹事の選出について
(2)各小委員会の事業報告並びに昭和48年度の事業企画について
(3)そのほか

「建築家に話を聞く会」編集分科会
20日　6時～8時半　於会館集会室
出席者　中村主査ほか4名
議事　原稿調整そのほか

若い会員の集い小委員会
26日　6時～10時　於会館集会室
出席者　西村，岩永，宮後幹事ほか5名
ゲスト　交通公社　山地，岡本氏
議事(1)「ヨーロッパの都市と建築調査団」参加申込状況報告と結団式開催について
(2)「ヨーロッパの都市と建築の歴史について」のオリエンテーションの実施報告
(3)「建築家に話を聞く会」の「建築と社会」誌掲載資料について
(4)本年度の事業企画について
(5)そのほか

編　集　委　員　会

委　員　会
9日　3時半～6時　於会館集会室
出席者　彦谷委員長ほか25名
議事(1)編集委員長の選出
(2)編集の技術的内容と企画の説明
(3)本文・作品作風・シリーズものについて
(4)5月号＝大阪国際ビルディング特集報告
(5)6月号＝老人コミュニティ特集報告
(6)7月号＝建築家の自邸（仮称）特集報告
(7)8月号＝建築法規（仮称）特集報告
(8)シリーズもの執筆者交代について
(9)そのほか

作品作風小委員会
23日　6時～9時　於会館集会室
出席者　谷淳之介ほか6名
議事(1)作品作風小委員会主査選出
(2)7月号作品特集の件
(3)8月号以降の企画
(4)スケッチブックの充実の意見
(5)定例日の決定

技術の頁小委員会
24日　4時～6時　於会館集会室
出席者　佐伯晃ほか4名
議事(1)技術の頁小委員会主査の選出
(2)昭和48年度技術の頁のテーマと執筆者の企画

住　宅　委　員　会

住宅企画小委員会
11日　6時～8時　於会館集会室
出席者　恒成主査ほか5名
議事　テレビ放送の企画について ほか

委　員　会
19日　5時半～7時半　於会館集会室
出席者　小西委員長ほか13名
議事(1)正副委員長の選任
(2)第10回よろず相談住宅展について
(3)委員会定例開催日の件
(4)そのほか

法　規　委　員　会

4会合同法規委員会
16日　2時半～5時　於関電ホール
出席者　福田朝生，市川宏（協会），片倉健雄（学会），岡本一郎（家協会），中原茂（士会）ほか24名
議事(1)新用途地域の決定
(2)建築協会法規委員会

建築データシート委員会

委　員　会
18日　5時半～8時　於会館集会室
出席者　井上，真塚正副委員長ほか12名
議事(1)委員長，副委員長，幹事の選出について
(2)委員会の運営と編集組織について
(3)発行計画について
(4)アンケートの総括解答について
(5)そのほか

建　材　委　員　会

委　員　会
26日　3時～5時　於会館集会室
出席者　山田委員長ほか6名
議事(1)委員長選任の件
(2)顧問並びに副委員長選任の件
(3)定例開催日について
(4)今後の事業企画について

見　学　会

岡山国際ホテルと日本生命岡山駅前ビル（高島屋）の新築工事の見学会
10日　1時～4時半　参加者　25名
岡山国際ホテル
設計・監理　三菱地所株式会社
施　工　㈱大林組，戸田建設㈱，共同企業体
日本生命岡山駅前ビル（高島屋）
設計・監理　村野森建築事務所
施　工　株式会社　大林組

野村証券ビル新築工事の見学会
25日　3時～5時　参加者　23名
設計・監理　株式会社安井建築設計事務所
施　工　株式会社　大林組

若い会員の集い

「ヨーロッパの都市と建築の歴史について」のオリエンテーション

17日　6時～9時　於ターネンビル
参加者　34名
ゲスト　京都大学教養部
助教授　工学博士　前川道郎氏

高層ビルを考える（第1回）・大阪大林ビル

28日　1時半～5時　於大阪大林ビル
参加者　34名
講　師
㈱大林組本店ビル工事々務所
所長　新開信之氏
㈱大林組本店建築本部
設計部　藤縄正俊氏

役員・委員の見学と懇親会

14日　1時～7時
中央公会堂西裏に集合・神戸製鋼所ご提供のバス2台に分乗し1時出発。阪神高速，名神高速，再び阪神高速を経て神戸製鋼所本社着概況説明，工場見学後六甲オリエンタルホテルにおいて懇親パーティ開催。
参加者　88名

役員・委員懇親会スナップ



「4会連合」協定工事請負契約々款委員会

2日　3時半～6時　於日本建築学会
出席者　福田委員ほか8名
議事　工事請負契約々款改正について

建築業務基準委員会

16日　2時～4時　於日本建築学会
出席者　山根委員ほか15名
議事　1戸建住宅建築業務基準（案）について

建築クラブ朝食会

10日　8時～9時半　於新大阪ホテル
出席者　82名
当日は阪急電鉄株式会社社長森薫氏より「住宅について」のお話を伺った。

4月の入会者（敬称略）

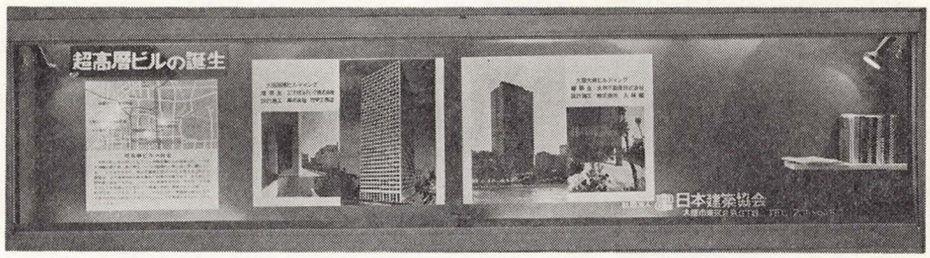
〔個人会員　20名〕

浅井潤一	白井賢治	原田勲
大津均	高橋幸世	森三夫
荻野正美	竹谷洋助	森下興一
木村健	陳栄周	藪内清
桑原寿一	寺崎秀雄	山下信一
蔡石根	堂園利昭	山村多真樹
下健一	中谷敏春	

〔准会員　12名〕（氏名省略）

日本建築協会の展示窓紹介

昨年「大阪にも超高層ビル時代」と題して計画中の予想写真をご紹介いたしましたが，ことしの初めより，次つぎと完成しつつある超高層ビルの内，新しく誕生した大阪大林ビルと大阪国際ビルを展示いたしました。（展示期間4月より3カ月間の予定）：展示場所→京阪淀屋橋と北浜間の地下通路のショーケース。



大阪府建築指導課寝屋川分室の設置

寝屋川市における市街地の急速な発展に伴ない建築基準法の一層の適正な運営と行政の円滑な運営をはかる必要が生じましたので，大阪府では，建築指導課分室を設け，大阪府建築主事を駐在させることになりました。

1. 設置年月日　昭和48年5月15日（火）
2. 設置場所　寝屋川市役所土木部建築課内
3. 所管区域　寝屋川市域内
4. 所管事務　建築基準法にもとづく建築確認申請の受理確認，検査，現場指導監督，その他

社団法人兵庫県建築士事務所協会創立総会開催

昭和48年4月21日（土），神戸オリエンタルホテル2階大会議場において午後1時より，社団法人兵庫県建築士事務所協会創立総会が当協会員360名の⅔以上にあたる約260名の出席を得て，盛大に行われた。

当協会会長寺西芳一氏の開会の挨拶にはじまり，正副議長選出のあと議事進行。

兵庫県会副議長，尼崎市長，西宮市長の祝電披露，つづいて来賓の紹介にうつり，官公庁側8名，民間友誼団体9名の紹介を行なったあと懇親会にうつり，宮崎神戸市長，楢崎兵庫県副知事から住みよい明日への街づくりを目ざして協力していこうとの挨拶があり，午後6時30分，創立総会は無事終了した。

創立総会に来賓として出席された方々はつぎのとおり。

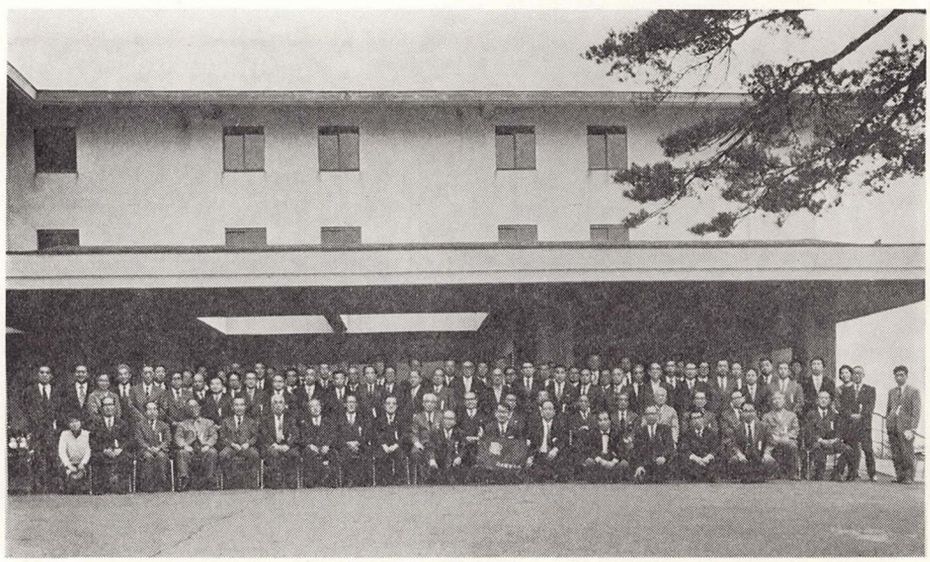
官公庁側

県	副知事以下3名
神戸市	市長以下4名
尼崎市	建築指導課長以下2名
姫路市	建築指導課長1名

民間友誼団体側

兵庫県土地家屋調査士会，日本建築協会，大阪建築設計協会，京都建築士設計協会，兵庫県建築士会，兵庫県行政書士会

役員・委員懇親会記念撮影（4月14日六甲オリエンタルホテルにて）



信用ある技術と伝統の

アスファルト工事 専業大店

シート防水・ウレタン防水・シングル葺工事

株式会社 久保商店

大阪市北区真砂町5番地　TEL 06-364-0206 代表

室谷

内装不燃材

室谷商事株式会社

本社　神戸市生田区北長狭通4－1　（英和ビル）
電話　神戸(331) 0881～3
支店　大阪市北区絹笠町50(堂ビル5階 502号室)
電話　大阪(364) 2031～4
倉庫　神戸市葺合区八幡通1－5（電話221 2923）

OKUYAMA KAKOGYO
OAM
WATER・PROOF

陸屋根防水には 奥山式 特許 絶縁工法 を

カッパー防水帯

コーパータイト

新工法！
プレノテクト吹付工法

8対2の防水(冷工法)　デラタイト

特許　奥山式熱工法・冷工法綜合防水層

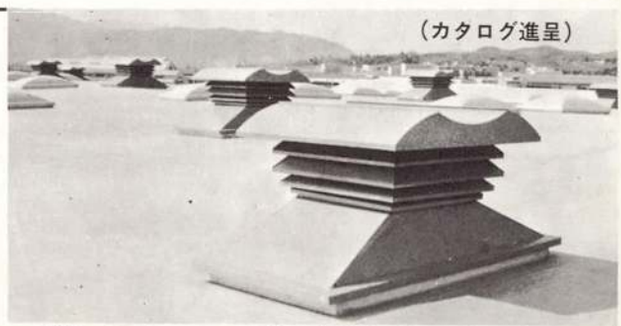
奥山化工業株式會社

本　社	東京都中央区銀座8－4－11	電話・03(571)2703～4・2370・4064・0264
大阪出張所	大阪市都島区都島中通り2-3-1	電話　06(921)2497・(922)7280
名古屋出張所	名古屋市南区若草町33	電話 052(811)3660・3104
札幌出張所	札幌市中央区北三条東四丁目	電話 011(231) 7　5　1　1

特許　岩元式ベンチレーター
（電動式並固定型各種）

岩元式ベンチレーター　A型・B型・固定型
岩元式連塔換気装置（コンチニヤス・ベンチレーター）
新型　換気塔 NSライン　（強制換気扇付）
新型　換気塔 SFスーパー　（特殊装置による風量増幅 換気扇の能力を倍増する）
最新型　採光排気塔(風光)スーパーライン特殊増幅装置付
スカイライト工事・通風ルーパー
スチール及アルミサッシュドアー・各種シャッター製作施工
其の他　曲加工一式

（カタログ進呈）



岩元工業株式会社

大阪市東成区大今里2丁目5番22号
電　話　(981)　0615～0618

空気調和・冷暖房設備
給排水・衛生設備　設計・施工

株式会社 朝日工業社

本　社　東京都港区芝浜松町1-2-7　電話(434)6171(大代)
大阪支社　大阪市東淀川区加島町357　電話(302)2271(代)
支　店　北海道・仙台・名古屋・広島・福岡
営業所　釧路・函館・盛岡・横浜・静岡・京都・神戸

空気調和設備
衛生設備　設計施工

三建設備工業株式會社

大阪支店　大阪市北区紅梅町65番地　電話(352)1131(代)
本　社　東京都中央区日本橋蠣殻町2－22　電話(667)3431(大代)
支　社　名古屋・仙台・札幌・広島・福岡・金沢・新潟・横浜

電気・空調・給排水衛生設備
設計施工

大阪電気暖房株式会社

取締役社長　菅谷健児

本　社　大阪市西区江戸堀1－60　電話(441)8231代表
支　店　東京・名古屋・大阪・福岡
営業所　札幌・新潟・仙台・金沢・岡山・広島・高松・熊本
出張所　盛岡・横浜・富山・豊田・福井・京都・神戸・鹿児島

空気調和・衛生設備

株式会社 三晃空調

本社・本店　大阪市北区富田町16番地　電話06－363－1371
支　店　東京都千代田区神田小川町2丁目1番地　電話03－292－7751
名古屋市中村区広小路西通3丁目9番地　電話052－581－8571
広島市紙屋町1丁目2番22号　電話0822－47－4535
福岡市大名1丁目8番12号　電話092－76－3795
出張所　富山・福井・京都・神戸・松江・沖縄

給排水・衛生
暖冷房・換気　設計施工

株式会社 大阪城口研究所

取締役社長　城口庸平

大阪市北区高垣町一　電話 大阪372局7151(代)
京都市東山区大和大路正面上ル　電話 京都561局4944(代)
神戸市生田区下山手通六ノ一　電話 神戸341局5892

――冷・暖房、衛生、機器配管、設計施工――

株式会社 清水工業所

本　社　大阪市大淀区南浜町3丁目14番地
〒531　電話 大阪(372)2851(代表)
東京支店　東京都中央区八丁堀4丁目11番7号
〒104　（神谷ビル）
電話 東京(551)8041(代表)
出張所　鳥取・群馬・宇都宮・君津
島根・福岡・松山・高松

水道・衛生・暖冷房・其他管工事
設計並施工
（旧斎藤久孝事務所）

斎久工業株式会社大阪支店

大阪市北区常安町11番地
電話　大阪(443)5041～5番

東京本社　東京都千代田区大手町2の8番地(日本ビル)
電話　東京(270)7411番(代表)

札幌営業所　札幌市南大通西4丁目1札幌道銀ビル　電話 札幌㉒5756
金沢営業所　金沢市高岡町2番16号　電話 金沢㉑2074
福井出張所　福井市御幸2の1　電話 福井㉔2436
高松出張所　高松市2番丁9　電話 高松㉑5195
岡山出張所　岡山市大供3800の1　電話 岡山㉔5486

新日本空調株式会社

大阪支店　大阪市北区堂島浜通1－25（新大ビル）
電話　(06)　344－6031　(代)
本社・東京支店　東京都中央区日本橋本石町4-2(三井第二別館)
電話　(03)　279－5671　(大代)
名古屋・九州・広島・札幌・東海村・北陸・大分

創　業　暖冷房・換気・温湿度空気調和 設計
大正二年　病院諸設備・給排水衛生・水族館設備 施工

株式会社 斎藤省三商店

本　店　東京都千代田区丸の内2の4の1　丸ビル676号
電話 212㈹3751
大阪支店　大阪市西区土佐堀通1の1　大同ビル 616号
電話 443㈹3361
京都支店　京都市南区西九条春日町48　電話 681㈹1781
支　店　札幌・名古屋・福岡・千葉
営業所　宇都宮・横浜・熊本

空気調和　衛生設備／設計施工

須賀工業

大阪市西区土佐堀通1-14　TEL 06-441-5171
支　店　東京・大阪・名古屋・京都・神戸・福岡
営業所　札幌・千葉・横浜・静岡・高松・広島
出張所　金沢

冷暖房　各種サッシ
給排水、衛生水道　環境衛生施設
電気　荷役運搬機械
厨房　化学鉱山機械

三機工業 株式会社大阪支店

取締役社長　各務節
取締役支店長　濱川幸十郎

大阪市東区北浜2丁目22番地　電話 大阪(202)代表3071
本　店　東京・日比谷・三信ビル
支　店　名古屋、福岡、札幌、広島、仙台、富山
出張所　横浜、金沢、静岡、高松

空気調和　地盤凍結　冷凍冷蔵

精研冷機株式会社

本　社　大阪市南区瓦屋町3番丁68番地
（オートセンタービル2階）　郵便番号542
電話 大阪(06)761(代)1141～8番(直通)
東京営業所　東京都千代田区九段南2丁目2番5号
（九段ビル8階）　郵便番号102
電話 東京(03)262－3241～4番

営業種目 ●空気調和設備 ●給排水衛生設備 ●塗装設備
●蒸気噴射式冷凍機 ●公害防止関連機器／設計・製作・施工

大気社

（旧社名 株式会社 建材社）

本社・東京支店＝東京都中央区銀座6－6－7 ㊫(572)7411 代
大阪支店＝大阪市北区中之島2－22 ㊫(203)3721 代
名古屋支店＝名古屋市中区錦2－2－13 ㊫(211)1535 代
出張所＝札幌・仙台・豊田・金沢・神戸・高松
広島・松山・福岡・沖縄・バンコック

給・排水・衛生・消火・暖冷房設備

株式会社 西原衛生工業所大阪店

大阪市大淀区中津南通4丁目11 **電話大阪(458)3531番**
出張所＝京都・福岡

暖・冷房・空気温湿度調整装置
設計施工

高砂熱学

大阪支店 大阪市北区芝田町55番地（北阪急ビル9階）
電話 大阪（372）2 5 1 1（代表）
本社 東京都千代田区神田駿河台4丁目2番地

平山工業株式会社

衛生・空気調和設備 ・ 設計・施工

TEL（441）㈹ 1994.（443）㈹0331 大阪市西区江戸堀通2の2

温湿度調整装置、暖房
冷房、水道、搬送機設備
設計並ニ施工

第一工業株式会社大阪支店

大阪市北区富田町30 電話（364）6661（代）
本社 東京都千代田区丸ノ内3-3-1（新東京ビル）
電話（211）8511・8561（代）
仙台支店 仙台市新伝馬町60
電話（21）4491
名古屋支店 名古屋市東区東門前町3－6
電話（971）3621

空気調和・恒温恒湿・冷凍・冷蔵
給排水衛生設備 設計施工

不二熱學工業株式會社

本店 大阪市南区順慶町2－50 電話 261－2436㈹
東京支店 東京都大田区西馬込1－2－1 電話 773－1231㈹
営業所 銀座・浜松・京都・神戸・福岡

MODAIR

空気調和設備
換気・除塵設備 設計施工

東洋熱工業株式会社大阪支店

大阪市西区京町堀4丁目 TEL(443) 8071
本社 東京都中央区京橋2丁目9 TEL(562) 1351
支店 名古屋・福岡

冷暖房・温湿度調整・水道
衛生・環境衛生施設
設計施工

山田工業株式会社

本社 大阪市西区京町堀1丁目62 電話(443) 8161(大代表)
支店 名古屋市中村区水主町1の12 電話(541)0966(551)1655
出張所 東京都港区赤坂2丁目3～12
赤坂ピークビル5階 電話（583）1467
神戸市生田区北長狭通7丁目1の1 電話（341）1778・4386

温湿度調整・暖冷房・換気給排水・衛生設備
設計並施工

日本管工業株式会社

代表取締役 市川繁雄

本社及京都支店 京都市南区西九条豊田町20番地の1
電話(681) 5101～5・夜間専用(691) 1045
大阪支店 大阪市北区天満橋筋1－37(天満橋北詰)
電話（352）3501～3
四日市支店 四日市市浜田西末広町 電話㊲7431～3
大津営業所 大津市打出浜13－15 電話 0775 ㉒9738
津営業所 津市栄町2－111 電話⑧3610

空気調和設備
給排水衛生設備 設計施工
各種プラント設備

各種送風機・風力輸送装置
空調機器類・公害防止装置 設計製作

株式会社 カンダン

旧社名 関西煖房工業株式会社

本社 大阪市住吉区万代東6丁目3 TEL（672）1281（大代）
営業所 東京・名古屋・広島・福岡 工場 和泉・名古屋
テレックス：本社 No. 562－7688 和泉工場 No. 538－5898

Carrier

冷暖房は CARRIER キャリア

東洋キャリア工業(株)製品販売店・特約工事店

日本冷熱工産株式会社

本社及大阪営業所 吹田市豊津町40番38号
電話大阪（384）1201～7

電気設備工事設計施工

浅海電気株式会社

取締役社長　浅海正雄

本　社　大阪市北区老松町1丁目22
電話大阪(362)8701

支社・支店　東京・札幌・名古屋・福岡
営業所　旭川・神戸・姫路・高松・広島
出張所　苫小牧・浜松・光・沖縄

電気設備 ε 設計施工

朝陽電気株式会社

代表取締役　山本博三

本　社　大阪市北区中之島3の3　朝日ビルディング
TEL　代表　(385) 1361

本社営業所　吹田市垂水町3－34－6
TEL　代表　(385) 1361

京都営業所　京都市右京区西京極郡葛野町21番地
TEL　代表　(311) 1185

電気工事・計装工事
設計施工

栗原工業株式会社

取締役社長　栗原信英

大阪市北区高垣町16番地（東阪急ビル）
電話　大阪　(313) 1101　(大代)
支店　東京・名古屋・舞鶴・大阪南・神戸・広島・九州

電気設備工事設計施工

東光電気工事株式会社
大阪支社

支社長　姉川正男

大阪市東区高麗橋五丁目二八番地　電話大阪(202)0325～9番
本　社　東京都千代田区西神田1丁目4番地5号
支　社　札幌・仙台・丸ノ内・名古屋・福岡
出張所　旭川・白河・横浜・静岡・富山

電気工事設計施工

株式会社　三興社

代表取締役　林　敏夫

本　社　大阪市北区絹笠町50（堂ビル7階）
電話(361) 3671　(代)
支　店　東京都中央区日本橋箱崎町3丁目2番地
電話(671) 1478　(代)
出張所　川崎・相模原・堺・福山

電気工事 中 設計・施工

中本電気株式会社

取締役社長　中本正明

本　社　大阪市城東区野江東之町三丁目一五
電話大阪(931)代表7341～5
0388・2193
資材倉庫　大阪市城東区野江東之町三丁目一一電話大阪(931)7004
奈良営業所　奈良県御所市御国通360　電話御所2

電気・暖冷房・空調工事設計施工

三宝電機株式会社

取締役社長　嘉納伝三

本　社　大阪市北区絹笠町五〇（堂ビル三階）
電話　(364)1471(代)
支　店　東京都港区新橋二一一六(ニュー新橋ビル七階)
電話　(504)0231
支　店　名古屋市北区城見通二丁目二〇番地
電話　(991)　5131(代)
営業所　神戸・堺・千葉・宇都宮・熊本

各種電気工事設計施工・制御盤製作

野里電気工業株式会社

取締役社長　池内文夫

本　社　大阪市西淀川区柏里町1丁目110番地
電話大阪(472)代表1101～7
支　店　東京都品川区西五反田6丁目25番11号(福島ビル)
電話東京(491)1746(492)0182・0350
営業所　北九州市小倉区鋳物師町23番地
電話小倉(56)5665・5818
出張所　群馬・千葉・和歌山・名古屋

電気工事・計装工事・設計施工

中央電気工業株式会社

取締役会長　今村　騰
取締役社長　立石行男

本　社　大阪市北区梅ケ枝町56番地
電話　大阪　大代表(312) 8881
支　店　東京・名古屋・四日市・神戸・和歌山
営業所　松山・京都・草津・静岡・水島・福岡

電気工事設計施工

富士電業株式会社

取締役社長　田中　実

本　社　大阪市西区北堀江上通1丁目65
電話大阪(541) 0564～7・7148～9
営業所　東京・名古屋・広島・福岡

電気工事設計施工

太陽工藤工事株式会社

取締役社長　小林四郎

本　社　大阪市福島区上福島北1－2
TEL(06) 452－1151(代)
電力工事本部　大阪市此花区恩貴南之町73
TEL(06) 462－1301(代)

各種電気工事設計施工

株式会社　ヤマト電気商会

取締役社長　山本永造

本　社　大阪市北区西堀川町15番地
電話　大阪(364)代3056
東京支店　東京都港区新橋5－34－6　相馬ビル5階
電話　東京(434) 3848・(431) 8435
出張所　大阪南・札幌・名古屋・四日市・松山・徳山

奉仕感謝の店

タイル工事施工

特許申請中・完全滑止タイル

サンエス
SSS タイル 新発売

（カタログ進呈）

株式会社 川岸窯業商店

本　　社　大阪市西区靱本町２丁目98番地（靱本町バス停前）
電話　大阪 06（532）代０４６１
姫路営業所　姫路市北条口126番地（住友生命保険ビル３階）
電話　姫路0972（82）０９９９

窓掛、緞帳、日際、壁紙 室内装飾 絨毯、舗床材一般
東洋リノリュームの 東リカーペット 発売元

亀井株式會社

大阪市東区南久宝寺町四丁目（心斎橋筋）
電話　大阪（251）1353（代）～６・9996
営業所　名古屋・福岡

建設省認定の防火材料

営業品目

セメント系吹付材	ソリジットスタイン	基材同等	０００３号
特殊リシン吹付材	エバウォール	基材同等	０００３号
アクリル系吹付材	エバーサンド	基材同等	０００４号
ヒル石吹付材	エバテックス	基材同等	０００４号

合同特許建材工業株式会社

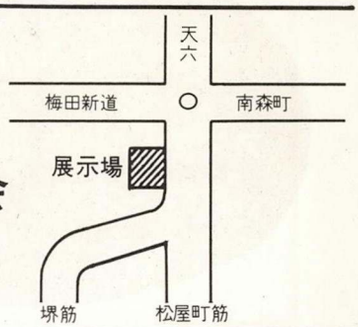
本　社　大阪市東住吉区駒川町３－54　電話（06）702－7814～７
東京事業所・名古屋出張所・高松出張所・福岡出張所

年中見ていただける　皆様の見本室

タイル
常設展示場

AM. 10.00～P.M. 5.00
日曜・祝日は休館

全国タイル展示協会
大阪市北区南森町46番地
八千代ビル南館２Ｆ
TEL（06）364－2059



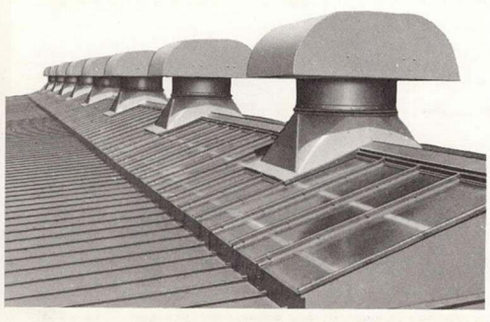
＊特許小俣式防火シャッター

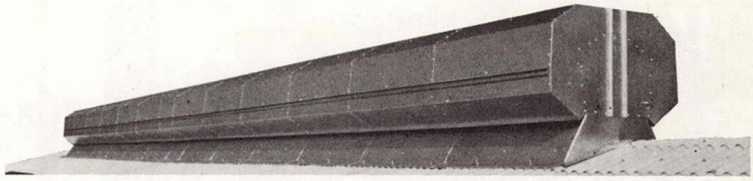
防煙・防火は KOMATA で… OK!

小俣シャッター工業株式会社大阪支店

大阪支店　大阪市北区此花町２－51（第５新興ビル）　電話大阪（353）７３７７代
本社工場　東京都北区田端町１１３８　電話東京（893）５２１１代

特許　内外式電動ベンチレーター　特許　内外式コンチニアスベンチレーター
（大量自然換気方式）





内外建材株式会社

本　　社　大阪市西区江戸堀北通１－25（相生ビル）
TEL（441）3983～５・4396
大阪工場　大阪市城東区天王田町１－１４１
TEL（962）１１４９
京都工場　京都市東山区山科東野井上町
TEL075（581）０１２６

シヤッターの総合メーカー

豊かな経験と
最新の技術…

東洋シヤッター

東洋シヤッター株式会社
本　社　大阪市東区両替町1-12日生谷町ビル　TEL（943）6571代
本　社　東京（543）2281・名古屋（331）6171・大阪（352）4571
営業所　横浜・滋賀・京都・神戸・福岡・他全国主要都市

内外

責任施工
アスファルト防水工事
セメント防水工事
アスファルトモルタル床舗装工事
耐酸アスファルト（樹指）
モルタル工事

N.G.C.式

米国パブコ・アスファルトコンパウンド
米国バイヤーライト・アスファルトコンパウンド　販売
各種シート防工事　責任施工
新防水材リベットルーフ　責任施工

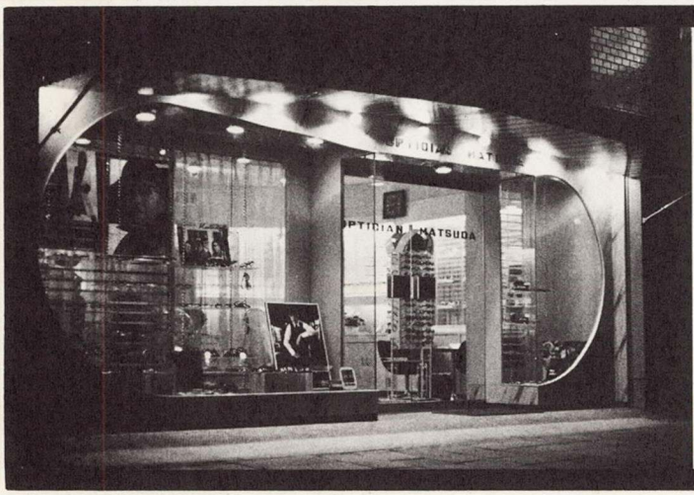
内外工業株式会社

本社　大阪市阿陪野区旭町1丁目1番地30号　電話(641)3434～6
(631)0810(夜間)
工場　大阪市東住吉区桑津町3丁目16番地

スチール
アルミ
ステンレス
／
サッシ・ドアー
カーテンウオール
シヤッター
三高式オペレーター・ドアーハンガー

TRADE MARK
M.T.K.S

株式会社 三高製作所
本社・工場　尼崎市神崎五反田280番地
電話　大阪(499)8151代表



'70年代をリードする
店舗づくりのパイオニア

店舗各種　陳列ケース　冷凍ケース　電飾看板

製造直売・すべて工場渡しで奉仕する

スーパーマーケット　・　各種専門店

店舗綜合企画・指導・設計・施工
大阪サツマ店装製作所

〒516　大阪市城東区茨田安田町100番地
☎ 911－9144代



コーキングパテ

ウヅラ印



柏原瀝青株式会社

本社工場　大阪市西淀川区御幣島東２ノ５　電話大阪(471)1493～4・8267
第二工場　大阪市西淀川区御幣島西３ノ99　電話大阪(471)　０４２６

パテタイル

全国で好評の……

新興の内外装壁材を！

インテリヤ…カラーストーン…研出し仕上！
（旭化成ミュールコート・セット品）

シンコーストーン

純日本壁の最高峰

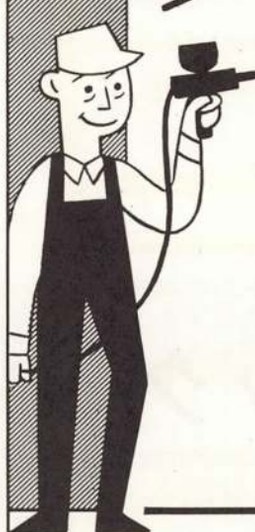
ヤマト
緊楽

いつも美しい　ワンタッチ…洗出し仕上…

ミュールストーン

（旭化成ミュールコート・セット品）

吹付…に
塗付…に
完全耐火
} 主材 石綿





●全国有名建材店へ御問合せ下さい　●カタログお送りします

(株)新興建材工業所
大阪市西区南堀江通６丁目39番地　TEL大阪(538)2951～5・(541)5757～9
営業所　東京・高槻・明石・姫路・四国・中国

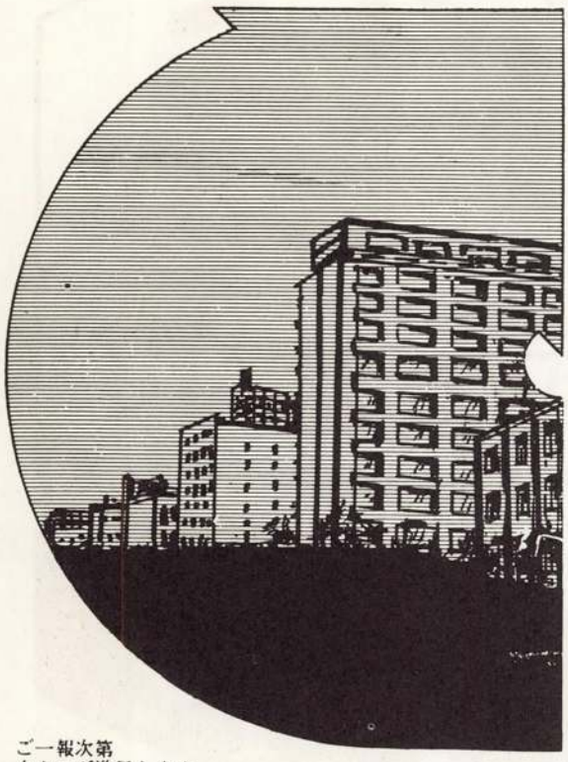
発売元

新興壁材工業(株)
大阪市住吉区粉浜本町４丁目２６番地　TEL 大阪 (672) １６６１～３

(株)九州新興建材工業所
福岡市博多区上牟田八田町２６の１　TEL 福岡 (41) ５２２５～６

モルタル・コンクリート用

マノール 防水剤



＊マノール防水剤はセメントの加水分解生成物である水酸化石灰と化学的に結合し、硬化機構を妨げることなくセメント粒子に撥水性を与えて毛細管の表面張力を低下させ、吸水性を減少させます。

＊ＡＥ効果により適量の空気を連行し、気孔を閉塞することなくセメント・プラスター及び砂の粒子に対し分散性を与えワーカビリティーを向上させます。また特有な粘着性によって材料分離、レイタンスの発生を防止します。

＊セメントと結合した生成物は永久不変質の物質で、水や空気中の塩類、酸類も作用せず、セメントの中性化を防ぎ、鋼材、木材等の腐蝕・腐朽を防止して構造物の耐久性を高め、その防水・防湿効力は恒久的です。

その他マノール製品

急結剤・接着剤・剥離剤・早強剤・防凍剤

エスコート（セメント起泡剤）・**エアコール**（場所打ち杭工法添加剤）

ご一報次第
カタログ進呈します

セメント混和剤・助材綜合メーカー

株式会社 **油脂化工社**

東京都品川区大井１－15－１　☎ 東京 (774) 4111代表

関東営業所	茨城県土浦市大町１２１３	☎ 土浦 (21) ５１８９
東北営業所	福島県福島市下野寺字遠原	☎ 福島 (34) ７１１１
盛岡営業所	岩手県盛岡市南大通３－12－50	☎ 盛岡 (24) ０２１３
大阪営業所	大阪市東成区東中本２－17－26	☎ 大阪 (971) ４７６５

特許 セメント分散剤 コンクリート減水剤

リグナール

GSR（標準型）（早強型）（遅延型）

自然石状積ブロック

クリプトン

型枠剝離剤

セパール

リグコン

三段ブロック

其の他コンクリート二次製品　建設材料全般

リグナール製造発売元

神戸枝料株式会社

本社　神戸市葺合区熊内町２丁目８８番地
電話０７８代表（２３１）１４２１・６９５６

東京営業所　東京都千代田区内神田１－12－12　美土代ビル
電話０３（２９４）６１６７・６１７７

福山出張所　福山市曙町３－７８－２
電話０８４９（５３）２０２７



全く新しい床タイルです

三星ピサロンは、従来のビニールタイルとは製法原料配合が全く違います。塩ビの他に最近開発された新しい共重合体の特殊樹脂を用いた画期的な新製品です。軟質プレスタイプの床タイルに比べ仕上り安定性がよく、カレンダー方式の流れ模様とは対照的な静止した現代模様。ピサロンの持つエラスチックで高級な質感、すぐれた歩行感は、床タイルの新しい世界を開きました。

協同組合員が責任をもって施工いたします

三星ピサロンは、材料だけの販売はいたしません。責任施工の出来る協組員が入念な仕上げをします。

これからはピサロンの時代です

三星ピサロンの新しい色調、パターンは、現代のインテリアデザインに要求される個性的な床造りには欠かせません。東京浜松町の超高層世界貿易センタービルの４F以上の各階通路、エレベーターホールにも、使用されております。〝三星ピサロン〟はその模様がフランスの画家ピサロのタッチに似ていることから、名付けられたものです。

東日本床工事事業協同組合
西日本床工事事業協同組合
〈専用品〉

三星タイル
ピサロン

★規格＝333.3　×333.3　×２㎜　９枚／㎡
　　333.3　×333.3　×３㎜　９枚／㎡
★色数＝22色
★価格＝２㎜厚品　1,200円／㎡（300㎡以上）
　　３㎜厚品　1,800円／㎡（300㎡以上）
　　小部屋割増・階段40％高

製造元＝田島応用化工株式会社

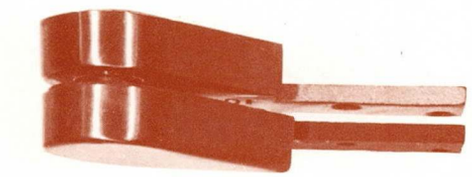
東京／東京都千代田区岩本町３の１１
電話　(866) ６１０１

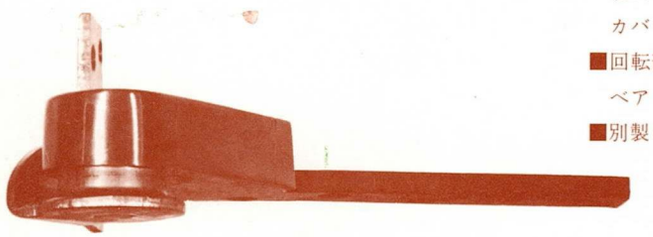
大阪／大阪市西区京町堀１の７４
電話　(441) ５９５１

■昭和48年 6 月25日発行(毎月 1 回25日発行)・昭和24年 3 月19日第 3 種郵便物認可

●回転軸部にナイロンベアリングを採用した耐久品

サンエイ
立枠付 ピボットヒンジ





■本品は特に各部品の材料を吟味し、表面が錆びないようボンデライジング加工を施した上に防錆塗装をしております。
■焼付塗装仕上製品の他に、他の持出し吊の腕部(吊込後扉から露出する部分)にSUS27(18.8)ステンレス製ヘアーライン仕上の化粧カバーを付けてあります。
■回転部分にナイロンベアリング及びスラストベアリングを嵌入してあります。
■別製の設計製作をも歓迎致します。

■弊社製立枠付ピボットヒンジは……
実用新案登録第517316号の立枠には何んら低触致しておりません。

三榮建材工業株式会社 555

本社 大阪市生野区巽北 4 − 5 − 11 ☎(06)751−3653〜5／東京出張所 東京都墨田区本所2−11−11 ☎(03)623−7677

いかなる苛酷な条件にも耐えて
このすばらしい特性が
建築を守ります

特許 強力ギルソイド・アスタイト防水

アスファルト防水層



折曲げ試験に耐えきれず
に破断した一般防水層

ギル・アス防水層



折曲げ試験ですばらしい
柔軟性を示すギル・アス防水層

西日本アスファルト事業協同組合
大阪市西区京町堀 1 の 7 4 電 441−5951

東日本アスファルト事業協同組合
東京都千代田区岩本町 3 の11の13 電 866−6101